

令和2年度
名古屋市立大学大学院薬学研究科
自己点検・評価報告書

2020

目次

1	博士学位取得者	1
2	修士学位取得者	4
3	講演会等(2020年1月から2020年12月)	9
4	研究業績目録(2020年1月から2020年12月)	14
	薬化学分野	15
	精密有機反応学分野	17
	薬品合成化学分野	18
	生体超分子システム解析学分野	19
	コロイド・高分子物性学分野	20
	生命分子構造学分野	24
	分子生物薬学分野	32
	薬物送達学分野	34
	生薬学分野	36
	衛生化学分野	40
	遺伝情報学分野	42
	細胞分子薬効解析学分野	44
	病態生化学分野	46
	薬物動態制御学分野	47
	病態解析学分野	49
	細胞情報学分野	51
	神経薬理学分野	53
	医薬品安全性評価学分野	57
	病院薬剤学分野	60
	臨床薬学分野	65
5	科学研究費等補助金	68
6	新聞報道等(2020年1月から2020年12月)	81
7	進路および就職状況	85
8	在籍者名簿	89

1 博士学位取得者

学位記 番号	博士の 専攻分野 の名称	博士の学位を授与された者		博士課程の修了等の状況		主 論 文 名	授与 年月日	主査	副査 (指導 教員)	副査	副査	副査
		(ふりがな) 氏 名	性別	大学院名	研究科 (専攻)名							
甲第 366号	博士 (薬学)	(にしかわ さきこ) 西川 佐紀子	女	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 医療機能薬学専攻	マメ科クララ (<i>Sophora flavescens</i>) 由来化 合物 Kurarinone による抗腫瘍作用と免疫 抑制作用の解明	R2.3.31	牧野 利明	林 秀敏	肥田 重明	細田 直	—
甲第 367号	博士 (薬科学)	(あさの くにはひと) 浅野 邦仁	男	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 創薬生命科学専攻	国際共同治験の現状分析と開発ストラテジ ーに影響を与える要因に関する研究	R2.3.31	松永 民秀	頭金 正博	中川 秀彦	湯浅 博昭	—
甲第 368号	博士 (薬科学)	(ゆのき やすひろ) 柚木 康弘	男	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 創薬生命科学専攻	概日リズムを司る時計タンパク質の相互作 用の制御機構	R3.3.24	糸 和彦	加藤 晃一	中川 秀彦	山中 淳平	—
甲第 369号	博士 (薬科学)	(よご りな) 與語 理那	女	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 創薬生命科学専攻	免疫機能の発動機構の解明に向けた抗体の 動的構造と相互作用の生物物理学的研究	R3.3.24	林 秀敏	加藤 晃一	肥田 重明	樋口 恒彦	—
甲第 370号	博士 (薬科学)	(さいとう まさゆき) 齋藤 将之	男	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 創薬生命科学専攻	ワルファリンとトルバプタン併用時におけ る薬物間相互作用の発見とそのメカニズム の解明	R3.3.24	湯浅 博昭	鈴木 匡	木村 和哲	青山 峰芳	頭金 正博
甲第 371号	博士 (薬学)	(すずき るりこ) 鈴木 瑠理子	女	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 医療機能薬学専攻	Fc 受容体の架橋状態の変化がもたらす活 性化マスト細胞の抑制機構	R3.3.24	山村 壽男	平嶋 尚英	伊藤 佐生智	大澤 匡弘	—
甲第 372号	博士 (薬学)	(みやもと けいすけ) 宮本 啓輔	男	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 医療機能薬学専攻	中枢神経系の機能変化に着目した神経障害 性疼痛の発現および慢性化機序の解明	R3.3.24	服部 光治	糸 和彦	山村 壽男	田中 正彦	大澤 匡弘
甲第 373号	博士 (薬学)	(すずき たかひさ) 鈴木 貴久	男	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 医療機能薬学専攻	脳微小血管内皮細胞における Ca ²⁺ 活性化 Cl ⁻ チャネル TMEM16A の生理学的意義の 解明	R3.3.24	松永 民秀	山村 壽男	伊藤 佐生智	大矢 進	—
甲第 374号	博士 (薬学)	(いながき ひろと) 稲垣 佑人	男	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 医療機能薬学専攻	脊髄小脳変性症原因因子 Ataxin-2 による mRNA ポリ A 鎖伸長を介した翻訳活性化 機構	R3.3.24	松永 民秀	星野 真一	糸 和彦	井上 靖道	—
甲第 375号	博士 (薬学)	(まえだ ことみ) 前田 琴美	女	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 医療機能薬学専攻	ラット骨盤内神経損傷による新規溢流性尿 失禁モデル動物の確立と溢流性尿失禁に対 する新規治療法の開発	R3.3.31	青山 峰芳	木村 和哲	中川 秀彦	山村 壽男	—

学位記 番号	博士の 専攻分野 の名称	博士の学位を授与された者		博士課程の修了等の状況		主 論 文 名	授与 年月日	主査	副査 (指導 教員)	副査	副査	副査
		(ふりがな) 氏 名	性 別	大学院名	研究科 (専攻)名							
乙第 203号	博士 (薬科学)	(はらだ かずひと) 原田 一人	男			シクロヘキササン含有スピロ環を有する新規 GPR119 アゴニストの探索合成研究	R2.6.30	樋口 恒彦	中村 精一	中川 秀彦	山村 壽男	—
乙第 204号	博士 (薬学)	(まつむら しょうじ) 松村 奨士	男			次世代シーケンサーを用いた変異原暴露に よる変異の直接検出とヒトがんゲノム変異 との関連解析	R3.1.29	林 秀敏	松永 民秀	星野 真一	小根山 千歳	—
乙第 205号	博士 (薬学)	(こんどう まさひろ) 近藤 勝弘	男			がん化学療法における副作用管理とリスク 因子の探索に関する研究	R3.3.24	頭金 正博	木村 和哲	鈴木 匡	大澤 匡弘	—

2 修士学位取得者

学位 番号	分野名	氏 名	性 別	論 文 題 目	日付	主査	副査	副査	副査
2219	細胞情報学	杉田 直央	女	ポリアセチレン化合物 falcarindiol による NRF2 活性化を介した抗酸化タンパク質 HO-1 発現誘導機構の解析	R2.9.25	林	青山	肥田	
2220	薬化学	Ari Merve	女	Development of ENPP1 Inhibitors Utilizing the Structure-Based Drug Design Approach	R3.3.24	中川	梅澤	林	—
2221	薬化学	鈴木 脩平	男	銅含有アミノキシダーゼを模倣した光酸化触媒の合成と評価	R3.3.24	中川	中村	山中	—
2222	薬化学	中村 旭良	男	光誘起電子移動をトリガーとした可視光応答性ケージド基の合成と評価	R3.3.24	中川	樋口	肥田	—
2223	薬化学	古瀬 友梨	女	酵素特異的基質を利用した分子標的プロドラッグ化合物の創製研究	R3.3.24	中川	池田	湯浅	—
2224	精密有機反応学	大谷 紘生	男	ヘム認識能を有する蛍光性人工レセプターの設計、合成および機能評価	R3.3.24	樋口	平嶋	池田	—
2225	精密有機反応学	矢野 雄輝	男	アルカンチオラート類縁軸配位子を有するヘム錯体のシトクロム P450 関連機能	R3.3.24	樋口	中川	佐藤	—
2226	精密有機反応学	山口 真史	男	特殊ポリアミンの固相合成と機能解析	R3.3.24	樋口	中村	湯浅	—
2227	薬品合成化学	安藤 龍志	男	配座制御型 6-endo 環化によるトランス縮環化合物合成法の開発	R3.3.24	中村	中川	梅澤	—
2228	薬品合成化学	小林 誠	男	バークレーオン B の合成研究：ポリエン環化に及ぼす D 環部置換様式の影響	R3.3.24	中村	樋口	池田	—
2229	薬品合成化学	山下 智圭	女	スピロリド D の合成研究：B 環に共役エステルが置換したジスピロケタールの合成	R3.3.24	中村	中川	梅澤	—
2230	薬品合成化学	梁 宇源	男	Kornblum 酸化型シクロプロパン開環反応における基質一般性の検討	R3.3.24	中村	池田	梅澤	—
2231	生体超分子システム解析学	寺本 光	男	Calcineurin 欠損小腸グリア細胞の培養下における生存能および分泌物質量の変化の解析	R3.3.24	平嶋	青山	井上	田中
2232	生体超分子システム解析学	二宮 里帆	女	マスト細胞分泌顆粒局在タンパク質 Orai-2 の機能解析	R3.3.24	平嶋	肥田	大澤	—

学位 番号	分野名	氏 名	性 別	論 文 題 目	日付	主査	副査	副査	副査
2233	コロイド・ 高分子物性学	佐藤 結	女	枯渇引力によるマイクロゲル粒子のコロイド結晶化	R3.3.24	山中	尾関	田中	—
2234	コロイド・ 高分子物性学	藤田 みのり	女	荷電コロイド粒子を用いた単層ダイヤモンド格子の構築	R3.3.24	山中	平嶋	佐藤	—
2235	コロイド・ 高分子物性学	三木 裕之	男	反対符号に荷電したコロイド粒子の会合体形成と宇宙実験	R3.3.24	山中	樋口	佐藤	—
2236	生命分子構造学	梅澤 芙美子	女	真核生物における新規グリセロールリン酸修飾の生合成機構と機能の探査	R3.3.24	加藤	白根	井上	—
2237	生命分子構造学	佐々木 雄大	男	ヨコヅナクマムシが恒常的に発現している SAHS タンパク質の構造機能解析	R3.3.24	加藤	山中	樋口	—
2238	分子生物薬学	國松 滯奈	女	Protrudin 複合体によるエンドソーム制御機構	R3.3.24	白根	平嶋	条	—
2239	分子生物薬学	林 直希	男	PDZD8 による脂質輸送の制御機構	R3.3.24	白根	山村	肥田	—
2240	分子生物薬学	松本 悠希	男	オルガネラ間膜接触部位における脂質輸送機構	R3.3.24	白根	星野	牧野	—
2241	分子生物薬学	山畑 育子	女	Protrudin-PDZD8 複合体の脳内機能	R3.3.24	白根	服部	大澤	—
2242	薬物送達学	古閑 健人	男	近赤外レーザーによる薬物放出制御と光温熱治療に向けた金ナノ粒子被覆温熱感受性リポソームの開発	R3.3.24	尾関	湯浅	田中	—
2243	薬物送達学	近藤 康人	男	光増感剤搭載金ナノスターによるレーザー治療システムの開発	R3.3.24	尾関	山中	松永	—
2244	薬物送達学	中村 和哉	男	抗菌薬封入多胞性リポソームの調製と細胞内寄生菌に対する抗菌効果の検討	R3.3.24	尾関	平嶋	伊藤	—
2245	薬物送達学	彭 姝瑗	女	3D プリンターを用いた薬物含有生分解性気管支ステントの開発	R3.3.24	尾関	木村	岩尾	—
2246	遺伝情報学	山口 奈都美	女	mTOR 阻害時にポリ A 鎖伸長する mRNA の網羅的解析	R3.3.24	星野	白根	伊藤	—
2247	細胞分子 薬効解析学	黒瀬 梨沙	女	変形性関節症における Ca ²⁺ 遊離活性化 Ca ²⁺ チャネルの寄与	R3.3.24	山村	白根	細田	—

学位 番号	分野名	氏 名	性 別	論 文 題 目	日付	主査	副査	副査	副査
2248	細胞分子 薬効解析学	出口 朱理	女	ヒト肝星細胞における 2 ポアドメイン型 K ⁺ チャネル TREK-1 の機能解明	R3.3.24	山村	木村	大澤	—
2249	細胞分子 薬効解析学	三島 寛貴	男	メラトニンによる電位依存性 K ⁺ チャネル Kv4.2 の阻害作用	R3.3.24	山村	糸	大矢 (医)	—
2250	病態生化学	重信 奉文	男	大脳皮質と海馬における、リーリン活性制御機構の差異に関する研究	R3.3.24	服部	大澤	田中	—
2251	病態生化学	中尾 洋介	男	生物発光イメージングを用いたリーリン分泌の解析	R3.3.24	服部	山村	井上	—
2252	病態生化学	中島 鼓美	女	脳の発達と機能維持における酸性リン脂質フリッパーゼの機能	R3.3.24	服部	林	白根	—
2253	薬物動態制御学	奈良 佳幸	男	BCRP の尿酸排出輸送活性の評価系としての SNBT1/BCRP 共発現細胞の利用	R3.3.24	湯浅	牧野	岩尾	—
2254	薬物動態制御学	間竹 勇	男	ヌクレオシドトランスポーター ENT2 に見い出された尿酸輸送機能の解析	R3.3.24	湯浅	山村	林	—
2255	病態解析学	泉 和弥	男	DNA メチル化酵素と進行性神経芽腫の関連	R3.3.24	青山	林	松永	—
2256	細胞情報学	柏原 翔陽	男	脂質代謝関連転写因子 SREBP 2 の脱ユビキチン化によるがん悪性化制御機構の解明	R3.3.24	林	松永	湯浅	—
2257	細胞情報学	菅野 真由美	女	脱ユビキチン化酵素 USP17 によるがん原遺伝子 c-Myc の安定化制御機構の解明	R3.3.24	林	青山	岩尾	—
2258	細胞情報学	水野 佑哉	男	ミャンマー起源植物 <i>Elliptiopsis cherrevensis</i> stem 由来化合物によるストレス関連転写因子 ATF4 の発現制御機構の解明	R3.3.24	林	頭金	牧野	—
2259	神経薬理学	上田 莉奈	女	脊髄後角アストロサイトの活性化が痛覚伝達に与える影響	R3.3.24	糸	青山	服部	—
2260	神経薬理学	加藤 善章	男	Cholinergic interneurons of fan-shaped body promote arousal in <i>Drosophila</i>	R3.3.24	糸	飯島	星野	—
2261	神経薬理学	渡邊 僚介	男	脳深部 <i>in vivo</i> Ca ²⁺ imaging の実験系の確立と痛み研究への応用	R3.3.24	糸	山村	田中	—
2262	レギュラトリー サイエンス	亀位 涼	男	ボルテジミブの有効性と安全性に関連するバイオマーカーの探索研究	R3.3.24	頭金	青山	肥田	—

学位 番号	分野名	氏 名	性 別	論 文 題 目	日付	主査	副査	副査	副査
2263	レギュラトリー サイエンス	魏 捷	女	臨床試験データを用いた直接経口抗凝固薬の有効性と安全性における地域差に関する研究	R3.3.24	頭金	糸	岩尾	—
2264	病院薬剤学	西川 敦士	男	新規 ED 治療を目指した超音波応答性リポソーム技術による PGE-1 の製剤化	R3.3.24	木村	尾関	鈴木	—

3 講演会等

(2020年1月から2020年12月)

開催日： 2020年1月10日
講演会： 日本薬学会東海支部特別講演会
講師： 鈴木崇弘
所属： 愛知学院大学歯学部
演題： 生物発光法によるタンパク質分泌のイメージングと定量解析
世話分野： 病態生化学分野

開催日： 2020年1月11日～12日
講演会： The 9th ExCELLS/IMS-Yonsei University Joint Workshop:“Plasma Biology and Structural Biology”
場所： 生命創成探究センター
世話人： 加藤晃一、矢木真穂、谷中冴子

開催日： 2020年1月25日
講演会： 瑞穂薬剤師会学術講演会
講師： 橋爪博隆
所属： 社会医療法人名古屋記念財団 新生会第一病院
演題： 慢性腎臓病と薬～業務に使える情報提供を目指して～
世話人： 牧野利明

開催日： 2020年2月20日
講演会： 第12回 NCU Life Science Seminar
講師： 浦野泰照
所属： 東京大学大学院薬学系研究科・医学系研究科
演題： ケミカルバイオロジからケミカルメディスンへ ～臨床検体のバイオイメージングに基づく新医療技術の創製～
世話分野： 薬化学分野

開催日： 2020年2月22日
講演会： 瑞穂薬剤師会学術講演会
講師： 難波大夫
所属： 名古屋市立大学病院 リウマチ・膠原病内科
演題： リウマチ・膠原病患者がより健康的な生活を取り戻すために
～薬剤師・医師が連携してできること
世話人： 牧野利明

開催日： 2020年3月12日
講演会： 瑞穂薬剤師会学術講演会
講師： 田崎慶彦
所属： 名古屋市立大学医学部附属病院薬剤部
演題： 膵臓がんにおける長鎖非翻訳 RNA; TUG1 の分子メカニズムおよび新規治療ターゲットとしての有用性の検討
世話人： 牧野利明

開催日： 2020年4月2日
講演会： 桜山 Thrombosis Expert Meeting2020
場所： 名古屋市立大学医学部研究棟 11階「講義室 B」
世話人： 木村和哲

開催日： 2020年5月20日
講演会： 薬化学特別講演会
講師： 王子田彰夫
所属： 九州大学大学院薬学研究院創薬ケミカルバイオロジ一分野
演題： コバレントドラッグの創薬有機化学

世話分野： 薬化学分野

開催日： 2020年5月22日

講演会： 研究紹介セミナー

講師名： Prof. Gautam Panda

所属： Central Drug Research Institute, Lucknow, India

演題： Amino Acids and Trisubstituted Methanes (TRSMs) as Versatile Synthons: Rays of Hope for Autophagic Cell death and Tuberculosis respectively?

場所： Zoom オンライン

世話人： 加藤 晃一

開催日： 2020年7月21日

講演会： 第5回 桜山 Pharmacist Workshop

場所： 名古屋金山ホテル

世話人： 木村和哲

開催日： 2020年8月29日～30日

講演会： 第37回和漢医薬学会学術大会～天然薬物研究方法論アカデミー・シンポジウム

場所： オンライン

世話人： 牧野利明、赤瀬朋秀

開催日： 2020年9月10日

講演会： 桜山 Thrombosis Expert Meeting2020

場所： Zoom

世話人： 木村和哲

開催日： 2020年9月14日

講演会： 第93回日本生化学会大会 シンポジウム

場所： オンライン

演題： 神経系におけるオルガネラコミュニケーションとダイナミクス

オーガナイザー： 白根道子、小柴琢己

開催日： 2020年9月16日

講演会： 「第60回瀬戸旭長久手市薬剤師会・守山区薬剤師会・旭ろうさい病院 合同研修会」

場所： 名古屋市立大学病院

演題： 「名古屋市立大学病院 薬剤部の取り組み」

演者： 木村和哲

開催日： 2020年9月26日

講演会： 瑞穂薬剤師会学術講演会

講師： 高橋陽香

所属： 武田薬品工業株式会社

演題： パーキンソン病診療ガイドライン2018を踏まえた診断と治療

～ラサギリンの有効性・安全性を含めて～

低用量アスピリン投与時における潰瘍再発抑制の重要性

～ボノプラザンの有効性・安全性を含めて～

世話人： 牧野利明

開催日： 2020年9月29日

講演会： 「第2回NEW薬薬連携Seminer-Online-」

場所： 名鉄ニューグランドホテル

世話人： 木村和哲

開催日： 2020年10月20日

講演会： スズケン社内研修会
場所： 株式会社スズケン名古屋支店
演題： 「病院薬剤師のこれからの役割」
演者： 木村和哲

開催日： 2020年10月24日
講演会： 瑞穂薬剤師会学術講演会
講師： 渡辺久之
所属： 持田製薬株式会社
演題： 高尿酸血症治療の新しい選択肢、月経困難症・子宮内膜症の薬剤師について
世話人： 牧野利明

開催日： 2020年10月28日
講演会： 第31回若手イブニングセミナー
講師： 保嶋智也
所属： 名古屋市立大学大学院薬学研究科
演題： 核酸塩基及び類縁医薬品の体内動態を制御する分子メカニズム
世話分野： 薬化学分野

開催日： 2020年11月5日
講演会： 第6回桜 Pharmacist Workshop
場所： 小野薬品工業 名古屋支店
演題： 「フォーミュラリによる効率的な病病連携を目指して」
世話人： 木村和哲

開催日： 2020年11月12日
講演会： 桜山薬剤師連携セミナー
場所： 名古屋市立大学 医学研究棟 11階 講義室B
演者： 木村和哲

開催日： 2020年11月14日
講演会： 瑞穂薬剤師会学術講演会
講師： 松川宜久
所属： 名古屋大学大学院医学系研究科泌尿器科学
演題： 夜間頻尿に対するベストアプローチ
世話人： 牧野利明

開催日： 2020年11月19日
講演会： 田辺三菱製薬 MR 向け勉強会
場所： 田辺三菱製薬東海支店
演題： 「地域連携とフォーミュラリーについて」
世話人： 木村和哲

開催日： 2020年12月3日
講演会： 第43回日本分子生物学会年会 ワークショップ（英語）
場所： オンライン
演題： オルガネラコミュニケーションと神経の恒常性
オーガナイザー： 白根道子、瀬崎博美

開催日： 2020年12月5日
講演会： 瑞穂薬剤師会学術講演会
講師： 加藤正
所属： あらたまこころのクリニック
演題： 目の前のそのうつ病患者さんに、抗うつ薬どう使いますか？

～世界規模のメガトライアル：SUN-D試験から学ぶ～

世話人： 牧野利明

開催日： 令和2年12月10日

講演会： ExCELLS セミナー

講師名： 吉野知子 博士

所属： 東京農工大学大学院工学研究院 生命機能科学部門 教授

演題： 希少細胞のシングルセル遺伝子解析技術の開発と応用展開
～血中循環腫瘍細胞から環境微生物の解析まで～

場所： Zoom オンライン

世話人： 加藤 晃一

開催日： 2020年12月12日

講演会： 瑞穂薬剤師会学術講演会

講師： 豊田詩央里

所属： 中北薬品工業株式会社管理栄養部

演題： フレイル予防の食事

世話人： 牧野利明

4 研究業績目録

(2020年1月から2020年12月)

【薬化学分野】

(原報)

Naoya Ieda, Yuji Hotta, Ayaka Yamauchi, Atsushi Nishikawa, Takahiro Sasamori, Daisuke Saitoh, Mitsuyasu Kawaguchi, Kazunori Kimura, and Hidehiko Nakagawa.

Development of a red-light-controllable nitric oxide releaser to control smooth muscle relaxation *in vivo*
ACS Chem. Biol., **15**, 2958-2965 (2020).

Shingo Sakamoto, Toru, Komatsu, Rikiya Watanabe, Yi Zhang, Taiki Inoue, Mitsuyasu Kawaguchi, Hidehiko Nakagawa, Takaaki Ueno, Takuji Okusaka, Kazufumi Honda, Hiroyuki Noji, and Yasuteru Urano.

Multiplexed single-molecule enzyme activity analysis for counting disease-related proteins in biological samples

Science Advances, **6**, eaay0888 (2020).

Mitsuyasu Kawaguchi, Takayoshi Okabe, Shinichi Okudaira, Kotaro Hama, Kuniyuki Kano, Hiroshi Nishimasu, Hidehiko Nakagawa, Ryuichiro Ishitani, Hirotatsu Kojima, Osamu Nureki, Junken Aoki, and Tetsuo Nagano

Identification of Potent *In Vivo* Autotaxin Inhibitors that Bind to Both Hydrophobic Pockets and Channels in the Catalytic Domain

J. Med. Chem., **63**, 3188-3204 (2020).

Yuhei Ohta, Mitsuyasu Kawaguchi, Naoya Ieda and Hidehiko Nakagawa

Synthesis of artificial substrate based on inhibitor for detecting LSD1 activity

J. Clin. Biochem. Nutr., **67**, 153-158 (2020).

(総説・著書・総合論文など)

Naoya Ieda, and Hidehiko Nakagawa.

Development of Photoredox-reaction-driven NO-releasing Reagents and Application for Photomanipulation of Vasodilation

J. Synth. Org. Chem. Jpn., **78**, 1048-1057 (2020).

Naoya Ieda, and Hidehiko Nakagawa

Synthesis, evaluation, and biological applications of visible-light-controllable nitric oxide releasers

Methods in Enzymology, **640**, 37-61 (2020).

(学会発表)

家田直弥【招待講演】

細胞から動物個体まで応用可能な光制御 NO ドナーの開発

レドックス・ライフイノベーション第170委員会 20周年記念若手シンポジウム, 2020年1月20-21日、東京、O-6.

家田直弥、伊藤聖人、小口瑠菜、川口充康、中川秀彦

細胞毒性を低減させたカルコゲノローダミンによる培養細胞における酸素濃度の光制御

日本酸化ストレス学会東海支部 第8回学術集会, 2020年2月22日、岐阜、O-10

齋藤大介、鈴木あゆみ、家田直弥、川口充康、小坂田泰子、笹森貴裕、中川秀彦
N-Nitrosoaminophenol 誘導体と色素を含む光制御 NO 供与ナノ粒子の開発
日本薬学会第 140 年会, 2020 年 3 月 26-28 日, 京都, 228k-pm03S

川口充康【招待講演】

光作動性ガス状分子供与剤の開発と ENPP を標的とした創薬研究
第 2 回医薬品開発研究センターシンポジウム「酸化ストレスと創薬」, 2020 年 7 月 28 日, オンライン開催 (東北大学)

Naoya Ieda, Yuji Hotta, Ayaka Yamauchi, Atsushi Nishikawa, Mitsuyasu Kawaguchi, Kazunori Kimura, and Hidehiko Nakagawa

Development of light-controllable NO releaser driven by photoinduced electron transfer and in vivo application
第 18 回次世代を担う有機化学シンポジウム, 2020 年 8 月 28-29 日, オンライン開催 (京都大学), 1L-01

齋藤大介、鈴木あゆみ、家田直弥、川口充康、小坂田泰子、笹森貴裕、中川秀彦
様々な色素と N-ニトロソアニリン誘導体を導入した光制御 NO 放出ナノ粒子の機能評価
第 73 回日本酸化ストレス学会学術集会, 2020 年 10 月 6-7 日, 米子, O5-06

中川秀彦【招待講演】

化学ツール開発による NO・酸化ストレスの病態解析法研究
第 73 回日本酸化ストレス学会学術集会, 2020 年 10 月 6-7 日, 米子, Ssn-1

川口充康

阻害剤開発および乳がんの予後診断を志向した ENPP1 蛍光プローブの開発
日本蛍光ガイド手術研究会 第 3 回学術集会, 2020 年 10 月 16-17 日, オンライン開催, MS3-4

鈴木修平、家田直弥、川口充康、中川秀彦

光制御可能な酸化的脱アミノ化反応系の検討
日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2020, 2020 年 11 月 21-22 日, オンライン開催, B-11

【精密有機反応学分野】

(原報)

Ryuhei Takahashi, Kenta Sakamoto, Naoki Umezawa, Takashi Umehara, Jun-ichi Matsuo

"Chemoselective arylation of dialkyl diselenides and application to the synthesis of a ϵ -*N,N,N*-trimethyllysine derivative"

Eur. J. Org. Chem. **2020**, 2020(42), 6649-6652.

Natsumi Sumito, Shuhei Koeda, Naoki Umezawa, Yasumichi Inoue, Shinya Tsukiji, Tsunehiko Higuchi, Toshihisa Mizuno

"Development of cell-penetration PG-surfactants and its application in external peptide delivery to cytosol"

Bioconj. Chem. **2020**, 31(3), 821-833.

(学会発表)

矢野 雄輝、白川 慶典、梅澤 直樹、久松 洋介、樋口 恒彦

ヘムのアニオン型軸配位子と配位ヘムの酸化還元挙動との関連

日本酸化ストレス学会東海支部 第8回学術集会, 2020年2月22日(岐阜) .

北川宙輝、菊池正樹、佐藤心、渡辺寿美、梅澤直樹、久松洋介、梅原崇史、樋口恒彦
細胞内で作用する LSD1 阻害ペプチドの開発

日本化学会第100春季年会, 2020年3月22日(千葉)

矢野 雄輝、白川 慶典、梅澤 直樹、久松 洋介、樋口 恒彦

軸配位子のセレノラート置換シトクロム P450 モデル錯体の合成と化学特性

日本化学会第100春季年会, 2020年3月23日(千葉)

天野 太成、稲垣 秀樹、久松 洋介、梅澤 直樹、樋口 恒彦

ビスポケットポルフィリン金属錯体の効率的合成とアルカンの位置選択的酸化

日本化学会第100春季年会, 2020年3月23日(千葉)

大谷紘生、久松洋介、梅澤直樹、樋口恒彦

ヘム認識能を有する蛍光性分子ピンセットの開発と自己集合挙動

日本薬学会第140年会 2020年3月26日(京都)

寺前 将太、鬼頭 茜、新垣 知輝、矢野 雄輝、梅澤 直樹、久松 洋介、長野 哲雄、樋口 恒彦

基質認識能を有するルテニウムポルフィリン触媒によるアルカン部位の位置選択的酸化

日本薬学会第140年会 2020年3月27日(京都)

【薬品合成化学分野】

(原報)

Yukari Sakagami, Naoki Kondo, Yuki Sawayama, Hiroyuki Yamakoshi, Seiichi Nakamura
Total Syntheses of Marrubiin and Related Labdane Diterpene Lactones.
Molecules, **25**, 1610 (2020).

(総説・著書・総合論文など)

山越博幸, 中村精一
新規キラル合成ブロックの創製を基盤とする生物活性テルペノイドの合成研究.
月刊ファインケミカル 2020年3月号 “天然物合成化学の最新動向”, シーエムシー出版, 東京, pp.
5-11 (2020).

(学会発表)

陰未来, 梁宇源, 山越博幸, 中村精一 【講演ハイライト】
フタラン誘導体の酸化/付加環化反応を経る(±)-モルヒネの形式合成.
日本薬学会第140年会, 2020年3月26日(京都).

斎藤彩有里, 野口公寛, 山越博幸, 中村精一
伝統薬成分カドコッシラクトンAの合成研究 ～ラジカルカスケード反応によるDE環部の立体選
択的合成～.
日本薬学会第140年会, 2020年3月28日(京都).

近藤直記, 坂上友花梨, 斎藤彩有里, 澤山侑季, 山越博幸, 中村精一
マルビイン類縁ジテルペンラクトン類の全合成.
第62回天然有機化合物討論会, 2020年9月23日(オンライン).

山越博幸 【受賞講演】
新規骨格構築法を基盤とする縮環生物活性天然物の合成研究.
2020年度東海支部学術奨励賞受賞講演, 2020年9月26日(名古屋).

【生体超分子システム解析学分野】

(学会発表)

田中正彦, 寺本 光, 與那覇和希, 平嶋尚英

Calcineurin を欠損した小腸グリア細胞の異常と蠕動運動低下及び変性・炎症との関連.
日本薬学会第 140 年会, 2020 年 3 月 25 - 28 日 (京都) ; 26Q-pm075.

坂本真凜, 草田智之, 稲本奨平, 千田知美, 平嶋尚英, 鈴木 亮

マスト細胞の分泌顆粒が有する不均質性の研究.
日本薬学会第 140 年会, 2020 年 3 月 25 - 28 日 (京都) ; 27P-pm149S

古澤 遥, 溝端沙莉, 平嶋尚英, 鈴木 亮

マスト細胞と好中球の相互作用に寄与する機能分子の解析.
日本薬学会第 140 年会, 2020 年 3 月 25 - 28 日 (京都) ; 27P-pm154S

中村 萌里, 平嶋 尚英, 鈴木 亮

マスト細胞と好中球の相互作用を介したアレルギー反応調節機構の解析.
日本薬学会第 140 年会, 2020 年 3 月 25 - 28 日 (京都) ; 27Q-pm035S

田中正彦, 荒目俊明, 平嶋尚英

小脳プルキンエ細胞の樹状突起形成が Ca^{2+} /calmodulin-dependent protein kinase II α , II β , IV の下流で働く CREB によって促進される.
第 43 回日本神経科学大会, 2020 年 7 月 29 日 - 8 月 1 日 (Web 開催) ; 3P-016.

寺本 光, 平嶋尚英, 田中正彦

小腸の変性・炎症機構解明を目指したマウス由来腸管グリア細胞の単離培養法の開発.
日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2020, 2020 年 11 月 21 - 22 日
(Web 開催) ; B-60.

寺本 光, 平嶋尚英, 田中正彦

カルシニューリン欠損腸管グリア細胞は、培養下において増殖能が低下し分泌物質質量が変化する.
第 43 回日本分子生物学会年会, 2020 年 12 月 2 - 4 日 (オンライン開催) ; 3P-0262.

【コロイド・高分子物性学分野】

(原報)

J. Nozawa, S. Uda, S. Guo, A. Toyotama, J. Yamanaka, H. Niinomi, J. Okada
Effects of solution flow on the growth of colloidal crystals.
Langmuir, **36**, 4324–4331(2020).

J. Nozawa, S. Uda, A. Toyotama, J. Yamanaka, H. Niinomi, J. Okada
Growth and One-Dimensional Heteroepitaxy of Binary Colloidal Crystals.
Crystal Growth & Design, **20**, 3247-3256(2020).

J. Yamanaka, T. Okuzono, A. Toyotama
Self-Assembled Structures of Colloids.
Acc. Mater. Surf. Res., **Vol.5** No.3 (2020).

(総説・著書・総合論文など)

青山柚里奈、豊玉彰子、奥菌透、山中淳平
コロイド微粒子の構造形成.
化学と教育, **vol 68**, pp. 84-87 (2020).

豊玉彰子
コロイド系の不純物排除.
結晶成長学会誌, **vol. 47**, pp. 1 (2020).

豊玉彰子
コロイド結晶の構造制御と新規波長選択光学材料の創製.
化学工業, **vol. 71**, pp. 155 (2020).

監修 中村浩、山中淳平

「コロイド結晶の形成とその応用」

シーエムシー出版, 2020年5月29日

第1章1節 荷電コロイド系の結晶化 山中淳平、豊玉彰子

第1章2節 一方向成長による大型荷電コロイド単結晶の作成 山中淳平

第1章5節 荷電粒子によるコロイド結晶形成シミュレーション 奥菌透

第2章1節 枯渇引力により生成するコロイド結晶 豊玉彰子、山中淳平

第2章3節 枯渇引力によるコロイド結晶形成・凝集体成長シミュレーション 奥菌透

(学会発表)

豊玉彰子【招待講演】

コロイドのフォトニックおよびプラズモニック材料への応用

ソフトマターの未来材料シンポジウム, 2020年1月10日(北九州)。

山中淳平【招待講演】

枯渇引力系コロイドの3D結晶化

東北大学共同研究セミナー, 2020年1月20日(仙台)

藤田みのり【招待講演】

コロイド粒子の単層ダイヤモンド結晶

東北大学共同研究セミナー，2020年1月20日（仙台）

山中淳平

コロイド結晶の装飾への応用

第10回化粧品開発展 アカデミックフォーラム，2020年1月21日（千葉）

山中淳平【招待講演】

「コロイド系の構造形成と宇宙実験」

第38回コロイド・界面技術シンポジウム，2020年2月4-5日（オンライン開催）。

山中淳平【招待講演】

コロイド分散系の結晶化とクラスター形成

ディスペーションフェスタ2020，2020年3月19日（オンライン開催）

山中淳平，青山柚里奈，藤田みのり，井岡未優，山田望，駒澤穂乃佳，豊玉彰子，奥菌透，武田真一

3次元および2次元コロイド結晶の構築

粉体工学会2020年度春期研究発表会，2020年5月26日（紙上開催）。

Junpei Yamanaka, Tohru Okuzono, and Akiko Toyotama【招待講演】

Self-Assembly of Charged Colloidal Particles.

E-Conference of Soft Matter (eCoSoM-2020)，2020年7月16日（インド・オンライン開催）。

A. Toyotama

Colloidal Crystallization by Depletion Attraction.

e-Conference on Soft Matter (eCoSoM-2020)，2020年7月16日（インド・オンライン開催）。

Y. Aoyama, A. Toyotama, T. Okuzono, J. Yamanaka

Two-Dimensional Non-Close-Packed Colloidal Crystal by Using Electrostatic Adsorption of Charged.

e-Conference on Soft Matter (eCoSoM-2020)，2020年7月16日（インド・オンライン開催）。

山中淳平，駒澤穂乃佳，藤田みのり，三木裕之，南まどか，石神瑛圭，豊玉彰子，奥菌透
反対符号に荷電したコロイド粒子の会合体形成。

第71回コロイドおよび界面化学討論会，2020年9月14-16日（オンライン開催）。

豊玉彰子，奥菌透，山中淳平

成分コロイド分散系における枯渇引力の検討。

第71回コロイドおよび界面化学討論会，2020年9月14-16日（オンライン開催）。

山田望，豊玉彰子，奥菌透，山中淳平

枯渇引力によるコロイド粒子の非古典的結晶成長。

第71回コロイドおよび界面化学討論会，2020年9月14-16日（オンライン開催）。

藤澤貫平，豊玉彰子，奥菌透，山中淳平

枯渇引力によるコロイド結晶化と顕微分光法を用いた結晶構造解析。

第71回コロイドおよび界面化学討論会，2020年9月14-16日（オンライン開催）。

井岡未優, 豊玉彰子, 奥菌透, 山中淳平
枯渇引力による金コロイド粒子の結晶化と SERS 基板への応用.
第 71 回コロイドおよび界面化学討論会, 2020 年 9 月 14-16 日 (オンライン開催) .

山口めぐみ, 青山柚里奈, 豊玉彰子, 奥菌透, 山中淳平
二次元金コロイド結晶を用いた生体分子の SERS 測定 of 検討.
第 71 回コロイドおよび界面化学討論会, 2020 年 9 月 14-16 日 (オンライン開催) .

青山柚里奈, 豊玉彰子, 奥菌透, 山中淳平
静電吸着を利用した二次元荷電コロイド結晶の作製.
第 71 回コロイドおよび界面化学討論会, 2020 年 9 月 14-16 日 (オンライン開催) .

藤田みのり, 青山柚里奈, 豊玉彰子, 奥菌透, 山中淳平 【オンライン学生講演賞受賞】
静電相互作用を利用した単層ダイヤモンド型コロイド結晶の作製.
第 71 回コロイドおよび界面化学討論会, 2020 年 9 月 14-16 日 (オンライン開催) .

三木裕之, 山本和史, 豊玉彰子, 奥菌透, 山中淳平
正および負に荷電したチタニア粒子の会合体形成.
第 71 回コロイドおよび界面化学討論会, 2020 年 9 月 14-16 日 (オンライン開催) .

石神瑛圭, 豊玉彰子, 奥菌透, 山中淳平
荷電コロイド粒子の平板への静電吸着と会合体形成の相関.
第 71 回コロイドおよび界面化学討論会, 2020 年 9 月 14-16 日 (オンライン開催) .

佐藤結, 平井綾音, 豊玉彰子, 奥菌透, 山中淳平
枯渇引力によるマイクロゲル粒子のコロイド結晶化.
第 71 回コロイドおよび界面化学討論会, 2020 年 9 月 14-16 日 (オンライン開催) .

平井綾音, 佐藤結, 豊玉彰子, 奥菌透, 山中淳平
マイクロゲル粒子集合体の構造評価.
第 71 回コロイドおよび界面化学討論会, 2020 年 9 月 14-16 日 (オンライン開催) .

三木裕之, 南まどか, 藤田みのり, 豊玉彰子, 奥菌透, 山中 淳平, 足立聡, 坂下哲也, 島岡太郎,
永井正恵, 渡邊勇基, 福山誠二郎, 仲田結衣
正および負に荷電したチタニア粒子の会合体形成と宇宙実験検討.
日本マイクロ重力応用学会 第 32 回学術講演会 (JASMAC-32) , 2020 年 10 月 4-7 日 (オンライン開催) .

石神瑛圭, 豊玉彰子, 奥菌透, 山中淳平, 足立聡, 坂下哲也, 島岡太郎, 永井正恵, 渡邊勇基, 福山
誠二郎, 仲田結衣
宇宙実験に向けた荷電コロイド粒子の静電吸着と会合体形成の研究.
日本マイクロ重力応用学会 第 32 回学術講演会 (JASMAC-32) , 2020 年 10 月 4-7 日 (オンライン開催) .

山中淳平 【招待講演】
コロイド分散系の結晶化とクラスター形成
第 10 回 CSJ 化学フェスタ, 2020 年 10 月 22 日 (オンライン開催) .

豊玉彰子
コロイド結晶成長と不純物.

第 49 回結晶成長国内会議，2020 年 11 月 9 日（オンライン開催）。

山中淳平，石神瑛圭，三木裕之，駒沢穂乃佳，藤田みのり，豊玉彰子
反対符号に荷電したコロイド粒子の会合体形成。

第 49 回結晶成長国内会議，2020 年 11 月 10 日（オンライン開催）。

山田望，豊玉彰子，奥菌透，野澤純，宇田聡，山中淳平【学生ポスター賞受賞】
枯渇引力によるコロイド粒子の非古典的結晶成長。

第 49 回結晶成長国内会議，2020 年 11 月 10 日（オンライン開催）。

藤田みのり，青山柚里奈，豊玉彰子，奥菌透，山中淳平【学生ポスター賞受賞】
静電相互作用を利用した単層ダイヤモンド型コロイド結晶の作製。

第 49 回結晶成長国内会議，2020 年 11 月 10 日（オンライン開催）。

【生命分子構造学分野】

(原報)

Maria Lorna A. De Leoz, David L. Duewer, Adam Fung, Lily Liu, Hoi Kei Yau, Oscar Potter, Gregory O. Staples, Kenichiro Furuki, Ruth Frenkel, Yunli Hu, Zoran Sosic, Peiqing Zhang, Friedrich Altmann, Clemens Gruber, Chun Shao, Joseph Zaia, Waltraud Evers, Stuart Pangelley, Detlev Suckau, Anja Wiechmann, Anja Resemann, Wolfgang Jabs, Alain Beck, John W Froehlich, ChunCui Huang, Yan Li, YaMing Liu, Shiwei Sun, Yaojun Wang, Youngsuk Seo, Hyun Joo An, Niels-Christian Reichardt, Juan Echevarria Ruiz, Stephanie Archer-Hartmann, Parastoo Azadi, Len Bell, Zsuzsanna Lakos, Yanming An, John F Cipollo, Maja Pučić-Baković, Jerko Štambuk, Gordan Lauc, Xu Li, Peng George Wang, Andreas Bock, René Hennig, Erdmann Rapp, Marybeth Creskey, Terry Cyr, Miyako Nakano, Taiki Sugiyama, Pui-King Amy Leung, Paweł Link-Lenczowski, Jolanta Jaworek, Shuang Jake Yang, Hui Zhang, Tim Kelly, Song Klapoetke, Rui Cao, Jin Young Kim, Hyun Kyung Lee, Juyeon Lee, Jong Shin Yoo, Sa-Rang Kim, Soo-Kyung Suh, Noortje de Haan, David Falck, Guinevere S.M. Lageveen-Kammeijer, Manfred Wuhrer, Robert J. Emery, Radoslaw P. Kozak, Li Phing Liew, Louise Royle, Paulina A. Urbanowicz, Nicolle Packer, Xiaomin Song, Arun Everest-Dass, Erika Lattová, Samanta Cajic, Kathirvel Alagesan, Daniel Kolarich, Toyin Kasali, Viv Lindo, Yuetian Chen, Kudrat Goswami, Brian Gau, Ravi Amunugama, Richard Jones, Corné J. M. Stroop, Koichi Kato, Hirokazu Yagi, Sachiko Kondo, CT Yuen, Akira Harazono, Xiaofeng Shi, Paula Magnelli, Brian T Kasper, Lara K. Mahal, David J. Harvey, Roisin Majella O'Flaherty, Pauline M. Rudd, Radka Saldova, Elizabeth S. Hecht, David C. Muddiman, Jichao Kang, Prachi Bhoskar, Daniele Menard, Andrew Saati, Christine Merle, Steven Mast, Sam Tep, Jennie Truong, Takashi Nishikaze, Sadanori Sekiya, Aaron Shafer, Sohei Funaoka, Masaaki Toyoda, Peter de Vreugd, Cassie Caron, Pralima Pradhan, Niclas Chiang Tan, Yehia Mechref, Sachin Patil, Jeffrey S. Rohrer, Ranjan Chakrabarti, Disha Dadke, Mohammedazam Lahori, Chunxia Zou, Christopher W. Cairo, Bela Reiz, Randy M Whittal, Carlito Lebrilla, Lauren D. Wu, Andras Guttman, Marton Szigeti, Benjamin G. Kremkow, Kelvin Lee, Carina Sihlbom, Barbara Adamczyk, Chunsheng Jin, Niclas G. Karlsson, Jessica Örnros, Göran Larson, Jonas Nilsson, Bernd Meyer, Alena Wiegandt, Emy Komatsu, Helene Perreault, Edward D Bodnar, Nassur Said, Yannis-Nicolas Francois, Emmanuelle Leize-Wagner, Sandra Maier, Anne Zeck, Albert J. R. Heck, Yang Yang, Rob Haselberg, Ying Qing Yu, William Alley, Joseph W. Leone, Hua Yuan, and Stephen E. Stein

NIST interlaboratory study on glycosylation analysis of monoclonal antibodies: Comparison of results from diverse analytical methods

Mol. Cell. Proteomics **19**, 11-30 (2020).

Saeko Yanaka, Rina Yogo, Hiroki Watanabe, Yuki Taniguchi, Tadashi Satoh, Naoko Komura, Hiromune Ando, Hirokazu Yagi, Nobuhiro Yuki, Takayuki Uchihashi, and Koichi Kato

On-Membrane Dynamic Interplay between Anti-GM1 IgG Antibodies and Complement Component C1q
Int. J. Mol. Sci. **21**, 147 (2020).

Maho Yagi-Utsumi, Arunima Sikdar, Chihong Song, Jimin Park, Rintaro Inoue, Hiroki Watanabe, Raymond N. Burton-Smith, Toshiya Kozai, Tatsuya Suzuki, Atsuji Kodama, Kentaro Ishii, Hirokazu Yagi, Tadashi Satoh, Susumu Uchiyama, Takayuki Uchihashi, Keehyoung Joo, Jooyoung Lee, Masaaki Sugiyama, Kazuyoshi Murata, and Koichi Kato

Supramolecular tholos-like architecture constituted by archaeal proteins without functional annotation
Sci. Rep. **10**, Article number: 1540 (2020).

Tatsuya Suzuki, Saeko Yanaka, Tokio Watanabe, Gengwei Yan, Tadashi Satoh, Hirokazu Yagi, Takumi Yamaguchi, and Koichi Kato

Remodeling of the oligosaccharide conformational space in the prebound state to improve lectin-binding affinity

Biochemistry **59**, 3180-3185 (2020).

Ginto George, Satoshi Ninagawa, Hirokazu Yagi, Taiki Saito, Tokiro Ishikawa, Tetsushi Sakuma, Takashi Yamamoto, Koshi Imami, Yasushi Ishihama, Koichi Kato, Tetsuya Okadar, and Kazutoshi Mori

EDEM2 stably disulfide-bonded to TXNDC11 catalyzes the first mannose trimming step in mammalian glycoprotein ERAD

eLife **9**, e53455 (2020).

Hirokazu Yagi, Maho Yagi-Utsumi, Rena Honda, Yusaku Ohta, Taiki Saito, Miho Nishio, Satoshi Ninagawa, Kousuke Suzuki, Takahiro Anzai, Yukiko Kamiya, Kazuhiro Aoki, Mahito Nakanishi, Tadashi Satoh, and Koichi Kato

Improved secretion of glycoproteins using an N-glycan-restricted passport sequence tag recognized by cargo receptor

Nature Commun. **11**, Article number: 1368 (2020).

Kazuhiko Yamada, Yoshiki Yamaguchi, Yoshinori Uekusa, Kazumasa Aoki, Ichio Shimada, Takumi Yamaguchi, and Koichi Kato

Solid-state ^{17}O NMR analysis of synthetically ^{17}O -enriched D-glucosamine

Chem. Phys. Lett. **749**, 137455 (2020).

Tadashi Satoh, Miho Nishio, Kousuke Suzuki, Maho Yagi-Utsumi, Yukiko Kamiya, Tsunehiro Mizushima, and Koichi Kato

Crystallographic snapshots of the EF-hand protein MCFD2 complexed with the intracellular lectin ERGIC-53 involved in glycoprotein transport

Acta Crystallogr. F Struct. Biol. Commun. **76**(Pt 5), 216-221 (2020). 【カバーイラストレーション】

Ken Morishima, Aya Okuda, Rintaro Inoue, Nobuhiro Sato, Yosuke Miyamoto, Reiko Urade, Maho Yagi-Utsumi, Koichi Kato, Rina Hirano, Tomoya Kujirai, Hitoshi Kurumizaka, and Masaaki Sugiyama

Integral approach to biomacromolecular structure by analytical-ultracentrifugation and small-angle scattering

Commun. Biol. **3**, Article number:294 (2020).

Maho Yagi-Utsumi, Saeko Yanaka, Chihong Song, Tadashi Satoh, Chiaki Yamazaki, Haruo Kasahara, Toru Shimazu, Kazuyoshi Murata, and Koichi Kato

Characterization of amyloid β fibril formation under microgravity conditions

NPJ Microgravity **6**, 17 (2020).

Methanee Hiranyakorn, Saeko Yanaka, Tadashi Satoh, Thunchanok Wilasri, Benchawan Jityuti, Maho Yagi-Utsumi, and Koichi Kato

NMR characterization of conformational interconversions of Lys48-linked ubiquitin chains

Int. J. Mol. Sci. **21**, 5351 (2020).

Hirokazu Yagi, Saeko Yanaka, Rina Yogo, Akari Ikeda, Masayoshi Onitsuka, Toshio Yamazaki, Tatsuya Kato, Enoch Y Park, Jun Yokoyama, and Koichi Kato

Silkworm pupae function as efficient producers of recombinant glycoproteins with stable-isotope labeling

Biomolecules **10**, 1482 (2020).

Ryo Ohtani, Kenichi Kawano, Masanao Kinoshita, Saeko Yanaka, Hikaru Watanabe, Kenji Hirai, Shiroh Futaki, Nobuaki Matsumori, Hiroshi Uji-I, Masaaki Ohba, Koichi Kato, and Shinya Hayami

Pseudo-membrane jackets: Two - dimensional coordination polymers achieving visible phase separation in cell membrane

Angew. Chem. Int. Ed. **59**, 17931-17937 (2020).

Maho Yagi-Utsumi, Mahesh S. Chandak, Saeko Yanaka, Methanee Hiranyakorn, Takashi Nakamura, Koichi Kato, and Kunihiro Kuwajima,

Residual structure of unfolded ubiquitin as revealed by hydrogen/deuterium-exchange 2D NMR

Biophys. J. **119**, 2029-2038 (2020).

Yukiko Kamiya, Tadashi Satoh, Atsuji Kodama, Tatsuya Suzuki, Keiji Murayama, Hiromu Kashida, Susumu Uchiyama, Koichi Kato, and Hiroyuki Asanuma

Intrastrand backbone-nucleobase interactions stabilize unwound right-handed helical structures of heteroduplexes of L- α TNA/RNA and SNA/RNA

Commun. Chem. **3**, 156 (2020).

(総説・著書・総合論文など)

加藤晃一，與語理那

抗体に秘められた結合部位の発見 - 免疫分子の働く姿をリアルタイムで観測！
academist Journal, <https://academist-cf.com/journal/?p=12589> (2020).

佐藤匡史, 加藤晃一
タンパク質の品質管理と N 型糖鎖
糖鎖生物学 (北島 健, 佐藤ちひろ, 門松健治編), 名古屋大学出版会, pp.83-95 (2020).

加藤晃一, 山口拓実
糖鎖の動的構造解析
糖鎖生物学 (北島 健, 佐藤ちひろ, 門松健治編), 名古屋大学出版会, pp.109-110 (2020).

矢木宏和, 加藤晃一
免疫と糖鎖 (Ⅲ) -獲得免疫-
糖鎖生物学 (北島 健, 佐藤ちひろ, 門松健治編), 名古屋大学出版会, pp.223-236 (2020).

Tadashi Satoh and Koichi Kato
Recombinant expression and purification of animal intracellular L-type lectins
Lectin Purification and Analysis (J.Hirabayashi ed.), *Methods in Molecular Biology*, Humana Press (New York), vol. 2132, pp.411-417 (2020).

Saeko Yanaka, Rina Yogo, and Koichi Kato
Biophysical characterization of dynamic structures of immunoglobulin G
Biophys. Rev., **12**, 637-645 (2020).

矢木宏和, 加藤晃一
HPLC を用いた抗体医薬の糖鎖解析
医薬品／化粧品／食品分野における HPLC・GC 分析テクニック, 技術情報協会, pp.310-319 (2020).

谷中冴子, 加藤晃一
複雑な糖鎖のコンフォメーション空間の探査と改変—計算と実験の統合によるアプローチ
化学, **75**, 30-71 (2020).

加藤晃一
カセサート大学との学術交流
分子研レターズ, **81**, 20 (2020).

加藤晃一, 矢木宏和
高橋禮子先生を偲んで
JSCR Newsletter, **24**, 5 (2020).

(学会発表)

小藤加奈
カルシウムイメージングによるクルクリンと甘未受容体の相互作用
第 7 回 将来を見据えた生体分子の構造・機能解析から分子設計に関する研究会
2020 年 1 月 7 日 (名古屋) ; 1.

佐々木雄大
クマムシ固有タンパク質 SAHS1 の構造機能解析
第 7 回 将来を見据えた生体分子の構造・機能解析から分子設計に関する研究会
2020 年 1 月 7 日 (名古屋) ; 2.

太田知世
クマムシ固有タンパク質 GAZB の抗酸化活性に関する構造的知見
第 7 回 将来を見据えた生体分子の構造・機能解析から分子設計に関する研究会

2020年1月7日（名古屋）；3.

Taiki Saito, Hirokazu Yagi, Chu-Wei Kuo, Kay-Hooi Khoo, Koichi Kato
Mechanism of protein-specific glycosylation modified by fucosyltransferase 9
The 9th ExCELLS/IMS-Yonsei University Joint Workshop: "Plasma Biology and Structural Biology"
2020年1月11日（岡崎）；O-2.

Fumiko Umezawa, Hirokazu Yagi, Koichi Kato
Biosynthesis and functions of a novel glycerol phosphate modification on α -dystroglycan
The 9th ExCELLS/IMS-Yonsei University Joint Workshop: "Plasma Biology and Structural Biology"
2020年1月11日（岡崎）；O-4.

Maho Yagi-Utsumi, Koichi Kato
Plasma modification of Amyloid β (1-40)
The 9th ExCELLS/IMS-Yonsei University Joint Workshop: "Plasma Biology and Structural Biology"
2020年1月11日（岡崎）；O-11.

矢木宏和
糖タンパク質を対象とした構造解析技術の開発とタンパク質の糖鎖修飾の特異性を決定する分子メカニズムの解明
第36回 先端酵素学研究所セミナー 2020年1月14日（徳島）

Koichi Kato 【招待講演】
Dynamic sugar codes that determine protein functions and fates
SOKENDAI Asian Winter School"Challenges for New Frontiers in Molecular Science: From Basics to Advanced Researches" 2020年1月16日（岡崎）

Wilasri Thunchanok, Methanee Hiranyakorn, Maho Yagi-Utsumi, Koichi Kato
NMR Studies for Conformation of Linear Lys48-linked Ubiquitin Chains in Solution
SOKENDAI Asian Winter School"Challenges for New Frontiers in Molecular Science: From Basics to Advanced Researches" 2020年1月16日（岡崎）

Ean Wai Goh, Maho Yagi-Utsumi, Koichi Kato
Biophysical characterization of Cytoplasmic Abundant Heat Soluble protein
SOKENDAI Asian Winter School"Challenges for New Frontiers in Molecular Science: From Basics to Advanced Researches" 2020年1月16日（岡崎）

矢木真穂，井上倫太郎，杉山正明，加藤晃一
古細菌の集合シヤペロン様タンパク質 PbaA の動的構造解析
京都大学複合原子力科学研究所第54回学術講演会 2020年2月5日（京都）；P13.

柚木康弘，矢木宏和，守島 健、松本 淳，佐藤信浩，Lionel Porcar，Anne Martel，井上倫太郎，寺内一姫，河野秀俊，加藤晃一，杉山正明
Solution structure of the circadian clock protein complex characterized by a combination approach involving solution scattering and computational methods
京都大学複合原子力科学研究所第54回学術講演会 2020年2月5日（京都）；P14.

守島 健，矢木真穂，井上倫太郎，佐藤信浩，奥田 綾，裏出令子，加藤晃一，杉山正明
小角散乱と超遠心分析の協奏的解析（AUC-SAS）による弱結合性タンパク質複合体の構造解析
京都大学複合原子力科学研究所第54回学術講演会 2020年2月5日（京都）；P44.

関口太一郎
Assembly mechanism of hetero protein complex
2nd ExCELLS Retreat for Young Scientists 2020年2月7-8日（蒲郡）；P21.

梅澤英美子
Biosynthesis of a novel glycerol phosphate modification on α -dystroglycan

2nd ExCELLS Retreat for Young Scientists 2020年2月7-8日(蒲郡); P29.

谷中冴子

Exploration of dynamical structures and interactions of antibodies

2nd ExCELLS Retreat for Young Scientists 2020年2月7-8日(蒲郡); P33.

與語理那

Structural dynamics and function of antibodies

2nd ExCELLS Retreat for Young Scientists 2020年2月7-8日(蒲郡); P34.

柚木康弘

KaiC ATP hydrolysis controls its binding to Kai proteins in the cyanobacteria circadian clock system

2nd ExCELLS Retreat for Young Scientists 2020年2月7-8日(蒲郡); P37.

矢木真穂

低温大気圧プラズマ照射に伴う生体分子の動的3次元構造の変化

プラズマバイオコンソーシアム研究報告会 2020年2月18日(名古屋)

Maho Yagi-Utsumi 【招待講演】

NMR characterization of the conformations and interactions of amyloid- β on glycolipid membrane

7th International Postgraduate Conference on Pharmaceutical Sciences (iPOPS 2020)

2020年2月28日(千葉)

Kunihiro Kuwajima, Maho Yagi-Utsumi, Saeko Yanaka, and Koichi Kato

The H/D-exchange kinetics of unfolded ubiquitin in 6 M GdmCl studied by the DMSO-quenched 2D NMR techniques

44th Indian Biophysical Society Meeting (IBS 2020) 2020年3月12-14日(Mumbai)

守島 健, 矢木真穂, 井上倫太郎, 佐藤信浩, 奥田 綾, 裏出令子, 加藤晃一, 杉山正明

Structural analysis of protein complex under dissociation-association equilibrium with analytical ultracentrifugation and small angle scattering(AUC-SAS) method

2019年度 量子ビームサイエンスフェスタ 2020年3月13-14日(水戸); PF BL10C.

與語理那, 山口祐希, 渡辺大輝, 矢木宏和, 佐藤匡史, 中西真人, 鬼塚正義, 大政健史, 嶋田麻里, 丸野孝浩, 鳥巢哲生, 渡邊史生, 肥後大輔, 内橋貴之, 谷中冴子, 内山 進, 加藤晃一

IgG と Fc 受容体の相互作用には Fab 領域が寄与している

日本薬学会 第140回年会 2020年3月27日(京都); 27H-pm12S.

齋藤泰輝, 矢木宏和, Chu-Wei Kuo, Kai-Hooi Khoo, 加藤晃一

Lewis X 修飾をもたらす暗号がキャリアタンパク質のアミノ酸配列にコードされている

第84回 日本生化学会中部支部例会・シンポジウム 2020年5月(誌上開催); 9.

山田梨乃, 矢木宏和, Charles Hellec, 本田怜奈, 矢木真穂, 青木一洋, 加藤晃一

パスポート配列の付加による糖タンパク質の α 2,3-シアルル化亢進のメカニズム

第84回 日本生化学会中部支部例会・シンポジウム 2020年5月(誌上開催); 71.

Kunihiro Kuwajima, Maho Yagi-Utsumi, Saeko Yanaka, Koichi Kato

The H/D-Exchange Kinetics of Unfolded Ubiquitin in 6 M Guanidinium Chloride Studied by the DMSO-Quenched 2D NMR Techniques

第20回 日本蛋白質科学会年会 2020年7月(誌上開催); P4-46.

Yuki Yamaguchi, Rina Yogo, Hiroki Watanabe, Hirokazu Yagi, Tadashi Satoh, Mahito Nakanishi, Masayoshi

Onitsuka, Takeshi Omasa, Natsumi Wakaizumi, Mari Shimada, Takahiro Maruno, Tetsuo Torisu, Shio

Watanabe, Daisuke Higo, Takayuki Uchihashi, Saeko Yanaka, Koichi Kato, Susumu Uchiyama

Structural Analysis of IgG1-Fc γ RIIIa Interaction

第20回 日本蛋白質科学会年会 2020年7月(誌上開催); P1-15.

関口太一朗【奨励賞授賞】

巨大ウイルスの糖鎖から読み解く原始生命体における糖鎖修飾の実態

Online シンポジウム「糖の起源と進化～宇宙&深海～」第 21 回比較グライコーム研究会 2020 横浜
2020 年 8 月 21 日

矢木宏和, 山口拓実

非天然型構造を含む人工糖鎖の開発とその解析

文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム 令和二年度利用成果発表会 2020 年 9 月 4 日
(オンライン開催) ; P-50.

龍岡博亮, 鈴木達也, 加藤晃一, 山口拓実

NMR 緩和解析に基づいたルイス X 糖鎖の糖パッカリングのダイナミクス制御

第 14 回バイオ関連化学シンポジウム 2020 年 9 月 7 日 (オンライン開催) ; 1P-64.

矢木真穂【招待講演】

ガングリオシド膜上におけるアミロイド β の構造転移

第 93 回 日本生化学会大会 2020 年 9 月 15 日 (オンライン開催) ; 2S03m-03.

矢木宏和【依頼講演】

糖転移酵素によるタンパク質特異的な糖鎖修飾機構

第 93 回 日本生化学会大会 2020 年 9 月 15 日 (オンライン開催) ; 2S06e-06.

Shogo Miyajima, Maho Yagi-Utsumi, Takayuki Uchihashi, and Koichi Kato

高速原子間力顕微鏡を用いたアミロイド β 線維の伸長および抗アミロイド β 抗体による線維伸
長阻害の観察

HS-AFM observation of Amyloid β elongation and inhibition by antibodies

第 58 回 日本生物物理学会年会 2020 年 9 月 16-18 日 (オンライン開催) ; 20126A.

Kunihiro Kuwajima, Maho Yagi-Utsumi, Saeko Yanaka, and Koichi Kato

6 M 塩化グアニジウム中で変性したユビキチンの DMSO-停止 2D NMR 法による H/D 交換反応解
析

The H/D-exchange kinetics of unfolded ubiquitin in 6 M GdmCl studied by the DMSO-quenched 2D NMR
techniques

第 58 回 日本生物物理学会年会 2020 年 9 月 17 日 (オンライン開催) ; 2S-6-4.

Christian Ganser, Kimitoshi Takeda, Ryota Iino, Koichi Kato, and Takayuki Uchihashi【招待講演】

High-speed atomic force microscopy as a versatile tool to study dynamical and mechanical properties of
proteins

第 58 回 日本生物物理学会年会 2020 年 9 月 18 日 (オンライン開催) ; 3S-4-1.

Saeko Yanaka, Rina Yogo, Hirokazu Yagi, and Koichi Kato【招待講演】

Impacts of the N-glycan variation of antibodies on their dynamic structures of functional relevance

第 58 回 日本生物物理学会年会 2020 年 9 月 18 日 (オンライン開催) ; 3S-4-4.

矢木真穂【招待講演】

宇宙実験からアルツハイマー病の解明を目指す！

第 30 回 自然科学研究機構シンポジウム 2020 年 9 月 26 日 (オンライン開催)

村井結美, 矢木-内海真穂, 藤原正幸, 富田 勝, 加藤晃一, 荒川和晴

トゲクマムシ *Echiniscus testudo* の乾眠関連タンパク EtAHS の性質と細胞内局在

第 5 回 クマムシ学研究会 2020 年 9 月 27 日 (オンライン開催)

吉田祐貴, 佐藤匡史, 太田知世, 堀川大樹, 富田 勝, 加藤晃一, 荒川和晴

オミクス解析による緩歩動物特異的な新規抗酸化遺伝子の探索

第5回 クマムシ学研究会 2020年9月27日 (オンライン開催)

加藤晃一【依頼講演】

自然科学研究機構・生命創成探究センター (ExCELLS)

日本製薬工業協会 研究開発委員会 創薬研究部会 2020年10月13日 (東京)

加藤晃一

分子研における NMR 共同利用研究の現況と展望

文部科学省最先端研究基盤共用促進事業 NMR 共用プラットフォームシンポジウム 2020

2020年10月23日 (横浜) ※ライブ配信も行うハイブリット開催

加藤晃一【招待講演】

先端計測アプローチの統合による抗体の構造動態と機能発現の関連機構の解明

カイオム・バイオサイエンス講演会 2020年11月13日 (オンライン開催)

齋藤泰輝, 矢木宏和, Chu-Wei Kuo, Kai-Hooi Khoo, 加藤晃一

Lewis X 修飾暗号が組み込まれたタンパク質は FUT9 の局在する細胞内空間に導かれる

第39回 日本糖質学会年会 2020年11月21-23日 (誌上開催) ; B24.

蜷川 暁, Ginto George, 矢木宏和, 齋藤泰輝, 住友嘉樹, 石川時郎, 佐久間哲史, 山本 卓, 今見考志, 石濱 泰, 加藤晃一, 岡田徹也, 森 和俊

EDEM2 酵素活性発揮には、TXNDC11 とのジスルフィド結合形成が必要である

第39回 日本糖質学会年会 2020年11月21-23日 (誌上開催) ; B74.

矢木宏和

ジストログリカンの糖鎖伸長終結因子グリセロールリン酸による生理的調節機能とがん悪性化機構に関する研究開発

AMED-CREST、PRIME「プロテオスタシスの理解と革新的医療の創出」研究開発領域

令和2年度キックオフミーティングプログラム 2020年12月14日 (Web会議) ; 発表 14.

Atsuji Kodama, Koichi Kato, and Susumu Uchiyama

Stoichiometric approach for characterizing biomolecular complexes by native-MS

第3回 ExCELLS シンポジウム 2020年12月21日 (オンライン開催) ; 4A.

Fumiko Umezawa, Hirokazu Yagi, Chu-Wei Kuo, Kay-Hooi Khoo, and Koichi Kato

A novel mammalian post-translational modification governed by a CDP-glycerol synthase

第3回 ExCELLS シンポジウム 2020年12月21日 (オンライン開催) ; 5A.

Hirokazu Yagi, Taiki Saito, Rino Yamada, Saeko Yanaka, Maho Yagi-Utsumi, Tadahi Satoh, Tatsuya Suzuki, Satoshi Goto, Tomomi Nemoto, Yusaku Ohta, Kazuhiro Aoki, Shinji Takada, and Koichi Kato

Protein-specific glycosylation controlled by sub-Golgi resident glycosyltransferases

第3回 ExCELLS シンポジウム 2020年12月21日 (オンライン開催) ; 10A.

Koichi Kato

Research activities in extreme environmental biomolecular research group in FY2020

第3回 ExCELLS シンポジウム 2020年12月21日 (オンライン開催) ; 16A.

Methanee Hiranyakorn, Saeko Yanaka, Maho Yagi-Utsumi, and Koichi Kato

NMR characterization of conformational interconversions of Lys48-linked ubiquitin chains

第3回 ExCELLS シンポジウム 2020年12月21日 (オンライン開催) ; 21B.

Saeko Yanaka, Ai Shinomiya, Yohei Kondo, Maho Yagi-Utsumi, and Hirokazu Yagi

Investigation of possible alteration in protein glycosylation during estrous cycle

第3回 ExCELLS シンポジウム 2020年12月21日 (オンライン開催) ; 29B.

Yukiko Kamiya, Tadashi Satoh, Atsuji Kodama, Tatsuya Suzuki, Susumu Uchiyama, Koichi Kato, and
Hiroyuki Asanuma

The helix of life: New study shows how 'our' RNA stably binds to artificial nucleic acids

第3回 ExCELLS シンポジウム 2020年12月21日（オンライン開催）；39B.

【分子生物薬学分野】

(原報)

Shirane, M., M. Wada, M., Morita, K., Hayashi, N., Kunimatsu, R., Nakatsumi, H., Ohta, K., Tamura, Y., and Nakayama, K. I.

Protrudin and PDZD8 contribute to neuronal integrity by promoting lipid extraction required for endosome maturation.

Nat. Commun., **11**, 4576-4594 (2020)

Shirane, M., Shoji, H. Hashimoto, Y., Katagiri, H., Kobayashi, S., Manabe, T., Miyakawa, T., and Nakayama, K. I.

Protrudin-deficient mice manifest depression-like behavior with abnormalities in activity, attention, and cued fear-conditioning.

Mol. Brain, **13**, 146-163 (2020)

Yamauchi Y, Nita A, Nishiyama M, Muto Y, Shimizu H, Nakatsumi H, Nakayama KI.

Skp2 contributes to cell cycle progression in trophoblast stem cells and to placental development.

Genes Cells., **25**, 427-438 (2020).

Yuji Kurihara, Toshiyuki Takai, Kohtaro Takei

Nogo receptor antagonist LOTUS exerts suppression on axonal growth-inhibiting receptor PIR-B.

J. Neurochem., **155**, 285-299 (2020)

Ryu Ueno, Hajime Takase, Jun Suenaga, Masao Kishimoto, Yuji Kurihara, Kohtaro Takei, Nobutaka Kawahara, Tetsuya Yamamoto

Axonal regeneration and functional recovery driven by endogenous Nogo receptor antagonist LOTUS in a rat model of unilateral pyramidotomy.

Exp. Neurol., **323**, 113068 (2020)

(総説・著書・総合論文など)

Shirane, M.

Lipid Transfer-Dependent Endosome Maturation Mediated by Protrudin and PDZD8 in Neurons.

Front. Cell Dev. Biol., **8**, 615600-615609 (2020)

(学会発表)

白根道子【招待講演、英語】

Lipid transfer-mediated endosome maturation and neurodegeneration.

第43回日本分子生物学会年会 (MSBJ2020), 2020年12月3日 (オンライン) .

白根道子【招待講演】

神経恒常性維持における脂質輸送を介したエンドソーム成熟.

第93回日本生化学会大会, 2020年9月14日 (オンライン) .

白根道子【招待講演】

膜構造制御によるオルガネラ連携ゾーン形成と神経軸索変性症との関連.

第3回オルガネラ・ゾーン 研究会, 2020年8月26日 (オンライン) .

白根道子【招待講演】

脂質輸送を介するエンドソーム成熟機構と神経恒常性.

第4回オルガネラ・ゾーン 研究会, 2020年12月23日 (オンライン) .

松本 悠希、林 直希、白根 道子

膜接触部位のプロトルーディン結合タンパク質 PDZD8 は脂質抽出活性を有する.

第93回日本生化学会大会, 2020年9月15日 (オンライン) .

森田 敬子、和田万理子、白根 道子【若手優秀発表賞】

Protrudin-PDZD8 複合体によるエンドソーム成熟は神経細胞の健全性維持に寄与する.

第93回日本生化学会大会, 2020年9月15日 (オンライン) .

和田万理子、森田 敬子、白根 道子【若手優秀発表賞】

Protrudin-PDZD8 複合体は膜接触部位を介した後期エンドソーム成熟を促進する.

第93回日本生化学会大会, 2020年9月15日 (オンライン) .

金高陸人、白根 道子

精神疾患における炎症関連遺伝子の動態解析

第84回日本生化学会中部支部例会, 2020年5月 (Web 開催) .

山本敬太郎、白根 道子

小胞体・エンドリソソーム間膜接触部位における TMEM55B の機能.

第84回日本生化学会中部支部例会, 2020年5月 (Web 開催) .

森田敬子、和田万理子、白根 道子

Protrudin-PDZD8 複合体によるエンドソーム成熟は神経細胞の健全性維持に寄与する.

第84回日本生化学会中部支部例会, 2020年5月 (Web 開催) .

和田万理子、森田敬子、白根 道子

プロトルーディン複合体による膜接触部位を介した後期エンドソーム成熟.

第84回日本生化学会中部支部例会, 2020年5月 (Web 開催) .

中津海洋一【招待講演】

定量的リン酸化プロテオミクスによる mTOR 下流の大規模シグナル解析.

第一回シロリムス新作用研究会, 2020年10月10日 (Web 開催) .

川口祐生、栗原裕司、松林潤平、川上裕、竹居光太郎

神経回路形成因子 LOTUS によるアミロイドβタンパク質受容体 PirB の制御.

日本神経化学会大会第63回, 2020年9月10-12日 (Web 開催) .

【薬物送達学分野】

(原報)

Tatsuaki Tagami, Erina Ito, Naomi Hayashi, Norihito Sakai, Tetsuya Ozeki. Application of 3D printing technology for generating hollow-type suppository shells. *Int J Pharm.* **589**: 119825 (2020).

Jin Liu, Tatsuaki Tagami, Tetsuya Ozeki. Fabrication of 3D-printed fish-gelatin-based polymer hydrogel patches for local delivery of PEGylated liposomal doxorubicin. *Marine Drugs.* **18**:325 (2020).

Kaori Fukushige, Tatsuaki Tagami, Munekazu Naito, Eiichi Goto, Shuichi Hirai, Naoyuki Hatayama, Hiroki Yokota, Takao Yasui, Yoshinobu Baba, Tetsuya Ozeki. Developing spray-freeze-dried particles containing a hyaluronic acid-coated liposome-protamine-DNA complex for pulmonary inhalation. *Int J Pharm.* **583**: 118338 (2020).

Maho Urano, Megumi Kitahara, Kae Kishi, Eiichi Goto, Tatsuaki Tagami, Toshiro Fukami, Tetsuya Ozeki. Physical Characteristics of Cilostazol-Hydroxybenzoic Acid Cocrystals Prepared Using a Spray Drying Method. *Crystals.* 10(4): **313** (2020).

(総説・著書・総合論文など)

田上 辰秋, 尾関 哲也.

Additive Manufacturing 技術の現在 II: 3D プリンターを利用した錠剤成形
化学工学 **84**(5): 243-246 (2020).

田上 辰秋, 尾関 哲也.

3D プリンター医薬品・錠剤の研究に関する最近のトピックス～アカデミアの立場から～
PHARM TECH JAPAN. **36**(5): 145-152 (2020).

田上 辰秋, 尾関 哲也.

3D プリンター技術によるオーダーメイド医療の可能性と 3D バイオプリンターを用いた錠剤の調製
3D プリンタ用材料開発と造形物の高精度化
技術情報協会 p377-384 (2020).

田上 辰秋, 尾関 哲也.

フロンティア研究シリーズ: 3D プリンターを用いた医薬品の製造と患者に合わせたオーダーメイド
医薬品への応用
粉体工学会誌, **57**, 633-639 (2020).

(学会発表)

田上辰秋【招待講演】

3D プリンターを用いた医薬品作製,
CELLINK LIFESCENCES ライブウェビナー, 2020 年 6 月, オンライン開催

田上 辰秋, 伊藤 恵里奈, 木田 理沙子, 野田 剛弘, 尾関 哲也.

3D バイオプリンターを用いた小児グミ製剤の製剤評価. 第 30 回日本医療薬学会年会, Web 開催, 2020 年 10 月 24 日～11 月 1 日 (ポスター発表)

花木 彩香, 後藤 瑛一, 田上 辰秋, 尾関 哲也.

多孔質 PLGA マイクロ粒子を用いたバイオ医薬品徐放システムに関する検討. 第 36 回日本 DDS 学会
学術集会, 兵庫県神戸市 (ハイブリッド), 2020 年 8 月 28 日~29 日 (口頭発表)

小松 美穂, 後藤 瑛一, 田上 辰秋, 尾関 哲也.

吸入剤用 PLGA 微粒子の多孔質化におけるパーティクルエンジニアリング.
日本薬学会第 140 年会, 京都府左京区, 2020 年 3 月 25 日~28 日

木田 理沙子, 花木 彩香, 田上 辰秋, 野田 剛弘, 尾関 哲也.

3D バイオプリンターを用いた眼付着性抗菌パッチ・ミニタブレットの開発.
日本薬学会第 140 年会, 京都府左京区, 2020 年 3 月 25 日~28 日

玉越 知樹, 幾世 真琳, 花木 彩香, 田上 辰秋, 尾関 哲也.

キシリトールを粉碎メディアとしたフーバーマラーによる難溶性薬物の微細化技術.
日本薬学会第 140 年会, 京都府左京区, 2020 年 3 月 25 日~28 日

尾関 哲也, 中村 和哉, 鯉江 真帆, 梶屋 昌史, 辰巳 真里奈, 竹内 堂朗, 田上 辰秋, 川上 智子, 池
崎 秀和.

名古屋市立大学薬学部の製剤学実習における味覚センサー導入の試み~第 9 報~.
日本薬学会第 140 年会, 京都府左京区, 2020 年 3 月 25 日~28 日

田上 辰秋, 野田 剛弘, 尾関 哲也.

リドカインイオンゲルインクを用いた口腔粘膜炎用 3D プリンター多層フィルム剤の調製. 日本薬学
会第 140 年会, 京都府左京区, 2020 年 3 月 25 日~28 日

尾関 哲也【招待講演】, 田上 辰秋: 金ナノ粒子に着目したドラッグデリバリー技術・ナノメディス
ンの開発. 日本薬学会第 140 年会, 京都府左京区, 2020 年 3 月 25 日~28 日

【生薬学分野】

(原報)

Kan'ichiro Ishiuchi, Dai Hirose, Taishi Kondo, Kohei Watanabe, Kazuyoshi Terasaka, Toshiaki Makino
Mariannamides A and B, new cyclic octapeptides isolated from *Mariannaea elegans* NBRC102301
Bioorg. Med. Chem. Lett., **30**, 126946 (2020).

Aki Yamada, Miku Kondo-Kaneko, Kan'ichiro Ishiuchi, Toshiaki Makino, Kazuyoshi Terasaka
Isolation and characterization of a novel glucosyltransferase involved in production of emodin-6-*O*-glucoside
and rhaponticin in *Rheum palmatum*
Plant Biotechnol. **37**, 293-299 (2020).

Yoshihiko Nakatani, Kanako Negoro, Miki Yamauchi, Maki Katasho, Kei-ichiro Ishikura, Anna Iwaki, Kazuyo
Tsukada, Marina Yamaguchi, Arata Uehara, Masato Yoshida, Kan'ichiro Ishiuchi, Toshiaki Makino, Masahiro
Ohsawa, Taku Amano
Neoline, an active ingredient of the processed aconite root in Goshajinkigan formulation, targets Nav1.7 to
ameliorate mechanical hyperalgesia in diabetic mice
J. Ethnopharmacol., **259**, 112963 (2020).

Kan'ichiro Ishiuchi, Ayesha Amber Syed, Yasuhiro Kosuge, Yukio Fujiwara, Toshiaki Makino, Dai Hirose
Decaturenol A and known oxalic acid related meroterpenoids isolated from *Penicillium decaturense* RO050, and
their new biological activities
Bioorg. Med. Chem. Lett., **30**, 127307 (2020).

Yasin Genc, Didem Sohretoglu, U. Sebnem Harput, Kan'ichiro Ishiuchi, Toshiaki Makino, Iclal Saracoglu
Chemical constituents of *Plantago holosteum* and evaluation of their chemotaxonomic significance
Chem. Natl. Comp., **56**, 566-568 (2020).

Tsukasa Fueki, Koichiro Tanaka, Kunihiko Obara, Ryudo Kawahara, Takao Namiki, Toshiaki Makino
The acrid raphides in tuberous root of *Pinellia ternata* have lipophilic character and are specifically denatured
by ginger extract
J. Nat. Med., **74**, 722-731 (2020).

Masaaki Minami, Hiroshi Takase, Masayo Taira, Toshiaki Makino
Suppressive effects of Hainosan (Painongsan) against biofilm production by *Streptococcus mutans*
Dentistry J., **8**, 71 (2020).

Masaaki Minami, Toshiaki Makino
Effects of *Lonicera japonica* flower bud extract on *Citrobacter rodentium*-induced digestive tract infection
Medicines., **7**, 52 (2020).

Xin Xu, Koshi Asai, Daiki Kato, Kan'ichiro Ishiuchi, Kewen Ding, Yoshiaki Tabuchi, Misato Ota, Toshiaki
Makino
Honey isomaltose contributes to the induction of granulocyte-colony stimulating factor (G-CSF) secretion in
the intestinal epithelial cells following honey heating
Sci. Rep., **10**, 15178 (2020).

Sakiko Nishikawa, Yasumichi Inoue, Yuka Hori, Chiharu Miyajima, Daisuke Morishita, Nobumichi Ohoka,
Shigeaki Hida, Toshiaki Makino, Hidetoshi Hayashi

Anti-inflammatory activity of kurarinone involves induction of HO-1 via the KEAP1/NRF2 pathway
Antioxidants, **9**, 842 (2020).

牧野利明, 関根麻理子, 田中耕一郎, 嶋田沙織, 地野充時, 田原英一
医療安全委員会報告～漢方製剤に関する薬局ヒヤリ・ハット事例
日本東洋医学雑誌, **71**, 394-401 (2020).

小池宙, 松岡尚則, 笛木司, 牧野利明
「生姜」と「乾姜」の定義について～江戸時代と現代日本漢方での違いとその経緯についての一考察
日本東洋医学雑誌, **71**, 406-417 (2020).

(総説・著書・総合論文など)

牧野利明, 森永 紀, 石内勘一郎, 吉野鉄大, 小川恵子, 南澤 潔, 渡辺賢治, 並木隆雄
甘草の副作用、偽アルドステロン症の発症メカニズム～真の原因物質 18β -glycyrrhetyl-3-O-sulfate の可能性
phil 漢方, **79**, 10-13 (2020).

地野充時, 牧野利明, 関根麻理子, 田中耕一郎, 嶋田沙織, 平崎能郎, 四日順子, 乗次瑞穂, 古屋英治, 田原英一
漢方薬による副作用（偽アルドステロン症、薬物性肝障害、薬物性肺炎）について～日本東洋医学会医療安全委員会活動報告（2019）～
日本東洋医学雑誌, **71**, 262-267 (2020).

中村智徳, 吉野鉄大, 堀場裕子, 渡辺賢治, 三村將, 小川恵子, 南澤潔, 並木隆雄, 牧野利明
漢方薬の副作用に関連した最近の研究成果から～甘草による偽アルドステロン症の新たな原因物質の可能性
医薬品相互作用研究, **44**, 75-86 (2020).

牧野利明
ブシの神経障害性疼痛に対する有効成分はネオリンだった
漢方の臨床, **67**, 67 (2020)

笛木司, 牧野利明
成都・重慶生薬探訪記
漢方の臨床, **67**, 225-231 (2020)

(学会発表)

牧野利明
心と体に効く漢方～知ってトクする漢方医療の知識～
令和元年度愛知県看護研究会ランチョンセミナー, 2020年1月29日(名古屋)。

牧野利明
高齢者によく用いられる漢方薬とその服薬指導上の注意点
第9回三重高齢者薬物治療セミナー, 2020年1月30日(四日市)。

Yoshihiko Nakatani, Junya Yamaguchi, Yasuyuki Yokoyama, Arata Uehara, Maki Katasho, Yasuji Saito, Toshiaki Makino, Taku Amano

The active ingredient from processed aconitine root as Nav1.7 voltage-gated sodium channels blocker
第 93 回日本薬理学会年会, 2020 年 3 月 16-18 日 (横浜) .

近藤泰嗣, 村口真凜, 石内勘一郎, 牧野利明, 萩原圭祐
筋細胞における牛車腎気丸およびその構成生薬エキスの SIRT1 発現誘導作用
日本薬学会第 140 年会, 2020 年 3 月 25-28 日 (京都) .

許鑫, 太田美里, 加藤大貴, 田渕圭章, 牧野利明
G-CSF 産生誘導活性を指標とした蜜炙法に適したハチミツの探索とその寄与成分
日本薬学会第 140 年会, 2020 年 3 月 25-28 日 (京都) .

十川志穂, 樋渡純一, 寺坂和祥, 牧野利明
Lactase phlorizin-hydrolase による天然物配糖体の加水分解の基質特異性の解析
日本薬学会第 140 年会, 2020 年 3 月 25-28 日 (京都) .

南雲秋穂, 廣瀬大, 牧野利明, 石内勘一郎
ツツジ科植物由来内生糸状菌 *Arthrimum arundinis* EF1742 より単離した新規化合物の構造
日本薬学会第 140 年会, 2020 年 3 月 25-28 日 (京都) .

徳川宗成, 伊藤友香, 石内勘一郎, 牧野利明, 松野倫代, 水上 元, 井上靖道, 林秀敏
天然生理活性成分による小胞体ストレス応答の制御機序解明
第 84 回日本生化学会中部支部例会・シンポジウム, 2020 年 5 月 23 日 (オンライン) .

牧野利明
生薬・漢方薬に関する医薬品情報学
熊本漢方研究会～漢方フォーラム, 2020 年 8 月 2 日 (熊本) .

南正明, 平雅代, 牧野利明
歯周病関連細菌由来歯肉膿瘍マウスモデルにおける排膿散の抗感染症効果
第 37 回和漢医薬学会学術大会, 2020 年 8 月 29-30 日 (オンライン) .

奥村雄一, 小西徹, 牧野利明
辛夷清肺湯のムチン産生抑制作用とその有効成分の探索
第 37 回和漢医薬学会学術大会, 2020 年 8 月 29-30 日 (オンライン) .

新谷円華, 牧野利明
ケンポナシエキスのアルコール代謝酵素に対する作用
第 37 回和漢医薬学会学術大会, 2020 年 8 月 29-30 日 (オンライン) .

牧野利明
天アカから学んだこと【シンポジスト講演】
第 37 回和漢医薬学会学術総会, 2020 年 8 月 30 日 (オンライン) .

石内勘一郎, 廣瀬大, セイエドアイシャアンバル, 小菅康弘, 藤原章雄, 近藤泰嗣, 渡部浩平, 寺坂和祥, 牧野利明
植物生息糸状菌由来新規化合物の構造と生物活性
第 62 回天然有機化合物討論会, 2020 年 9 月 22-24 日 (オンライン) .

牧野利明

生薬の修治の研究～附子と甘草について【教育講演】

2020年度日本東洋医学会関西支部例会, 2020年10月18日(大阪)。

甘草の副作用, 偽アルドステロン症の原因成分の探索【シンポジスト講演】

第30回日本医療薬学会年会, 2020年10月24日(オンライン)。

牧野利明

漢方製剤における医療薬学的諸問題

日本病院薬剤師会 e-ラーニング, 2020年11月1日(オンライン)。

田原英一, 関根麻理子, 牧野利明, 田中耕一郎, 嶋田沙織, 四日順子, 小松加寿子, 古屋治, 地野充時

漢方薬のリスクマネジメント

第41回日本臨床薬理学会学術総会, 2020年12月3-5日(オンライン)。

牧野利明

加工ブシの神経障害性疼痛緩和作用とその有効成分【シンポジスト講演】

第42回日本疼痛学会, 2020年12月4日(オンライン)。

牧野利明

紫雲膏を作ってみよう

瑞穂区役所・名古屋市立大学連携事業「冬の薬学教室」, 2020年12月19日(名古屋)。

【衛生化学分野】

(原報)

Saishi Nishiyama, Ayaka Urabe, Arisa Morikawa, Masato Kobayashi, Kikuo Onozaki, Saotomo Itoh, Shigeaki Hida.

Staphylococcal superantigen-like 12 induces the production of interleukin 4 in murine basophils
Biochem Biophys Res Commun. **532**, 200-204(2020)

Hitoshi Tsugawa, Yasuaki Kabe, Ayaka Kanai, Yuki Sugiura, Shigeaki Hida, Shun'ichiro Taniguchi, Toshio Takahashi, Hidenori Matsui, Zenta Yasukawa, Hiroyuki Itou, Keiyo Takubo, Hidekazu Suzuki, Kenya Honda, Hiroshi Handa, Makoto Suematsu

Short-chain fatty acids bind to apoptosis-associated speck-like protein to activate inflammasome complex to prevent Salmonella infection
PLoS Biol. **18**, e3000813.(2020)

Sakiko Nishikawa, Yasumichi Inoue, Yuka Hori, Chiharu Miyajima, Daisuke Morishita, Nobumichi Ohoka, Shigeaki Hida, Toshiaki Makino, Hidetoshi Hayashi

Anti-inflammatory activity of kurarinone involves induction of ho-1 via the Keap1/Nrf2 pathway
Antioxidants **9**, 1-15(2020).

(学会発表)

中山真央, 谷口恵一, 長谷川倫弘, 田中崇宏, 櫻田紳策, 大原直也, 伊藤佐生智, 肥田重明, 小野寄菊夫, 瀧井猛将

結核菌によるヒト肺由来線維芽細胞株における細胞死の解析
第93回日本細菌学会総会 2020年2月19~21日(名古屋)

伊藤佐生智, 金光東, 小林正都, 北野拓真, 滝藤遥希, 林知仁, 井上ひかる, 占部彩花, 大矢進, 肥田重明

黄色ブドウ球菌の Staphylococcal superantigen-like (SSL) 12 によるマスト細胞活性化作用
日本薬学会第140年会 2020年3月27日 Web開催

中山真央, 安田直美, 谷口恵一, 長谷川倫宏, 大原直也, 伊藤佐生智, 肥田重明, 小野寄菊夫, 瀧井猛将

結核菌感染によるヒト肺由来線維芽細胞の細胞死とインフラマソーム活性化の関連性の解析
日本薬学会第140年会 2020年3月27日 Web開催

北野拓真, 岸田啓太郎, 瀧伸介, 伊藤佐生智, 肥田重明

T細胞依存的な好塩基球の IgE 抗体反応性増強作用
日本生化学会中部支部第84回例会 2020年5月23日(名古屋)

金光東, 占部彩花, 小林正都, 北野拓真, 滝藤遥希, 緒方郁奈, 井上ひかる, 林知仁, 大矢進, 肥田重明, 伊藤佐生智

黄色ブドウ球菌毒素 SSL12 によるマスト細胞の活性制御
フォーラム2020 衛生薬学・環境トキシコロジー 2020年9月4~5日 Web開催

北野拓真, 岸田啓太郎, 松井優佳, 瀧伸介, 伊藤佐生智, 肥田重明

T細胞依存的な好塩基球の IgE 抗体反応性増強作用と細胞内シグナル伝達

フォーラム 2020 衛生薬学・環境トキシコロジー 2020年9月4～5日 Web開催

伊藤佑真, 藤岡直人, 伊藤佐生智, 谷口俊一朗, 肥田重明
ビフィズス菌を用いた新規 DDS の構築と安全性の検討
第32回 微生物シンポジウム 2020年9月20日(日) Web開催

瀧井猛将, 中山真央, 安田直美, 山田博之, 大原直也, 伊藤佐生智, 肥田重明, 小野寄菊夫
結核菌感染ヒト肺線維芽細胞の細胞死の解析
第32回 微生物シンポジウム 2020年9月20日(日) Web開催

【遺伝情報学分野】

(原報)

Inagaki, H., Hosoda, N., Tsuiji, H., Hoshino, S. (2020) Direct evidence that Ataxin-2 is a translational activator mediating cytoplasmic polyadenylation. **J Biol Chem** 295, 15810-15825. doi: 10.1074/jbc.RA120.013835.

【selected as **Editors' Pick** article】

Aoki a, H., Yamashit, M., Hashitaa, T., Ogami, K., Hoshino, S., Iwao, T., Matsunaga, T. (2020) Efficient differentiation and purification of human induced pluripotent stem cell-derived endothelial progenitor cells and expansion with the use of inhibitors of ROCK, TGF- β , and GSK3 β . **Heliyon** 6 (3):e03493. doi: 10.1016/j.heliyon.2020.e03493.

Nogimori, T., Ogami, K., Oishi, Y., Goda, R., Hosoda, N., Kitamura, Y., Kitade, Y., and Hoshino S. (2020) ABCE1 acts as a positive regulator of exogenous RNA decay. **Viruses** 20 (12) 174. doi:10.3390/v12020174

Hojo, H., Yashiro, Y., Noda, Y., Ogami, K., Yamagishi, R., Okada, S., Hoshino, S. and Suzuki, T. (2020) The RNA-binding protein QKI-7 recruits the poly(A) polymerase GLD-2 for 3' adenylation and selective stabilization of microRNA-122. **J Biol Chem** 295 (2), 390-402. doi: 10.1074/jbc.RA119.011617.

(学会発表)

Koichi Ogami, Yuka Oishi, Natsumi Yamaguchi, Shin-ichi Hoshino : Poly(A) tail length positively correlates with the extent of mRNA ribosome loading, Cold Spring Harbor meeting “TRANSLATIONAL CONTROL”, 2020年9月4日 New York (Virtual Meeting)

山口奈都美、尾上耕一、細田直、星野真一：インターロイキンエンハンサー結合因子 ILF3 は細胞質において標的 mRNA のポリ A 鎖を伸長する、日本生化学会中部支部例会・シンポジウム、2020年5月23日 (名古屋)

尾上耕一、野木森拓人、大石結香、合田凌也、細田直、喜多村徳昭、北出幸夫、星野真一：リボソームリサイクル因子 ABCE1 は外来性 RNA 分解を正に制御する、日本生化学会中部支部例会・シンポジウム、2020年5月23日 (名古屋)

中島朋香、志水良亮、尾上耕一、星野真一：RNA 結合タンパク質 LARP4 はミトコンドリア周辺に局在する、日本生化学会中部支部例会・シンポジウム、2020年5月23日 (名古屋)

中北侑希、尾上耕一、山岸良多、細田直、星野真一：癌抑制遺伝子産物 BTG3 による標的 mRNA のポリ A 鎖制御、日本生化学会中部支部例会・シンポジウム、2020年5月23日 (名古屋)

中村亮太、中島朋香、小林純果、志水良亮、尾上耕一、星野真一：LARP4 は呼吸鎖複合体構成因子の mRNA ポリ A 鎖伸長を制御する、日本生化学会中部支部例会・シンポジウム、2020年5月23日 (名古屋)

細田直、星野真一：mRNA の3'末端ポリ A 鎖伸長を測定するアッセイ系の確立、日本生化学会中部支部例会・シンポジウム、2020年5月23日 (名古屋)

宮原彰太、尾上耕一、細田直、星野真一：翻訳終結因子 eRF3 による mRNA ポリ A 鎖分解開始のメカニズム、日本生化学会中部支部例会・シンポジウム、2020年5月23日 (名古屋)

西井由佳、堀田昂志、細田直、星野真一：脊髄小脳変性症原因因子 Ataxin-2 による細胞内顆粒 SGs 形成制御、日本生化学会中部支部例会・シンポジウム、2020 年 5 月 23 日（名古屋）

隠岐興一、中山彩乃、細田直、星野真一：mRNA 医薬の翻訳を効率化する技術の確立、日本生化学会中部支部例会・シンポジウム、2020 年 5 月 23 日（名古屋）

田中幸嗣、菊川拓磨、細田直、星野真一：Musashi によるポリ A 鎖伸長を介した赤芽球分化制御、日本生化学会中部支部例会・シンポジウム、2020 年 5 月 23 日（名古屋）

稲垣佑都、細田直、星野真一：脊髄小脳変性症原因因子 Ataxin-2 によるポリ A 鎖伸長複合体解析、日本生化学会中部支部例会・シンポジウム、2020 年 5 月 23 日（名古屋）

大石結香、尾上耕一、山口奈津美、星野真一：mRNA3'末端ポリ A 鎖の長さは翻訳活性と正に相関する、日本生化学会中部支部例会・シンポジウム、2020 年 5 月 23 日（名古屋）

都島大知、隠岐興一、寺山七夢、中村亮太、尾上耕一、星野真一：RNA 3'ポリアデニル化を制御する RNA 結合タンパク質の標的 miRNA の網羅的探索、日本生化学会中部支部例会・シンポジウム、2020 年 5 月 23 日（名古屋）

石川裕之、尾上耕一、野木森拓人、星野真一：ウイルス感染時の細胞内翻訳シャットダウン機構の解明、日本生化学会中部支部例会・シンポジウム、2020 年 5 月 23 日（名古屋）

【細胞分子薬効解析学分野】

(原報)

Noda S, Suzuki Y, Yamamura H, Imaizumi Y.

Single Molecule Fluorescence Imaging Reveals the Stoichiometry of BK γ 1 Subunit in Living HEK293 Cell Expression System.

Biol Pharm Bull. 43(7):1118-1122 (2020).

Suzuki T, Yasumoto M, Suzuki Y, Asai K, Imaizumi Y, Yamamura H.

TMEM16A Ca²⁺-activated Cl⁻ channel regulates the proliferation and migration of brain capillary endothelial cells.

Mol Pharmacol. 98(1):61-71 (2020).

Noda S, Chikazawa K, Suzuki Y, Imaizumi Y, Yamamura H.

Involvement of the γ 1 subunit of the large-conductance Ca²⁺-activated K⁺ channel in the proliferation of human somatostatinoma cells.

Biochem Biophys Res Commun. 525(4):1032-1037 (2020).

Yamamura H, Suzuki Y, Asai K, Imaizumi Y, Yamamura H.

Oxidative stress facilitates cell death by inhibiting Orai1-mediated Ca²⁺ entry in brain capillary endothelial cells.

Biochem Biophys Res Commun. 523(1):153-158 (2020).

Noda S, Suzuki Y, Yamamura H, Giles WR, Imaizumi Y.

Roles of LRRC26 as an auxiliary γ 1-subunit of large-conductance Ca²⁺-activated K⁺ channels in bronchial smooth muscle cells.

Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol. 318(2):L366-L375 (2020).

Babicheva A, Ayon RJ, Zhao T, Ek Vitorin JF, Pohl NM, Yamamura A, Yamamura H, Quinton BA, Ba M, Wu L, Ravellette KS, Rahimi S, Balistreri F, Harrington A, Vanderpool RR, Thistlethwaite PA, Makino A, Yuan JX.

MicroRNA-mediated downregulation of K⁺ channels in pulmonary arterial hypertension.

Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol. 318(1):L10-L26 (2020).

(総説・著書・総合論文など)

Suzuki Y, Yamamura H, Imaizumi Y, Clark RB, Giles WR.

K⁺ and Ca²⁺ Channels Regulate Ca²⁺ Signaling in Chondrocytes: An Illustrated Review.

Cells. 9(7):E1577 (2020).

Yamamura H, Suzuki Y, Yamamura A.

Pathophysiological roles of TRPC6 channels in pulmonary arterial hypertension.

Nihon Yakurigaku Zasshi. 155(4):230-235 (2020).

(学会発表)

藤原萌園、山村彩、鈴木良明、山村寿男

フィンゴリモドは肺動脈平滑筋細胞の異常増殖を抑制し、肺高血圧症を改善する
第 67 回中部日本生理学会、2020 年 10 月 16~20 日（愛知） ;O-23.

川出有希子、山村彩、鈴木良明、山村寿男
肺高血圧症ラットの週齢差による病態変化
第 67 回中部日本生理学会、2020 年 10 月 16~20 日（愛知）

黒瀬梨沙、鈴木良明、今泉祐治、山村寿男
軟骨細胞内 Ca^{2+} シグナルの変形性関節症の病態形成に対する寄与
第 138 回日本薬理学会近畿部会、2020 年 11 月 14 日（オンライン） ; C1-1.

三島寛貴、鈴木良明、山村寿男
ラット松果体細胞における電位依存性 Kv4.2 チャネルの機能解析
第 138 回日本薬理学近畿部会、2020 年 11 月 14 日（オンライン） ; C1-2.

片山大樹、前田和輝、鈴木良明、山村寿男
Kir2.1 チャネルによるマウス骨髄由来マクロファージの活性制御機構の解明
日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2020、
2020 年 11 月 21・22 日 ; B-59.

出口朱理、鈴木良明、山村寿男
ヒト肝星細胞における TREK-1 チャネルの発現機能解析
日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2020
2020 年 11 月 21・22 日（オンライン） ; B-61

鈴木貴久、安本美貴、鈴木良明、今泉祐治、山村寿男 **【Young investigator award】**
 Ca^{2+} 活性化 Cl⁻ チャネル TMEM16A の BBB バリア機能に対する寄与の解明
第 30 回日本循環薬理学会、2020 年 11 月 27 日（オンライン） ; YD-03.

【病態生化学分野】

(原報)

Kohno, T., Ogino, H., and Hattori, M. Expression and preparation of Reelin and ADAMTS-3 proteins. *Methods Mol. Biol.* 2043, 93 (2020)

Ogino, H., Yamakage, Y., Kohno, T., and Hattori, M. Assay for Reelin-cleaving activity of ADAMTS and detection of Reelin and its fragments in brain. *Methods Mol. Biol.* 2043, 105 (2020)

Okugawa, E., Ogino, H., Shigenobu, T., Yamakage, Y., Tsuiji, H., Oishi, H., Kohno, T., and Hattori, M. Physiological significance of proteolytic processing of Reelin revealed by cleavage-resistant Reelin knock-in mice. *Sci. Rep.* 10, 4471 (2020)

Ibi, D., Nakasai, G., Koide, N., Sawahata, M., Kohno, T., Takaba, R., Nagai, T., Hattori, M., Nabeshima, T., Yamada, K., and Hiramatsu, M. Reelin supplementation into the hippocampus rescues abnormal behavior in a mouse model of neurodevelopmental disorder. *Front. Cell. Neurosci.* 14, 285. (2020)

Ogino, H., Nakajima, T., Hirota, Y., Toriuchi, K., Aoyama, M., Nakajima, K., and Hattori, M. The secreted glycoprotein Reelin suppresses the proliferation and regulates the distribution of oligodendrocyte progenitor cells in the embryonic neocortex. *J. Neurosci.* 40, 7625 (2020)

Kohno, T., Ishii, K., Hirota, Y., Honda, T., Makino, M., Kawasaki, T., Nakajima, K., and Hattori, M. Reelin-Nrp1 interaction regulates neocortical dendrite development in a context-specific manner. *J. Neurosci.* 43, 8248 (2020)

(学会発表)

石塚拓巳、服部光治
シナプス形成におけるリーリン機能とその制御機構の解析
第 84 回日本生化学会中部支部例会 2020 年 5 月 23 日 (名古屋市)

中尾洋介、横川慧、河野孝夫、鈴木崇弘、服部光治
物発光イメージングを用いたリーリン分泌の解析
第 93 回日本生化学会大会 2020 年 9 月 14 日-16 日 WEB 開催

重信奉文、奥川英介、大石久史、河野孝夫、服部光治
第 93 回日本生化学会大会 2020 年 9 月 14 日-16 日 WEB 開催 優秀発表賞受賞

【薬物動態制御学分野】

(原報)

Risa Takenaka, Tomoya Yasujima, Junji Furukawa, Yosuke Hishikawa, Takahiro Yamashiro, Kinya Ohta, Katsuhisa Inoue, Hiroaki Yuasa

Functional analysis of the role of equilibrative nucleobase transporter 1 (ENBT1/SLC43A3) in adenine transport in HepG2 cells.

J. Pharm. Sci., **109**, 2622-2628 (2020).

Tomoki Kabeya, Shinji Mima, Yuki Imakura, Toshihide Miyashita, Izumi Ogura, Tadanori Yamada, Tomoya Yasujima, Hiroaki Yuasa, Takahiro Iwao, Tamihide Matsunaga

Pharmacokinetic functions of human induced pluripotent stem cell-derived small intestinal epithelial cells.

Drug Metab. Pharmacokinet., **35**, 374-382 (2020).

Takahiro Yamashiro, Tomoya Yasujima, Hamid M. Said, Hiroaki Yuasa

pH-dependent pyridoxine transport by SLC19A2 and SLC19A3: implications for absorption in acidic microclimates.

J. Biol. Chem., **295**, 16998-17008 (2020).

Kalidas Ramamoorthy, Kasin Yadunandam Anandam, Tomoya Yasujima, Padmanabhan Srinivasan, Hamid M. Said

Posttranscriptional regulation of thiamin transporter-1 expression by microRNA-200a-3p in pancreatic acinar cells.

Am. J. Physiol. Gastrointest. Liver Physiol., **319**, G323-G332 (2020).

(総説・著書・総合論文など)

Hiroaki Yuasa, Tomoya Yasujima, Katsuhisa Inoue

Current understanding of the intestinal absorption of nucleobases and analogs.

Biol. Pharm. Bull., **43**, 1293-1300 (2020).

井上勝央, 湯浅博昭

核酸塩基トランスポーターSLC43A3/ENBT1の輸送特性とガンシクロビルを用いた自殺遺伝子療法における役割.

「トランスポーターのすべて (別冊・医学のあゆみ)」, 楠原洋之編, 医歯薬出版, 東京, pp. 122-127 (2020).

(学会発表)

山原由梨香, 保嶋智也, 山城貴弘, 湯浅博昭

核酸塩基輸送における ENT 類と核酸塩基代謝酵素との機能的協働効果.

日本薬学会第 140 年会, 2020 年 3 月 25 日 - 28 日 (京都) .

山下紗瑛奈, 山城貴弘, 保嶋智也, 湯浅博昭

SLC19A3 による pyridoxine 及び thiamine の輸送に対するフラボノイド類の阻害作用の解析.

日本薬学会第 140 年会, 2020 年 3 月 25 日 - 28 日 (京都) .

矢嶋陽菜, 黒田大祐, 保嶋智也, 山城貴弘, 湯浅博昭
CNT3 に対するフラボノイド類の阻害作用の解析.
日本薬学会第 140 年会, 2020 年 3 月 25 日 - 28 日 (京都) .

三宅浩平, 小川有沙, 保嶋智也, 山城貴弘, 湯浅博昭
SLC19A3 の脳神経変性疾患関連遺伝子変異と輸送機能との関係.
日本薬学会第 140 年会, 2020 年 3 月 25 日 - 28 日 (京都) .

細岡 晶, 山城貴弘, 保嶋智也, 湯浅博昭
OCT2 による atenolol 輸送と MPP⁺輸送の比較解析.
日本薬剤学会第 35 年会, 2020 年 5 月 14 日 - 16 日 (熊本) .

山城貴弘, 難波莉子, 保嶋智也, 湯浅博昭
Caco-2 細胞における nicotinamide 担体輸送系の解析.
日本薬剤学会第 35 年会, 2020 年 5 月 14 日 - 16 日 (熊本) .

田中雄大, 矢嶋陽菜, 黒田大祐, 篠田裕太郎, 保嶋智也, 山城貴弘, 湯浅博昭
CNT2 及び CNT3 に対するフラボノイド類の阻害作用.
日本薬剤学会第 35 年会, 2020 年 5 月 14 日 - 16 日 (熊本) .

【病態解析学分野】

(原報)

The secreted glycoprotein Reelin suppresses the proliferation and regulates the distribution of oligodendrocyte progenitor cells in the embryonic neocortex.

Ogino H, Nakajima T, Hirota Y, Toriuchi K, Aoyama M, Nakajima K, Hattori M.

J Neurosci. 2020;40(40):7625-7636.

IL-6 promotes cell adhesion in human endothelial cells via microRNA-126-3p suppression.

Ohta M, Kihara T, Toriuchi K, Aoki H, Iwaki S, Kakita H, Yamada Y, Aoyama M.

Exp Cell Res. 2020;393(2):112094.

Inhibition of transforming growth factor beta signaling pathway promotes differentiation of human induced pluripotent stem cell-derived brain microvascular endothelial-like cells.

Yamashita M, Aoki H, Hashita T, Iwao T, Matsunaga T.

Fluids Barriers CNS. 2020;17(1):36.

Prolonged astrocyte-derived erythropoietin expression attenuates neuronal damage under hypothermic conditions.

Toriuchi K, Kakita H, Tamura T, Takeshita S, Yamada Y, Aoyama M.

J Neuroinflammation. 2020;17(1):141.

Laminin 221 fragment is suitable for the differentiation of human induced pluripotent stem cells into brain microvascular endothelial-like cells with robust barrier integrity.

Aoki H, Yamashita M, Hashita T, Iwao T, Matsunaga T.

Fluids Barriers CNS. 2020;17(1):25.

Efficient differentiation and purification of human induced pluripotent stem cell-derived endothelial progenitor cells and expansion with the use of inhibitors of ROCK, TGF- β , and GSK3 β .

Aoki H, Yamashita M, Hashita T, Ogami K, Hoshino S, Iwao T, Matsunaga T.

Heliyon. 2020;6(3):e03493.

(学会発表)

miR-1914-5p は血管内皮細胞の単球接着性を変化させ動脈硬化の病変形成に関与する

木原星衣、鳥内皐暉、青木啓将、垣田博樹、山田恭聖、青山峰芳

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部 合同学術大会 2020 2020年11月21-22日

(web開催)

(ベストプレゼンテーション賞)

腫瘍関連マクロファージ(TAM)を標的とした光線力学療法(PDT)によるがんの治療

木村優花、曾山樹、櫻木章、大石大祐、青木啓将、西江裕忠、野元昭宏、矢野重信、片岡洋望、青山峰芳

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部 合同学術大会 2020 2020年11月21-22日

(web開催)

細胞周期チェックポイント阻害剤併用による抗腫瘍効果

戸崎友梨、青木啓将、久保田英嗣、垣田博樹、山田恭聖、片岡洋望、青山峰芳

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部 合同学術大会 2020 2020年11月21-22日
(web開催)
(ベストプレゼンテーション賞)

低温培養はミクログリアの神経傷害的な活性化を抑制し神経保護効果をもたらす
鳥内阜暉、木村友香、垣田博樹、青木啓将、田村哲也、竹下覚、山田恭聖、青山峰芳
日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部 合同学術集会 2020 2020年11月21-22日
(web開催)

炎症性サイトカインが破骨細胞分化微小環境に与える影響
益川成美、大塚勇斗、近藤崇雄、青木啓将、後藤洋、関谷健夫、宮澤健、後藤滋巳、青山峰芳
日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部 合同学術大会 2020 2020年11月21-22日
(web開催)

低温培養はミクログリアの過剰な炎症反応を鎮静し神経保護効果をもたらす
鳥内阜暉、木村友香、垣田博樹、青木啓将、田村哲也、竹下覚、山田恭聖、青山峰芳
第138回 日本薬理学会近畿部会 2020年11月14日(web開催)

CXCR4⁺CD45⁻細胞は低酸素条件下で破骨細胞の分化を促進させる
大塚勇斗、後藤洋、関谷健夫、青木啓将、永谷裕子、宮澤健、後藤滋巳、青山峰芳
第67回中部日本生理学会 2020年10月16-20日(web開催)

低温培養はミクログリアの活性化を制御し神経細胞死を抑制する
鳥内阜暉、木村友香、垣田博樹、青木啓将、田村哲也、竹下覚、山田恭聖、青山峰芳
第67回中部日本生理学会 2020年10月16-20日 (web開催)

Hillの式を利用した破骨細胞分化の数理モデリングおよび破骨細胞分化メカニズムの解析
泉和弥、安富栄人、竹入雅敏、野間成人、肥田重明、青山峰芳、朝霧成挙
第137回日本薬理学会近畿部会 2020年6月20日 (web開催)

【細胞情報学分野】

(原報)

Natsumi Sumito, Shuhei Koeda, Naoki Umezawa, Yasumichi Inoue, Shinya Tsukiji, Tsunehiko Higuchi, Toshihisa Mizuno
Development of Cell-penetration PG-surfactants and its application in external peptide delivery to cytosol.
Bioconj. Chem., **31(3)**, 821-833, (2020). Doi: 10.1021/acs.bioconjchem.9b00877.

Chiharu Miyajima, Yuki Kawarada, Yasumichi Inoue, Chiaki Suzuki, Kana Mitamura, Daisuke Morishita, Nobumichi Ohoka, Takeshi Imamura, Hidetoshi Hayashi
Transcriptional coactivator TAZ negatively regulates tumor suppressor p53 activity and cellular senescence.
Cells, **9(1)**, 171 (2020). Doi: 10.3390/cells9010171.

Sakiko Nishikawa, Yasumichi Inoue, Yuka Hori, Chiharu Miyajima, Daisuke Morishita, Nobumichi Ohoka, Shigeaki Hida, Toshiaki Makino, Hidetoshi Hayashi
Anti-Inflammatory Activity of Kurarinone Involves Induction of HO-1 via the KEAP1/Nrf2 Pathway.
Antioxidants (Basel), **9(9)**, 842 (2020). Doi:10.3390/antiox9090842.

Junichi Kushioka, Takashi Kaito, Rintaro Okada, Hiroyuki Ishiguro, Zeynep Bal, Joe Kodama, Ryota Chijimatsu, Melanie Pye, Masahiro Narimatsu, Jeffrey L. Wrana, Yasumichi Inoue, Hiroko Ninomiya, Shin Yamamoto, Takashi Saitou, Hideki Yoshikawa, Takeshi Imamura
A novel negative regulatory mechanism of Smurf2 in BMP/Smad signaling in bone.
Bone Res., **8(1)** 41 (2020). Doi: 10.1038/s41413-020-00115-z.

中本遥菜, 佐藤晃一, 田中仁美, 吉田真南香, 宮嶋ちはる, 井上靖道, 林 秀敏
脱ユビキチン化酵素 USP28 は EMT 関連転写因子 Snail を安定化してがん細胞の浸潤を促進する
BPB Reports. 3(Suppl.), 191 (2020).

(学会発表)

飯田萌子, 井上靖道, 林 秀敏, 今川正良, 長田茂宏
ヒストンアセチル化酵素 HB01 が足場非依存的増殖に与える影響
日本薬学会第 140 年会. 2020年3月28日 (京都・誌上) ; 23Q-pm054.

徳川宗成, 伊藤友香, 石内勘一郎, 牧野利明, 松野倫代, 水上 元, 井上靖道, 林 秀敏
天然生理活性成分による小胞体ストレス応答の制御機序解明
第84回日本生化学会中部支部例会. 2020年5月23日 (名古屋・誌上) ; 39.

柏原翔陽, 住田丈典, 宮嶋ちはる, 井上靖道, 林秀敏
脱ユビキチン化酵素 USP17 による脂質代謝関連転写因子 SREBP タンパク制御機構の解析
第 19 回次世代を担う若手のためのファーマ・バイオフィォーラム 2020.
2020 年 8 月 29 日 (仙台・WEB) ; 4B4.

中本遥菜, 佐藤晃一, 田中仁美, 吉田真南香, 宮嶋ちはる, 井上靖道, 林 秀敏
脱ユビキチン化酵素 USP28 は EMT 関連転写因子 Snail を安定化してがん細胞の浸潤を促進する
フォーラム 2020 : 衛生薬学・環境トキシコロジー.
2020 年 9 月 4・5 日 (名古屋・誌上) ; P-069.

中本遥菜, 佐藤晃一, 田中仁美, 吉田真南香, 宮嶋ちはる, 井上靖道, 林 秀敏
脱ユビキチン化酵素 USP28 は EMT 関連転写因子 Snail を安定化してがん細胞の浸潤を促進する
日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2020.
2020 年 11 月 21・22 日 (岐阜・WEB) ; B-62.

【神経薬理学分野】

(原報)

Norimoto H, Fenk LA, Li H-H, Tosches MA, Gallego-Flores T, Hain D, Reiter S, Kobayashi R, Macias A, Arends A, Klinkmann M, Laurent G

A claustrum in reptiles and its role in slow-wave sleep.

Nature, 578, 413-418, 2020

Nagumo Y, Ueta Y, Nakayama H, Osaki H, Takeuchi Y, Uesaka N, Kano M, Miyata M

Tonic GABAergic inhibition is essential for nerve injury-induced afferent remodeling in the somatosensory thalamus and associated ectopic sensations.

Cell Rep 31: 107797, 2020

Takeuchi Y* and Berényi A*

Oscillotherapeutics – Time-targeted interventions in epilepsy and beyond.

Neurosci Res 152: 87-107, 2020

Yasunaga H, Takagi T, Shinko D, Nakayama Y, Takeuchi Y, Nishikawa A, Loesing A, Ohsawa M, Sekiguchi H

Development of a neural probe integrated with high-efficiency MicroLEDs for in vivo application.

Jpn J Appl Phys 60 (1): 016503, 2020

Sakano D, Uefune F, Tokuma H, Sonoda Y, Matsuura K, Takeda N, Nakagata N, Kume K, Shiraki N, Kume S

VMAT2 Safeguards β -Cells Against Dopamine Cytotoxicity Under High-Fat Diet-Induced Stress.

Diabetes 69 (11): 2377–91, 2020

Nakajima K, Gao T, Kume K, Iwata H, Hirai S, Omachi C, Tomita J, Ogino H, Naito M, Shibamoto Y

Fruit Fly, *Drosophila melanogaster*, as an In Vivo Tool to Study the Biological Effects of Proton Irradiation.

Radiat Res, 2020

Nomura N, Matsuno K, Muranaka T, Tomita J

Toward a Practical Theory of Timing: Upbeat and E-Series Time for Organisms.

Biosemiotics, 2020

Nakatani Y, Negoro K, Yamauchi M, Katasho M, Ishikura K, Iwaki A, Tsukada K, Yamaguchi M, Uehara A, Yoshida M, Ishiuchi K, Makino M, Kitajima M, Ohsawa M*, Amano T*

Neoline, an active ingredient of the processed aconite root in Goshajinkigan formulation, targets Nav1.7 to ameliorate mechanical hyperalgesia in diabetic mice.

J Ethnopharmacol 2020; 259: 112963, 2020

Sato Y, Kume K, Ohsawa M*

Changes in quality of life of cancer outpatients at community pharmacies.

日本緩和医療薬学会雑誌 2020; 13: 31-36, 2020

(総説・著書・総合論文など)

中川寛之

睡眠とシナプスでのリン酸化

加藤善章、富田淳、桑和彦
睡眠の行動遺伝学
遺伝学辞典, 2020

小林里帆、桑和彦
睡眠と覚醒の遺伝子
睡眠医療, Vol.14, No.2, 2020

小林里帆、桑和彦
ショウジョウバエの睡眠制御
月刊「細胞」9月号, 2020

Takeuchi Y, Harangozó M, Pedraza L, Földi T, Kozák G, Berényi A
Closed-loop stimulation of the medial septum terminates epileptic seizures.
bioRxiv 2020.03.09.982827, 2020

竹内雄一
てんかんの進歩：てんかん発作のオンデマンド制御法と発作感受性定量法の開発
Medical Science Digest 46 (2): 118-120, 2020

竹内雄一
神経精神疾患のイメージング：精神疾患の行動表現型を生じる神経回路ダイナミクスの解明
Medical Science Digest 46 (6): 906-909, 2020

竹内雄一
神経難病の治療開発 update：てんかん発作のオンデマンド介入法と発作感受性定量法の開発
BIO Clinica 35 (9): 771-774, 2020

(学会発表)

Nagy A, Takeuchi Y, Berényi A
Coding of self-motion-induced and self-independent visual motion in the rat dorsomedial striatum.
IBRO Workshop 2020, Jan 29, 30, 2020 (Szeged, Hungary)

Pedraza L, Sierra R, Takeuchi Y, Kozák G, Peijin A, Barcsai L, Berényi A
CLOSED-LOOP MANIPULATION OF HIPPOCAMPAL RIPPLES REDUCE PERSISTENT FEAR
EXPRESSION IN ANIMAL MODEL OF POSTTRAUMATIC-STRESS DISORDER.
IBRO Workshop 2020, Jan 29, 30, 2020 (Szeged, Hungary)

Li Q, Takeuchi Y, Kozák G, Ohsawa M, Harangozó M, Berényi A
The functional role of altered olfactory network synchrony in the development of depression.
IBRO Workshop 2020, Jan 29, 30, 2020 (Szeged, Hungary)

Takeuchi Y, Harangozó M, Pedraza L, Földi T, Kozák G, and Berényi A
A closed-loop proxy-intervention of epileptic seizures.
IBRO Workshop 2020, Jan 29, 30, 2020 (Szeged, Hungary)

Ohsawa M, Miyamoto K, Uta D, Kume K

L-Lactate-induced activation of PKA pathway sensitizes nociceptive transmission in mice.

IBRO Workshop 2020, Jan 29, 30, 2020 (Szeged, Hungary)

関口寛人、安永弘樹、増田海斗、中山雄晟、前田吏輝、西川敦、A. Loesing、稲波千尋、大澤匡弘、福永泉美。

高次脳機能解明に向けたアンサンブル光刺激を可能にするマイクロ LED デバイスの開発

第 66 回応用物理学会春季学術講演会, 2020 年 03 月 12 日 (誌上開催)

Takeuchi Y

Time- and space-targeted intervention of brain activities for control of epilepsy

第 29 回精神行動薬理若手研究者の集い, 2020 年 03 月 15 日 (横浜)

Takeuchi Y, Harangozó M, Pedraza L, Földi T, Kozák G, and Berényi A

Closed-loop stimulation of the medial septum terminates epilepsy seizures in rats.

第 93 回日本薬理学会年会, 2020 年 03 月 18 日 (横浜)

大澤匡弘、奥津光晴、向山凜、山田麻美、稲波千尋、岩城杏奈、上田莉奈、渡邊遼介、町田翔、奥村朋之、佐藤三佳子

骨格筋量の維持に対する食肉摂取の効果

日本薬学会第 140 年会, 2020 年 03 月 25 日 (誌上開催)

竹内雄一 【招待講演】

Revealing neuronal network dynamics underlying behavioral phenotypes of psychiatric disorders by solving inverse problems.

新学術領域 「マルチスケール精神病態の構成的理解」第 3 回領域会議, 2020 年 07 月 03 日 (オンライン開催)

Narushima M, Yagasaki Y, Takeuchi Y, Aiba A, Miyata M

The metabotropic glutamate receptor subtype 1 regulates development and maintenance of lemniscal synaptic connectivity through cortical activity in the somatosensory thalamus.

FENS Meeting 2020, July 11-15, 2020 (Glasgow, UK)

Pedraza L, Sierra R, Takeuchi Y, Kozák G, Peijin A, Barcsai L, Berényi A

CLOSED-LOOP MANIPULATION OF HIPPOCAMPAL RIPPLES REDUCE PERSISTENT FEAR EXPRESSION IN ANIMAL MODEL OF POSTTRAUMATIC-STRESS DISORDER.

FENS Meeting 2020, July 11-15, 2020 (Glasgow, UK)

Ohsawa M, Inami C, Tanihira H, Kikuta S, Kume K, Osanai M

Visualization of brain activity in a neuropathic pain model using quantitative activity-dependent manganese-enhanced magnetic resonance imaging.

12th FENS Forum of Neuroscience, July 11-15, 2020 (Glasgow, UK)

Yoshiaki Kato, Jun Tomita, Kazuhiko Kume

A novel sleep regulatory circuit in Drosophila central complex.

第 43 回日本神経科学大会, 2020 年 07 月 29 日 (兵庫)

羽鳥聖七、小林里帆、中川寛之、富田淳、船戸弘正、柳沢正史、桑和彦

ショウジョウバエを用いた新規睡眠調節遺伝子 HDAC4 の機能解析

第 43 回日本神経科学大会, 2020 年 07 月 29 日 (兵庫)

中井慎也、丸岡純也、糸和彦、大澤匡弘 【ジュニア研究者ポスター賞】

Astrocyte-Neuron Lactate Shuttle dysfunction caused cognitive impairment in STZ-induced diabetic mice
第 43 回日本神経科学大会, 2020 年 07 月 29 日 (兵庫)

小林里帆、中川寛之、羽鳥聖七、鈴木博子、山口翔、中根伸、富田淳、船戸弘正、柳沢正史、糸和彦
ショウジョウバエ *Sik3* による睡眠量調節機構の解析

第 27 回日本時間生物学会学術大会, 2020 年 09 月 26 日 (オンライン開催)

中川寛之、中根伸、富田淳、糸和彦

Identification of amino acids affecting sleep in *Drosophila*.

第 27 回日本時間生物学会学術大会, 2020 年 09 月 26 日 (オンライン開催)

【医薬品安全性評価学分野】

(原報)

Goto T, Yamazoe Y, Tohkin M.

Applications of a grid-based CYP3A4 Template system to understand the interacting mechanisms of large-size ligands; part 4 of CYP3A4 Template study.

Drug Metab Pharmacokinet. **35**, 485-496 (2020).

Yamazoe Y, Goto T, Tohkin M.

Versatile applicability of a grid-based CYP3A4 Template to understand the interacting mechanisms with the small-size ligands; part 3 of CYP3A4 Template study.

Drug Metab Pharmacokinet. **35**, 253-265 (2020).

Tachita T, Kinoshita S, Ri M, Aoki S, Asano A, Kanamori T, Yoshida T, Totani

H, Ito A, Kusumoto S, Komatsu H, Yamagata K, Kubo K, Tohkin M, Fukuda S, Iida S.

Expression, mutation, and methylation of cereblon-pathway genes at pre- and post-lenalidomide treatment in multiple myeloma.

Cancer Sci., **111**, 1333-1343 (2020).

Tohkin M, Saito Y, Yagi S, Asano K, Maekawa K, Osabe M, Iida S, Miyata N.

Clinical study designs and patient selection methods based on genomic biomarkers: Points-to-consider documents.

Drug Metab Pharmacokinet. **35**, 187-190 (2020).

Ito Y, Ambe K, Hayase T, Kobayashi M, Tohkin M.

Comparison of Efficacy of Dipeptidyl Peptidase-4 Inhibitors and Sodium-Glucose Co-Transporter 2 Inhibitors Between Japanese and Non-Japanese Patients: A Meta-Analysis.

Clin Transl Sci. **13**, 498-508 (2020).

Sanagawa A, Hotta Y, Kondo M, Nishikawa R, Tohkin M, Kimura K.

Tumor lysis syndrome associated with bortezomib: A post-hoc analysis after signal detection using the US Food and Drug Administration Adverse Event Reporting System.

Anticancer Drugs. **31**, 183-189 (2020).

落部 達也, 黒田 侑花, 秋田 彩佑, 頭金 正博

ナショナルレセプトデータベースを用いた経皮的冠動脈形成術の予後に対する周術期スタチン投与の効果に関する研究

医療薬学 **46**, 354-366 (2020)

(学会発表)

鈴木政晴, 安部賀央里, 頭金正博, 山田隆志, 足利太可雄

IATA(統合的)アプローチに基づいた皮膚感作性における *in silico* 予測モデルの開発.

第47回日本毒性学会学術年会, 2020年6月29日-7月1日 (オンライン)

東野竜空, 中森瑞季, 安部賀央里, 頭金正博, 佐々木崇光, 吉成浩一

In silico によるラットの薬物代謝酵素阻害活性の予測

第47回日本毒性学会学術年会, 2020年6月29日-7月1日 (オンライン)

高田和季, 安部賀央里, 頭金正博
大規模副作用データを利用した機械学習による薬物性肝障害の予測手法の開発
第 47 回日本毒性学会学術年会, 2020 年 6 月 29 日-7月1日 (オンライン)

秋田彩佑, 魏捷, 安部賀央里, 頭金正博
システマティックレビューによる心房細動患者における直接経口抗凝固薬の有効性と安全性に関する
民族差(地域差)の研究
第 10 回レギュラトリーサイエンス学会学術大会, 2020 年 9 月 11 日-12 日 (東京)

島田裕脩, 坂部彩, 頭金正博
JADER を用いた DOAC による抗凝固療法における中枢神経系出血障害に対する PPI 併用の影響に関
する解析
第 10 回レギュラトリーサイエンス学会学術大会, 2020 年 9 月 11 日-12 日 (東京)

浅野邦仁, 青井陽子, 鎌田修二, 宇山佳明, 頭金正博
ICH-E17 ガイドラインに適応した国際共同治験の開発状況に関する検討
第 10 回レギュラトリーサイエンス学会学術大会, 2020 年 9 月 11 日-12 日 (東京)

坂部彩, 亀位涼, 中嶋琢人, 頭金正博, 李政樹, 飯田真介, 丸山大, 大佐賀智, 飛内賢正, 福原規
子, 宮崎香奈, 南陽介, 塚本憲史, 辻村秀樹, 吉満誠, 宮本憲一, 塚崎邦弘, 永井宏和
多発性骨髄腫に対する MPB 療法の有害事象の発症に関与する患者背景の探索
日本医療薬学会第 30 回年会, 10 月 24 日-11 月 1 日 (オンライン)

黒田侑花, 落部達也, 秋田彩佑, 頭金正博
ナショナルレセプトデータベースを用いた周術期スタチン使用の有用性の検討
日本医療薬学会第 30 回年会, 2020 年 10 月 24 日-11 月 1 日 (オンライン)

Mizuki Nakamori, Riku Tohno, Kaori Ambe, Masahiro Tohkin, Takamitsu Sasaki, Kouichi Yoshinari
Prediction of the inhibitory activity of rat drug-metabolizing enzyme by *in silico* method
CBI 学会 2020 大会, 2020 年 10 月 27 日-30 日 (オンライン)

Masaki Ri, Shinsuke Iida, Dai Maruyama, Aya Sakabe, Ryo Kamei, Takuto Nakashima, Masahiro Tohkin,
Satoshi Osaga, Kensei Tobinai, Noriko Fukuhara, Kana Miyazaki, Yosuke Minami, Norifumi Tsukamoto,
Hideki Tsujimura, Makoto Yoshimitsu, Kenichi Miyamoto, Kunihiko Tsukasaki, and Hirokazu Nagai
HLA typing predicts toxicity and response in MPB regimen for Myeloma; an ancillary study of JCOG1105
第82回日本血液学会学術集会, 2020 年 10 月 9 日-11 日 (京都)

高田和季, 安部賀央里, 頭金正博
機械学習による薬物性肝障害の予測手法の開発～大規模副作用データベースを利用した予測法～
第 6 回 次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム 2020 年 11 月 7 日 (オンライン)
【優秀発表賞】

半田 有紀, 頭金 正博
アバカビルによる HLA-B*57:01 を介した特異体質性副作用 *in vitro* 評価系での T 細胞活性化指標の探
索
第 6 回 次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム 2020 年 11 月 7 日 (オンライン)
【優秀発表賞】

家田維哉, 安部賀央里, 頭金正博

JADER を用いた機械学習法による薬剤性急性腎障害の予測手法の開発

第 6 回 次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム 2020 年 11 月 7 日 (オンライン)

片山早紀, 安部賀央里, 頭金正博

機械学習を用いた薬物性肝障害の予測手法の開発～*in vitro* 試験情報を利用した予測法～

第 6 回 次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム 2020 年 11 月 7 日 (オンライン)

鈴木政晴, 安部賀央里, 頭金正博, 山田 隆志, 足利太可雄

Cosmetics Europe database を使用した *in silico* 皮膚感作性予測回帰モデルの開発

日本動物実験代替法学会, 第 33 回 2020 年 11 月 12 日 -13 日 (オンライン) 【優秀発表賞】

魏捷, 秋田彩佑, 安部賀央里, 頭金正博

Systematic Review による臨床試験データを用いた直接経口抗凝固薬(DOAC)の長期投与患者での有効性と安全性に関する Asia 地域と Non-Asia 地域の比較

第41回日本臨床薬理学会学術総会, 2020 年 12 月 3 日-5 日 (オンライン)

亀位涼, 中嶋琢人, 坂部彩, 頭金正博, 李政樹, 飯田真介, 丸山大, 大佐賀智, 飛内賢正, 福原規子, 宮崎香奈, 南陽介, 塚本憲史, 辻村秀樹, 吉満誠, 宮本憲一, 塚崎邦弘, 永井宏和

ボルテゾミブの有害事象に関わるバイオマーカー候補 HLA アリルの探索

第41回日本臨床薬理学会学術総会, 2020 年 12 月 3 日-5 日 (オンライン)

頭金正博

ナショナルレセプトデータベースを用いた医薬品の有効性と安全性評価

第41回日本臨床薬理学会学術総会, 2020 年 12 月 3 日-5 日 (オンライン) 【招待講演】

【病院薬学分野】

(原報)

Kondo M, Hotta Y, Ymauchi K, Sanagawa A, Komatsu H, Iida S, Kimura K.

Bortezomib administration is a risk factor associated with the development of tumor lysis syndrome in male patients with multiple myeloma: a retrospective study.

BMC Cancer. 20(1):1117. (2020).

Sugiyama Y, Naiki T, Tasaki Y, Kataoka T, Mimura Y, Kondo Y, Etani T, Iida K, Nozaki S, Ando R, Osaga S, Yasui T, Kimura K.

Effectiveness of continuous monitoring by activity tracker of patients undergoing chemotherapy for urothelial carcinoma.

Cancer Treat Res Commun. 25:100245. (2020).

Sugiyama Y, Naiki T, Tasaki Y, Kondo Y, Kataoka T, Etani T, Iida K, Nozaki S, Ando R, Osaga S, Yasui T, Kimura K.

Prognostic significance of hyponatremia induced by systemic chemotherapy in a hospital-based propensity score-matched analysis.

Int J Clin Oncol. 25(4):541-551. (2020).

Tomita N, Hotta Y, Naiki-Ito A, Hirano K, Kataoka T, Maeda Y, Takahashi S, Kimura K.

The phosphodiesterase 5 inhibitor tadalafil has renoprotective effects in a rat model of chronic kidney disease.

Physiol Rep. 8(17):e14556. (2020).

Hotta Y, Takahashi S, Tokoro M, Naiki-Ito A, Maeda K, Kawata R, Kataoka T, Ohta Y, Hamakawa T, Takahashi S, Yasui T, Kimura K.

Anagliptin, a dipeptidyl peptidase-4 inhibitor, improved bladder function and hemodynamics in rats with bilateral internal iliac artery ligation.

Neurourol Urodyn. 39(7):1922-1929. (2020).

Sanagawa A, Hotta Y, Kondo M, Nishikawa R, Tohkin M, Kimura K.

Tumor lysis syndrome associated with bortezomib: A post-hoc analysis after signal detection using the US Food and Drug Administration Adverse Event Reporting System.

Anticancer Drugs. 31(2):183-189. (2020).

Kishimoto T, Kataoka T, Yamamoto Y, Asano G, Fukamoto A, Hotta Y, Maeda Y, Takahashi M, Kanayama H, Kimura K.

High Salt Intake Impairs Erectile Function in Salt-Sensitive Rats Through Mineralocorticoid Receptor Pathway Beyond Its Effect on Blood Pressure.

J Sex Med. 17(7):1280-1287. (2020).

Etani T, Naiki T, Sugiyama Y, Nagai T, Iida K, Noda Y, Shimizu N, Tasaki Y, Mimura Y, Okada T, Banno R, Kubota H, Hamamoto S, Ando R, Kawai N, Yasui T.

Low Geriatric Nutritional Risk Index as a Poor Prognostic Marker for Second-Line Pembrolizumab Treatment in Patients with Metastatic Urothelial Carcinoma: A Retrospective Multicenter Analysis.

Oncology. 98(12):876-883. 2020.

Naiki T, Sugiyama Y, Tasaki Y, Iida K, Etani T, Hamamoto S, Nagai T, Nozaki S, Ando R, Kawai N, Yasui T.
Efficacy of a Newly Modified Short Hydration Method for Gemcitabine and Cisplatin Combination Chemotherapy in Patients with Urothelial Carcinoma.

Oncology. 98(9):612-620. (2020).

Ieda N, Hotta Y, Yamauchi A, Nishikawa A, Sasamori T, Saitoh D, Kawaguchi M, Kimura K, Nakagawa H. Development of a Red-Light-Controllable Nitric Oxide Releaser to Control Smooth Muscle Relaxation in Vivo. *ACS Chem Biol*. 15(11):2958-2965. (2020).

(総説・著書・総合論文など)

Hotta Y, Kataoka T, Mori T, Kimura K.

Review of a Potential Novel Approach for Erectile Dysfunction: Light-Controllable Nitric Oxide Donors and Nanoformulations.

Sex Med Rev. 8(2):297-302. (2020).

日比陽子

モデル・コアカリキュラムに沿った わかりやすい新実務実習テキスト 2021-2022

(担当:分担執筆, 範囲:第1章 臨床における心構え)

病院・薬局実務実習東海地区調整機構/監

実務実習テキスト作成研究会/編

じほう 2020年8月

朝岡 みなみ、田中 創始、和知野 千春、柳田 剛、中村 敦、近藤 周平、真川 明将、早川 智章、片岡 智哉、堀田 康弘、堀田 祐志、木村 和哲

Clostridioides(Clostridium)difficile infection(CDI)の現状とこれから Clostridioides(Clostridium)difficile 感染症の重症度判定

日本化学療法学会雑誌. 68(3):411-412. (2020).

堀田祐志、富田なつみ、川田龍哉、前田琴美、片岡智哉、木村和哲

食塩過剰摂取とEDの関連性とPDE-5阻害薬の新たな知見.

泌尿器科. 12(5):585-590. (2020).

堀田祐志、前田琴美、木村和哲

性機能障害、下部尿路機能障害に対する新規治療薬の開発案件～光制御可能な化合物と幹細胞および関連製剤について～.

泌尿器科. 11(6):746-753. (2020).

(学会発表)

堀田祐志、木村和哲

神経障害性EDモデル動物を用いた光制御可能なNOドナーの効果の検証

第108回日本泌尿器科学会総会(神戸、ハイブリッド開催)2020年12月【招待講演】

片岡智哉、木村和哲

抗がん剤治療後の性機能の変化～基礎研究からの知見～

第30回日本医療薬学会学術大会(Web開催)2020年11月【招待講演】

堀田康弘

母集団薬物動態解析の理解とTDMへの応用～抗結核薬の小児薬用量に関する研究～.

愛知県病院薬剤師会 第2回学術講演会(名古屋)2020年10月.【招待講演】

朝岡みなみ、中村敦、堀田康弘、木村和哲

当院の Clostridioides difficile infection(CDI)診療における重症度判定 MN 基準の現状とこれから
第 69 回日本感染症学会東日本地方会学術集会;第 67 回日本化学療法学会東日本支部総会 (Web)
2020 年 10 月【招待講演】

堀田祐志、木村和哲
光制御可能な NO ドナーを利用した新たな勃起不全治療薬の開発
第 62 回日本平滑筋学会総会 (Web) 2020 年 8 月【招待講演】

Hotta Y, Matsumoto S, Shibayama M, Maeda K, Yamamoto T, Kimura K.
Effects of filtered adipose-derived stem cell lysates on bladder function in rats with hydrochloric acid-induced cystitis.
International Continence Society 48th Annual Meeting. (Web 開催) 2020.11

Maeda K, Hotta Y, Ieda N, Kataoka T, Nakagawa H, Kimura K.
Control of rat bladder neck relaxation using “NORD-1”, a light-reactive nitric oxide releaser
International Continence Society 48th Annual Meeting. (Web 開催) 2020.11

Shibayama M, Hotta Y, Matsumoto S, Maeda K, Yamamoto T, Kimura K.
Effects of filtered bone marrow-derived stem cell lysate on neurogenic bladder
International Continence Society 48th Annual Meeting. (Web 開催) 2020.11

Kataoka T, Hotta Y, Maeda Y, Kimura K.
The effect of testosterone on urinary bladder smooth muscle contractile response in castrated rats.
International Continence Society 48th Annual Meeting. (Web 開催) 2020.11

Tomita N, Hotta Y, Matsuta K, Ito H, Yamamoto Y, Ohashi K, Kondo M, Hayakawa T, Kataoka T, Sobue K, Kimura K.
High serum strontium may predict acute kidney injury after cardiac surgery with cardiopulmonary bypass.
American society of nephrology, Kidney Week 2020. (Web 開催) 2020.10

坂田晴耶、水野雄介、真川明将、久保田陽介、奥山徹、明智龍男。
名古屋市立大学病院における高齢者への睡眠薬処方の実態調査。
第 179 回東海精神神経学会。2020 年 1 月 (岐阜、Web 開催)。

真川明将、森菜々香、冨田なつみ、堀田祐志、木村和哲
BRAF 阻害薬ベムラフェニブの尿細管毒性の in vitro 評価
第 30 回日本医療薬学会年会 (Web 開催) 2020 年 11 月

田中創始、朝岡みなみ、堀田康弘、和知野千春、間辺利江、中村敦
特異な皮疹と嗅覚異常で診断した新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の一例
第 90 回日本感染症学会西日本地方会学術集会、第 63 回日本感染症学会中日本地方会学術集会、第 68 回日本化学療法学会西日本支部総会 (福岡) 2020 年 11 月

中島晃、片岡智哉、鈴木純、堀田祐志、日比陽子、木村和哲
ラットを用いたドキシソルビシンによる勃起障害発症機序の検討
日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2020 (Web 開催) 2020 年 11 月

Yoshihiko Tasaki, Miho Suzuki, Keisuke Katsushima, Keiko Shinjo, Kenta Iijima, Yoshiteru Murofushi, Akiko Takahashi, Tomoya Kataoka, Kanjiro Miyata, Kazunori Kataoka, Wentao Gao, Kazunori Kimura, Yutaka Kondo

LncRNA TUG1 is a potent therapeutic target via enhancing 5-FU sensitivity in pancreatic cancer.

第 79 回日本癌学会学術総会（広島、Web 開催）2020 年 10 月

日比陽子、長水正也、神田光司、久田宜範、諸角一成、佐藤由美子、中村康夫、森下修行
実務実習カリキュラムを基にした新人教育プログラム～成果と反省～

第 30 回日本医療薬学会年会 2020 年 10 月 24 日～11 月 1 日（名古屋、Web 開催）

恒川有里、岡本奈緒、山田知世、長水正也、佐藤由美子、日比陽子、中村康夫
注射薬調剤業務効率化への取り組み

第 30 回日本医療薬学会年会 2020 年 10 月 24 日～11 月 1 日（名古屋、Web 開催）

佐藤由美子、諸角一成、恒川有里、権田結乃、長水正也、日比陽子、森下修行
抗がん剤曝露調査による調製時における職業性曝露対策の評価

第 30 回日本医療薬学会年会 2020 年 10 月 24 日～11 月 1 日（名古屋、Web 開催）

杉山洋介、内木拓、三村佳久、田崎慶彦、近藤祐樹、片岡智哉、恵谷俊紀、安井孝周、木村和哲
泌尿器科領域のがん性疼痛患者における、オピオイド血中濃度の変化が鎮痛効果に与える影響の探索的観察研究

第 58 回日本癌治療学会学術集会（京都）2020 年 10 月

三村佳久、杉山洋介、田崎慶彦、片岡智哉、真川明将、中村大学、内木拓、恵谷俊紀、永井隆、木村和哲

尿路上皮癌に対する術前化学療法が骨格筋量に与える影響

第 58 回日本癌治療学会学術集会. (京都) 2020 年 10 月

内木拓、杉山洋介、田崎慶彦、飯田啓太郎、恵谷俊紀、永井隆、野田祐介、岡田朋記、清水信彦、安藤亮介、河合憲康、安井孝周

short hydrationGC 療法レジメンの新規樹立と wearable device を用いたモニタリング法

第 58 回日本癌治療学会学術集会（京都）2020 年 10 月

恵谷俊紀、内木拓、杉山洋介、永井隆、飯田啓太郎、野田祐介、清水信彦、田崎慶彦、三村佳久、岡田朋記、久保田弘樹、安藤亮介、河合憲康、安井孝周

GNRI はセカンドラインとしてペンブロリツズマブ治療を受けた患者の予後と関連する

第 58 回日本癌治療学会学術集会（京都）2020 年 10 月

前田琴美、堀田祐志、家田直弥、片岡智哉、中川秀彦、木村和哲

光応答性 NO ドナー「NORD-1」の下部尿路に対する応用

第 27 回日本排尿機能学会（東京）2020 年 10 月

片岡智哉、堀田祐志、前田康博、木村和哲

去勢ラットの排尿筋収縮不全に対する testosterone 補充療法の効果

第 27 回日本排尿機能学会（東京）2020 年 10 月

朝岡 みなみ、中村 敦、堀田 康弘、早川 智章、和知野 千春、田中 創始、柳田 剛、真川 明将、片岡 智哉、堀田 祐志、木村 和哲

MN 基準の各スコアリング項目が Clostridioides difficile 感染症の重症化予測に与える影響

第 68 回日本化学療法学会総会（Web）2020 年 9 月

朝岡みなみ、中村 敦、堀田康弘、早川智章、和知野千春、田中創始。

Clostridioides difficile 感染症の重症化予測に対する MN 基準の有用性の検討。

第 68 回日本化学療法学会総会（Web）2020 年 9 月

片岡智哉、堀田祐志、前田康博、木村和哲

テストステロンによる抗炎症作用を介した血管内皮機能への影響—去勢ラットを用いた分子薬理学的検討—

第 43 回日本基礎老化学会大会（誌上開催）2020 年 6 月

片岡智哉、真川明将、堀田祐志、前田康博、木村和哲

抗がん剤投与が将来の男性性機能に及ぼす影響の小児ラットを用いた薬理学的検討

第 20 回日本抗加齢医学会総会（Web 開催）2020 年 6 月

【臨床薬学分野】

(原報)

Shimeng Qiu, Tomoki Kabeya, Isam Ogawa, Shiho Anno, Hisato Hayashi, Tatsuro Kanaki, Tadahiro Hashita, Takahiro Iwao, Tamihide Matsunaga

Gellan gum promotes the differentiation of enterocytes from human induced pluripotent stem cells.

Pharmaceutics, **12**, 951 (2020).

Masayuki Saito, Tohru Maeda, Toshihiko Ichihara, Takahiro, Iwao, Tadashi Suzuki

The effect of increased free concentrations of warfarin due to protein-binding substitution in a combination of tolvaptan on the PT-INR.

Yakugaku Zasshi., **140**, 1269–1274 (2020.)

Misaki Yamashita, Hiromasa Aoki, Tadahiro Hashita, Takahiro Iwao, Tamihide Matsunaga

Inhibition of transforming growth factor β signaling pathway promotes differentiation of human induced pluripotent stem cell-derived brain microvascular endothelial-like cells.

Fluids Barriers CNS., **17**, 36 (2020).

Tomoki Kabeya, Shinji Mima, Yuki Imakura, Toshihide Miyashita, Izumi Ogura, Tadanori Yamada, Tomoya Yasujima, Hiroaki Yuasa, Takahiro Iwao, Tamihide Matsunaga

Pharmacokinetic functions of human induced pluripotent stem cell-derived small intestinal epithelial cells.

Drug Metab Pharmacokinet., **35**, 374–382 (2020).

Daichi Onozato, Takumi Akagawa, Yuriko Kida, Isamu Ogawa, Tadahiro Hashita, Takahiro Iwao, Tamihide Matsunaga

Application of human induced pluripotent stem cell-derived intestinal organoids as a model of epithelial damage and fibrosis in inflammatory bowel disease.

Biol Pharm Bull., **43**, 1088–1095 (2020).

Hiromasa Aoki, Misaki Yamashita, Tadahiro Hashita, Takahiro Iwao, Tamihide Matsunaga

Laminin 211 fragment is suitable for the differentiation of human induced pluripotent stem cells into brain microvascular endothelial-like cells with robust barrier integrity.

Fluids Barriers CNS., **17**, 25 (2020).

Akiko Koeda, Takahiro Iwao, Anna Nakanishi, Shota Mizuno, Misaki Yamashita, Yoko Sakai, Katsunori Nakamura, Tamihide Matsunaga

Comparison of the inducibility of CYP mRNA exposed to typical inducers in fresh and cryopreserved cynomolgus monkey hepatocytes.

Drug Metab Pharmacokinet., **35**, 304–312 (2020).

Hiromasa Aoki, Misaki Yamashita, Tadahiro Hashita, Koichi Ogami, Shinichi Hoshino, Takahiro Iwao, Tamihide Matsunaga

Efficient differentiation and purification of human induced pluripotent stem cell-derived endothelial progenitor cells and expansion with the use of inhibitors of ROCK, TGF- β , and GSK3 β .

Heliyon., **6**, e03493 (2020)

Satoshi Kondo, Shota Mizuno, Tadahiro Hashita, Takahiro Iwao, Tamihide Matsunaga

Establishment of a novel culture method for maintaining intestinal stem cells derived from human induced pluripotent stem cells.

Biol Open., **9**, bio049064 (2020).

Chigusa Kikuchi, Kyoko Yamaguchi, Masayo Kojima, Haruyuki Asai, Rika Nakao, Yoshifusa Otake, Junya Nagata, Shinpei Matsunami, Asako Horiba and Tadashi Suzuki.

Comparative trial of the effects of continuous locomotion training provided at pharmacies: a pilot study.

J. Pharm. Health Care Sci., 6-24 (2020).

(総説・著書・総合論文など)

岩尾岳洋, 坂下真大, 松永民秀

ヒト iPS 細胞を用いた創薬研究支援細胞の作製.

Drug Delivery System, **35** (4), 319–330 (2020).

岩尾岳洋, 松永民秀

薬物動態および安全性評価のための小腸-肝臓連結チップ.

細胞, **52** (4), 178–181 (2020)

坂下真大

変化するワクチン.

名古屋市大ブックス, **4**, 18-29 (2020)

(学会発表)

今倉悠貴, 美馬伸治, 小椋 泉, 山崎奈穂, 後藤 俊, 柿沼千早, 岩尾岳洋, 松永民秀, 山田忠範, 梶賢一郎

ヒト iPS 細胞由来腸管上皮細胞の特性解明と腸内細菌評価系への応用.

第 24 回腸内細菌学会学術集会, 2020 年 6 月 11–12 日 (国内)

山崎奈穂, 美馬伸治, 今倉悠貴, 小椋 泉, 後藤 俊, 柿沼千早, 岩尾岳洋, 松永民秀, 山田忠範, 梶賢一郎

ヒト iPS 細胞由来腸管上皮細胞の特性解明と腸管免疫評価系への応用.

第 57 回日本消化器免疫学会総会, 2020 年 7 月 2–3 日 (国内)

今倉悠貴, 美馬伸治, 小椋 泉, 後藤 俊, 柿沼千早, 岩尾岳洋, 松永民秀, 山田忠範, 梶賢一郎

ヒト iPS 細胞腸管上皮細胞 (F-hiSIEC™) の特性と医薬品/食品開発への応用, ポスター.

第 19 回日本再生医療学会総会, 2020 年 8 月 27 日–9 月 10 日 (国内)

松永民秀, 中山瑞希, 山下美紗季, 青木啓将, 坂下真大, 岩尾岳洋

ヒト iPS 細胞より嚢状構造物を經由した血管内皮前駆細胞の作出, ポスター.

第 27 回 HAB 研究機構学術年会, 2020 年 9 月 3–5 日 (国内)

堺 陽子, 奥村啓樹, 岩尾岳洋, 渡士幸一, 伊藤晃成, 松永民秀

サンドイッチ培養した HepG2-hNTCP-C4 細胞による胆汁鬱滞肝毒性評価, ポスター.

第 27 回 HAB 研究機構学術年会, 2020 年 9 月 3–5 日 (国内)

近藤聡志, 水野翔太, 岩尾岳洋, 松永民秀

ヒト iPS 細胞由来腸管上皮細胞の粘膜傷害作用及び粘膜保護作用評価への利用, ポスター.
第 27 回 HAB 研究機構学術年会, 2020 年 9 月 3-5 日 (国内)

田中李奈、菊池千草、小田切州広、松波晋平、鈴木匡
電子服薬カレンダーを用いた薬剤師による高齢患者の服薬行動の確認とその効果の検討.第 30 回日本
医療薬学会年会、2020 年 10 月 24 日-11 月 1 日 (名古屋)

小林華奈、渡邊崇、菊池千草、鈴木匡
ドラッグストア ID-POS データを用いたジヒドロコデイン含有鎮咳薬内用液剤の適正使用状況の検証
と薬局業務への提言.
第 30 回日本医療薬学会年会、2020 年 10 月 24 日-11 月 1 日 (名古屋)

今倉悠貴, 美馬伸治, 山崎奈穂, 岩尾岳洋, 松永民秀, 渡邊信一, 永田幸三, 谷口雅彦
ヒト iPS 細胞由来腸管上皮細胞の特性と代替モデルとしての有用性.
日本動物実験代替法学会第 33 回大会, 2020 年 11 月 12-13 日 (国内)

Tamihide Matsunaga

iPS cells are expected as a new research tool for drug development., 口頭(ZOOM).

The 33rd Annual and International Meeting of Japanese Association for Animal Cell Technology 2020,
November 17-20, 2020 (国内)

美馬伸治, 今倉悠貴, 山崎奈穂, 諸橋康史, 山内敦子, 岩尾岳洋, 松永民秀, 永田幸三, 谷口雅彦
ヒト iPS 細胞由来腸管上皮細胞 (FUJIFILM human iPS cell-derived Small Intestinal Epithelial like Cell; F-
hiSIEC™) の特性と吸収予測精度改善の検討, 口頭.
日本薬物動態学会第 35 回年会, 2020 年 12 月 1 日 (国内)

小川 勇, 岩尾岳洋, 松永民秀 【優秀口頭発表賞】

陰窩-絨毛様構造を有するヒト iPS 細胞由来腸管オルガノイドの二次元培養法の確立, 口頭.
日本薬物動態学会第 35 回年会, 2020 年 12 月 1 日 (国内)

邱 施萌, 神崎稚菜, 岩尾岳洋, 松永民秀

維持培養したヒト iPS 細胞由来小腸幹細胞から分化誘導した小腸上皮細胞の機能解析, 口頭.
日本薬物動態学会第 35 回年会, 2020 年 12 月 1 日 (国内)

5 科学研究費等補助金

科学研究費

研究種目	研究課題/ 領域番号	研究代表者	職名 (採択時)	期間 開始日	期間 終了日	2年度 配分額	研究課題名
新学術	19H05224	竹内 雄一	研究員	20190401	20210331	2,860,000	精神病態の行動表現型を生じる神経回路動態の逆問題的解明
新学術	20H04907	白根 道子	教授	20200401	20220331	3,510,000	膜構造制御によるオルガネラ連携ゾーン形成と神経軸索変性症との関連
基盤研究(A)	19H01017	加藤 晃一	教授	20190401	20230331	8,580,000	先端計測アプローチの統合による抗体の構造動態と機能発現の関連機構の解明
基盤研究(B)	17H03635	星野 真一	教授	20170401	20210331	4,550,000	細胞質ポリ A 鎖伸長による新しい遺伝子発現制御機構の解明
基盤研究(B)	18H02481	糸 和彦	教授	20180401	20210331	5,070,000	ショウジョウバエの睡眠覚醒制御機構の総合的研究
基盤研究(B)	18H02564	平嶋 尚英	教授	20180401	20210331	910,000	分泌細胞における新しいカルシウムストアとCa ²⁺ 放出の誘導機構
基盤研究(B)	19H03354	中川 秀彦	教授	20190401	20220331	5,850,000	多様な制御モードによる一酸化窒素等シグナル分子のケージド化合物開発と生体応用
基盤研究(B)	19H03361	佐藤 匡史	准教授	20190401	20220331	5,850,000	タンパク質の糖鎖修飾の特異性を決定する分子機構の解明と人工糖タンパク質技術の開発
基盤研究(B)	19H03381	鈴木 良明	講師	20190401	20220331	5,590,000	オルガネラ間カルシウムネットワークによる平滑筋リモデリング疾患成立機構の解明
基盤研究(B)	19H03391	松永 民秀	教授	20190401	20220331	6,240,000	ヒトiPS細胞由来小腸細胞・組織を用いた薬物動態及び毒性予測モデル系の創製
基盤研究(B)	19H03550	竹内 雄一	研究員	20190401	20240331	3,250,000	てんかんの根治を目的としたけいれん準備性の定量法開発とその応用
基盤研究(B)	20H03255	白根 道子	教授	20200401	20230331	6,630,000	オルガネラコミュニケーションの破綻による神経変性疾患の発症機構
基盤研究(B)	20H03369	樋口 恒彦	教授	20200401	20230331	7,150,000	ポルフィリン関連分子の医薬科学への多様な応用に関する研究
基盤研究(B)	20H03384	服部 光治	教授	20200401	20230331	7,020,000	精神疾患の理解と治療を志向した、分泌タンパク質リーリンの基礎および応用研究

基盤研究(C)	KK18K03568	奥菌 透	准教授	20180401	20220331	1,040,000	表面化学反応を伴った等方的な荷電コロイド粒子の自己電気泳動メカニズムの探求
基盤研究(C)	KK18K05063	豊玉 彰子	講師	20180401	20210331	650,000	引力系コロイドの原子系結晶モデルとしての有効性の検証
基盤研究(C)	KK18K06551	久松 洋介	講師	20180401	20210331	910,000	超分子化学的手法を用いたヘム高親和性合成分子の創製とケミカルバイオロジーへの展開
基盤研究(C)	KK18K06660	井上 靖道	准教授	20180401	20210331	1,430,000	上皮間葉転換を制御する新規脱ユビキチン化酵素の同定とがん治療への応用
基盤研究(C)	KK18K06754	菊池 千草	講師	20180401	20210331	65,000	薬局でのロコモティブシンドローム予防活動の健康増進効果検証
基盤研究(C)	KK18K06789	頭金 正博	教授	20180401	20210331	1,300,000	ナショナルレセプトデータベースを用いる新規2型糖尿病治療薬の有効性と安全性の評価
基盤研究(C)	KK18K06962	中津海 洋一	講師	20180401	20210331	1,820,000	栄養と炎症を直結するシグナル伝達経路の糖尿病への関与の解明
基盤研究(C)	KK18K07453	太田 美里	研究員	20180401	20210331	1,430,000	生薬の修治—蜜炙法による免疫賦活作用発現の分子機構の解明
基盤研究(C)	KK18K11026	加藤 順子	研究員	20180401	20210331	416,000	性機能と心血管機能に着目した『低インスリンダイエット』による突然死の原因解明
基盤研究(C)	KK19K06999	山越 博幸	講師	20190401	20220331	1,430,000	伝統薬成分カドコシラクトン A の全合成研究
基盤研究(C)	KK19K07067	伊藤 佐生智	准教授	20190401	20220331	1,430,000	黄色ブドウ球菌毒素の新機能—免疫活性化作用と免疫アレルギー疾患発症増悪への関与—
基盤研究(C)	KK19K07086	細田 直	講師	20190401	20220331	1,430,000	翻訳終結因子 eRF3 のプロセッシング異常がもたらす新しい癌発症メカニズム
基盤研究(C)	KK19K07125	山村 壽男	教授	20190401	20220331	1,300,000	肺高血圧症に関与するカルシウム関連イオンチャネルの機能解析と創薬
基盤研究(C)	KK19K07149	牧野 利明	教授	20190401	20220331	910,000	サルコペニア予防に適した牛車腎気丸製剤の開発
基盤研究(C)	KK19K07170	田上 辰秋	講師	20190401	20220331	1,560,000	3D プリンター技術を用いたオーダーメイド医薬品の製造に関する基盤研究
基盤研究(C)	KK19K07485	田中 正彦	准教授	20190401	20220331	1,560,000	消化器官のグリア細胞・星細胞におけるカルシニューリンと細胞間相互作用の役割

基盤研究(C)	KK19K10537	和知野 千春	研究員	20190401	20230331	650,000	小児領域の抗菌薬適正使用支援のための評価管理プログラムの開発と臨床実用化
基盤研究(C)	KK20K05752	家田 直弥	講師	20200401	20230331	1,560,000	体外から制御可能な低エネルギー光ケージド化合物群の開発
基盤研究(C)	KK20K06744	富田 淳	講師	20200401	20230331	1,560,000	ショウジョウバエ神経細胞における NMDA 受容体活性の測定に基づく睡眠要求の定量化
基盤研究(C)	KK20K07016	築地 仁美	講師	20200401	20240331	1,300,000	RNA 結合タンパク質量の増減による、筋萎縮性側索硬化症 ALS の治療法開発
基盤研究(C)	KK20K07017	肥田 重明	教授	20200401	20230331	1,690,000	アレルギー疾患の病態形成に関与する常在細菌と自然免疫細胞応答の解析
基盤研究(C)	KK20K07034	岩尾 岳洋	准教授	20200401	20230331	1,560,000	ヒト iPS 細胞から作製した腸管細胞を用いた消化管傷害の評価系の開発
基盤研究(C)	KK20K07051	河野 孝夫	講師	20200401	20230331	1,430,000	大脳皮質における時空間特異的なリーリン作用機構と意義の解明
基盤研究(C)	KK20K07052	林 秀敏	教授	20200401	20230331	1,560,000	新規がん遺伝子候補分子 TRB1 の新たな発がんメカニズムに基づく抗がん剤の開発基盤
基盤研究(C)	KK20K07103	石内 勘一郎	講師	20200401	20230331	1,560,000	内生糸状菌のゲノム情報を活用した植物由来希少有用天然物の生合成研究
基盤研究(C)	KK20K07135	保嶋 智也	講師	20200401	20230331	1,690,000	高尿酸血症から痛風発症へのトリガーとなる分子基盤の解明
基盤研究(C)	KK20K07159	湯浅 博昭	教授	20200401	20230331	1,690,000	新規ポリアミントランスポーターの機能及び生理的役割の解明
基盤研究(C)	KK20K07160	坡下 真大	講師	20200401	20230331	1,040,000	ALS 患者 iPS 細胞由来ミクログリアを用いた炎症反応模倣 BBB 評価系の構築
基盤研究(C)	KK20K07181	日比 陽子	准教授	20200401	20230331	1,235,000	ストレス感受性因子 NPAS4 の機能破綻によるせん妄発症機構の解明と治療薬の開発
基盤研究(C)	KK20K07203	尾関 哲也	教授	20200401	20230331	1,300,000	多孔質 PLGA 粒子を用いたバイオ医薬品徐放プラットフォーム技術に関する研究
基盤研究(C)	KK20K08211	青山 峰芳	教授	20200401	20240331	910,000	炎症細胞とグリアのクロストークによる新生児低酸素性虚血性脳症への新規低体温療法
基盤研究(C)	KK20K09583	堀田 祐志	講師	20200401	20230331	2,340,000	光制御可能な NO ドナー「NORD-1」の難治性 ED への応用

挑戦的研究(萌芽)	KK18K19408	樋口 恒彦	教授	20180401	20220331	2,080,000	疎水性短冊形分子の水溶性ナノカプセル封入新手法：蛋白質の動的核偏極 NMR への応用
挑戦的研究(萌芽)	KK19K22504	服部 光治	教授	20190401	20210331	2,730,000	特殊な脂肪酸を利用する神経再生医療法の検証
挑戦的研究(萌芽)	KK20K21722	鈴木 匡	教授	20200401	20230331	1,235,000	薬局薬剤師による在宅支援情報の有効な活用方法開拓とシステム化推進のための実践検証
挑戦的研究(萌芽)	KK20K21906	平嶋 尚英	教授	20200401	20230331	3,770,000	リポソームと好塩基球を融合したハイブリッド分泌系の構築と細胞治療・DDS への展開
国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化(B))	KK18KK0218	今泉 祐治	教授	20180401	20220331	4,225,000	慢性炎症疾患と組織線維化におけるイオンチャネルの病態生理学的役割
国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化(B))	KK18KK0236	竹内 雄一	研究員	20180401	20220331	3,705,000	難治性てんかんの発作を非侵襲的かつオンデマンドに制御する臨床技術の開発
国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化(B))	KK19KK0197	中川 秀彦	教授	20190401	20230331	7,670,000	特殊アミノ酸を駆使したエピジェネティック制御酵素可視化蛍光プローブの開発
若手研究	KK18K16081	宮嶋 ちはる	助教	20180401	20220331	1,040,000	マクロファージを介した動脈硬化促進機構を操る血液線溶因子 Plasmin 活性の役割
若手研究	KK19K16416	山城 貴弘	助教	20190401	20210331	1,820,000	ピリドキシンの腸管吸収の分子機構の解明と癌治療戦略への応用
若手研究	KK20K16050	安部 賀央里	助教	20200401	20230331	1,690,000	医療ビッグデータと機械学習を活用した薬剤性腎障害の予測手法の開発
若手研究	KK20K16051	堺 陽子	特任助教	20200401	20240331	2,080,000	NTCP,BSEP 強制発現 HepG2 細胞を用いた薬剤性胆汁鬱滞型肝障害評価
若手研究	KK20K16083	三村 佳久	研究員	20200401	20240331	3,380,000	前立腺がんの新規骨転移予測法の開発ー骨密度に着目した研究ー
研究活動スタート支援	KK20K22715	青木 啓将	助教	20200401	20220331	1,430,000	腫瘍随伴マクロファージを標的とした抗腫瘍免疫賦活化を制御するがん創薬

その他の研究補助金

【助成金等】

補助金等名称	公益財団法人がん研究振興財団
研究課題名	抗がん剤の腎障害における腎老化細胞の役割に関する基礎研究
氏名	真川 明将
金額（千円）	500
補助金等名称	公益財団法人高齢者眼疾患研究財団
研究課題名	眼内血管新生を長期抑制する抗体医薬徐放性材の開発
氏名	尾関 哲也
金額（千円）	1,000
補助金等名称	公益財団法人喫煙科学研究財団
研究課題名	松果体ニコチン受容体とイオンチャネルによるメラトニン産生制御機構の解明
氏名	山村 壽男
金額（千円）	2,000
補助金等名称	公益財団法人てんかん治療研究振興財団
研究課題名	リーリン機能低下による側頭葉転換発症機構の解明と、これを標的とした新規治療法の検証
氏名	服部 光治
金額（千円）	1,600
補助金等名称	公益財団法人堀科学芸術振興財団
研究課題名	潜在する一般用医薬品用ガム製剤の探索に関する研究
氏名	田上 辰秋
金額（千円）	1,000
補助金等名称	公益財団法人喫煙科学研究財団
研究課題名	松果体ニコチン受容体とイオンチャネルによるメラトニン産生制御機構の解明
氏名	山村 壽男
金額（千円）	2,000
補助金等名称	大陽日酸株式会社
研究課題名	生命分子構造学分野 加藤晃一特任教授の学術研究奨励のため
氏名	加藤 晃一
金額（千円）	600
補助金等名称	公益財団法人東洋医学研究財団
研究課題名	モミジバダイオウにおけるアントラキノン生合成過程の解明
氏名	笛木 司
金額（千円）	800
補助金等名称	公益財団法人東洋医学研究財団
研究課題名	生薬未浸抽出（ICDP）法の開発—ハンゲ・セッコウ含有処方の問題点克服
氏名	寺坂 和祥
金額（千円）	500

補助金等名称	個人からの寄附
研究課題名	大学院薬学研究科 病態解析学分野における学術研究奨励のため
氏名	青山 峰芳
金額（千円）	500
補助金等名称	公益財団法人愛知県がん研究振興会
研究課題名	培養細胞系における自然免疫系賦活剤としての ENPP1 阻害剤の STING 経路活性化
能の評価	
氏名	川口 充康
金額（千円）	500
補助金等名称	株式会社 Regene Pharm
研究課題名	生体超分子システム解析学分野における学術研究奨励のため
氏名	平嶋 尚英
金額（千円）	1,500
補助金等名称	中外製薬株式会社
研究課題名	病院薬剤学分野における学術研究奨励のため
氏名	木村 和哲
金額（千円）	100
補助金等名称	株式会社ジー・キューブ
研究課題名	病院薬剤学分野における学術研究奨励のため
氏名	堀田 祐志
金額（千円）	1,000
補助金等名称	武田薬品工業株式会社
研究課題名	病院薬剤学分野における学術研究奨励のため
氏名	木村 和哲
金額（千円）	200
補助金等名称	公益財団法人ライフサイエンス振興財団
研究課題名	国際交流(研究集会)援助 参加学会 『International Continence Society 2020』
氏名	堀田 祐志
金額（千円）	21
補助金等名称	一般財団法人愛知健康増進財団
研究課題名	肺動脈性肺高血圧症に対する抗体治療薬の開発
氏名	山村 壽男
金額（千円）	500
補助金等名称	公益信託 医療薬物研究奨励富岳基金 受託者 三井住友信託銀行株式会社
研究課題名	2021 年度公益信託 医用薬物研究富岳基金海外学会等参加援助
氏名	服部 光治
金額（千円）	250

補助金等名称 大川原化工機株式会社
研究課題名 薬物送達学分野尾関哲也教授の「スプレードライヤーを用いた研究」を課題名とする学術研究奨励のため
氏名 尾関 哲也
金額（千円） 600

補助金等名称 株式会社パブリックリレーションズ
研究課題名 生薬学分野が行う「機能性食品メタボローム分析データベースの作成」に関する学術研究奨励のため
氏名 牧野 利明
金額（千円） 100

【受託研究等】

補助金等名称	株式会社ベックス
研究課題名	電気式遺伝子導入装置を用いた遺伝子導入効率に関する基礎的研究
氏名	井上靖道
金額（千円）	1,058
補助金等名称	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
研究課題名	NMR と計算科学の統合による糖鎖の3次元構造ダイナミクスの体系的評価法の開発
氏名	矢木 宏和
金額（千円）	9,500
補助金等名称	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
研究課題名	生体模倣小腸-肝臓チップ：バイオアベイラビリティ予測と安全性評価 in vitro モデルの開発
氏名	松永 民秀
金額（千円）	74,700
補助金等名称	株式会社 MTG
研究課題名	睡眠に関わる商品における研究
氏名	桑 和彦
金額（千円）	8,800
補助金等名称	フナコシ株式会社
研究課題名	生体膜脂質の相状態検出試薬の生細胞における検証
氏名	服部 光治
金額（千円）	110
補助金等名称	国立大学法人大阪大学
研究課題名	高度先導的薬剤師の養成とそのグローバルな活躍を推進するアドバンスト教育研究プログラムの共同開発
氏名	鈴木 匡
金額（千円）	3,726
補助金等名称	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
研究課題名	ペプチド型中分子および核酸型中分子を病変細胞内に送達し、活性化する方法
氏名	梅澤 直樹
金額（千円）	16,900
補助金等名称	みずほ情報総研株式会社
研究課題名	省エネ型電子デバイス材料の評価技術の開発事業（機能性材料の社会実装を支える高速・高効率な安全性評価技術の開発 （インビボ毒性の予測を指向した生体分子反応性のインシリコ予測モデルの構築）
氏名	頭金 正博
金額（千円）	3,665
補助金等名称	独立行政法人日本学術振興会
研究課題名	中枢神経系異常による疾患の非侵襲的オン・デマンド制御法の開発
氏名	大澤 匡弘
金額（千円）	2,337

補助金等名称	花王株式会社
研究課題名	腸管吸収及び体内動態に関する研究（コンサルティング）
氏名	松永 民秀
金額（千円）	1,000
補助金等名称	国立大学法人東京大学
研究課題名	分化制御培養法による iPS 細胞由来血液脳関門モデル細胞の安定的な製造・供給体制の構築
氏名	坂下 真大
金額（千円）	8,000
補助金等名称	国立大学法人九州大学
研究課題名	FOXK1 による CCL2 発現調節機構を標的としたがん治療法の開発
氏名	白根 道子
金額（千円）	5,000
補助金等名称	国立国際医療研究センター
研究課題名	個別化医療に対応したゲノム編集技術による肝臓内 HBV ゲノムの完全不活化を目指す革新的治療法の包括的開発
氏名	星野 真一
金額（千円）	13,260
補助金等名称	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
研究課題名	ジストログリカンの糖鎖伸長終結因子グリセロールリン酸による生理的調節機能とがん悪性化機構に関する研究開発
氏名	矢木 宏和
金額（千円）	6,890
補助金等名称	国立大学法人筑波大学
研究課題名	がん抑制遺伝子 p53 活性の増強による抗がん活性を狙った治療薬の創製
氏名	井上 靖道
金額（千円）	1,064
補助金等名称	国立研究開発法人科学技術振興機構
研究課題名	コロイド微結晶を用いた環境負荷の低い光カット用フィルターの開発
氏名	山中淳平
金額（千円）	1,856
補助金等名称	国立研究開発法人科学技術振興機構
研究課題名	新規極微細神経電極を用いた測定困難部位からの長期 in vivo 神経活動計測技術の確立ー自由行動下の脊髄後角からの記録ー
氏名	大澤 匡弘
金額（千円）	500
補助金等名称	国立研究開発法人科学技術振興機構
研究課題名	体外から血流を光で操る分子技術の構築
氏名	家田 直弥
金額（千円）	1,560

補助金等名称 国立研究開発法人理化学研究所
研究課題名 細胞質糖鎖プロセッシング酵素および糖鎖認識タンパク質の構造解析
氏名 佐藤 匡史
金額（千円） 2,405

補助金等名称 国立大学法人熊本大学
研究課題名 実用化に向けた B 型肝炎新規治療薬の探索及び最適化
氏名 松永 民秀
金額（千円） 3,800

【名古屋市立大学 特別研究奨励費】

種別	科学研究費獲得活性化事業
研究課題名	新規合成ブロックを基盤とする生物活性多環式天然物合成
氏名	中村精一
金額（千円）	825
種別	科学研究費獲得活性化事業
研究課題名	慢性疼痛の診療・治療を目指した脳活動パターンの同定と臨床への応用
氏名	大澤匡弘
金額（千円）	1,125
種別	科学研究費獲得活性化事業
研究課題名	細胞内で作用する新規な環状型ペプチド性中因子：中分子医薬品への基盤技術の開発
氏名	梅澤直樹
金額（千円）	825
種別	科学研究費獲得活性化事業
研究課題名	糖鎖伸長の終末因子として働くグリセロールリン酸によるがん悪性化機構の解明
氏名	矢木宏和
金額（千円）	825
種別	科学研究費獲得活性化事業
研究課題名	神経突起伸長因子 LOTUS の受容体同定と分子メカニズム解析
氏名	栗原裕司
金額（千円）	600
種別	科学研究費獲得活性化事業
研究課題名	アルカロイド蓄積・毒性回避を担う分子機構解明と薬用植物の利用拡大への応用
氏名	寺坂和祥
金額（千円）	600
種別	科学研究費獲得活性化事業
研究課題名	幹細胞濾液を用いた血管アンチエイジング効果の検証
氏名	野村有紀
金額（千円）	600
種別	科学研究費獲得活性化事業
研究課題名	加齢に伴う男性ホルモン低下が高血圧症遺伝子制御ネットワークに及ぼす影響
氏名	竹内まどか
金額（千円）	600
種別	外部研究資金獲得活性化事業
研究課題名	病変細胞内で活性化できるペプチド型および核酸型中分子の開発
氏名	梅澤直樹
金額（千円）	4,138

種別	外部研究資金獲得活性化事業
研究課題名	間質性膀胱炎治療薬の開発を目指した幹細胞由来成分の解析
氏名	堀田祐志
金額（千円）	1,400
種別	外部研究資金獲得活性化事業
研究課題名	患者 iPS 細胞とモデル動物を用いた筋萎縮性側索硬化症原因タンパク質群の毒性機序の解明と治療薬開発
氏名	築地仁美
金額（千円）	1,200
種別	外部研究資金獲得活性化事業
研究課題名	がんの悪性化を促進する転写共役因子 TAZ の安定化機構の解明とがん治療への応用
氏名	宮嶋ちはる
金額（千円）	1,140
種別	論文発表活性化事業
種別	国際共著論文プラス 1
氏名	矢木宏和
金額（千円）	50
種別	論文発表活性化事業
種別	高インパクト
氏名	尾関哲也
金額（千円）	25
種別	論文発表活性化事業
種別	高インパクト
氏名	田上辰秋
金額（千円）	25
種別	戦略的国際交流推進経費
研究課題名	研究科パンフレット（英語版）の作成
氏名	湯浅博昭
金額（千円）	500

6 新聞報道等

(2020年1月から2020年12月)

【新聞報道】

牧野利明

「ブシの神経障害性疼痛緩和作用とその有効成分」

薬事日報 2020年1月1日

加藤晃一

DNA 格納たんぱく構造解明

日経産業新聞 2020年1月9日

加藤晃一

生命の仕組み 解明挑む 鶴岡・先端研 探求セ（愛知）と協定

山形新聞 2020年2月14日

加藤晃一

共同研究や人材交流 鶴岡・先端研 愛知・エクセルズ 包括連携協定を結ぶ

荘内日報 2020年2月15日

加藤晃一

慶応大先端研 生命科学研究で連携協定を締結 生命創成探究センター

河北新報 2020年2月16日

糸和彦

からだ café 睡眠不足糖尿病と関係ある？

読売新聞 2020年02月29日

白根道子

「研究現場発」細胞内オルガネラの制御と神経変性疾患

中部経済新聞 2020年3月10日

牧野利明

“停课不停教”，中药学院线在教学工作平稳有序

沈阳药科大学教务通 2020年3月24日

加藤晃一、矢木宏和

たんぱく質に「荷札」医薬量産

日経産業新聞 2020年3月30日

加藤晃一、矢木宏和

タンパク質に「荷札」

日経サイエンス 2020年6月号 p18-19

加藤晃一

東大・京大・自然科学研究機構、溶液中の蛋白質構造を正確に評価するための新しい解析法を開発

日本経済新聞（電子版） 2020年6月8日

https://www.nikkei.com/article/DGXLRSF535387_Y0A600C2000000/

白根道子

「脂質を介する神経細胞の健全性維持のメカニズムを解明 — 神経疾患の新たな治療法開発に期待」

日本の研究.com 2020年9月12日

白根道子

「Protrudin and PDZD8 contribute to neuronal integrity by promoting lipid extraction required for endosome maturation」

SPASTIC PARAPLEGIA FOUNDATION, News & Announcements 2020年9月14日

白根道子

「神経細胞の健全性維持に Protrudin-PDZD8 複合体が寄与」

QLifePro 医療ニュース 2020年9月15日

白根道子

「脂質を介する神経細胞の健全性維持機構解明」

科学新聞 2020年9月18日

牧野利明

特集 漢方エキス製剤～5つの疑問を解消

日経ドラッグインフォメーション 2020年12月

【その他のメディア報道】

牧野利明

街中で走るサラブレッドと目からウロコのお薬センセイ

中京テレビ『ゴリ夢中』 2020年5月23日

加藤晃一

アミロイド繊維の形成 宇宙実験で構造解明

MEDICAL NEWS LINE (東京メトロポリタンテレビジョン) 2020年6月25日

牧野利明

半夏生について

テレビ愛知『5時スタ』 2020年7月1日

【受賞】

田上辰秋

「医薬品の3Dプリント製造技術に求められる新規製剤処方に関する基盤研究」

永井科学技術財団 財団賞 (技術賞) 2020年2月3日

齋藤泰輝

令和元年度日本生化学会中部支部支部長賞 2020年3月25日

齋藤彩有里

日本化学会東海支部支部長賞 2020年3月25日

山越博幸

「新規骨格構築法を基盤とする縮環生物活性天然物の合成研究」

2020年度日本薬学会東海支部学術奨励賞 2020年7月4日

中井慎也

「Astrocyte-Neuron Lactate Shuttle dysfunction caused cognitive impairment in STZ-induced diabetic mice」
第 43 回日本神経科学大会ジュニア研究者ポスター賞 2020 年 07 月 29 日

関口太一郎

第 21 回 比較グライコーム研究会 2020 online シンポジウム「糖の起源と進化～宇宙&深海～」
奨励賞 2020 年 8 月 21 日

森田敬子

「Protrudin-PDZD8 複合体によるエンドソーム成熟は神経細胞の健常性維持に寄与する」
第 93 回日本生化学会大会 若手優秀発表賞 2020 年 9 月 15 日

和田万理子

「Protrudin-PDZD8 複合体は膜接触部位を介した後期エンドソーム成熟を促進する」
第 93 回日本生化学会大会 若手優秀発表賞 2020 年 9 月 15 日

伊藤 佑真

「ビフィズス菌を用いた新規 DDS の構築と安全性の検討」
微生物シンポジウム 令和二年度（第 32 回）若手奨励賞 2020 年 9 月 20 日

牧野利明

甘草の副作用、偽アルドステロン症の原因物質の探索
令和 2 年度日本生薬学会学術貢献賞, 2020 年 9 月 21 日

中津海洋一

「定量的リン酸化プロテオミクスによる mTOR 下流の大規模シグナル解析」
第 1 回シロリムス新作用研究会奨励賞 2020 年 10 月 10 日

前田琴美

「Control of rat bladder neck relaxation using "NORD-1", a light-reactive nitric oxide releaser」
日本排尿機能学会 河邊賞 2020 年 10 月 17 日

高田和季、安部賀央里、頭金正博

「機械学習による薬物性肝障害の予測手法の開発～大規模副作用データベースを利用した予測法～」
第 6 回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム 優秀発表賞受賞 2020 年 11 月 7 日

半田有紀、頭金正博

「アバカビルによる HLA-B*57:01 を介した特異体質性副作用 in vitro 評価系での T 細胞活性化指標の探索」 第 6 回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム 優秀発表賞受賞
2020 年 11 月 7 日

鈴木政晴、安部賀央里、頭金正博、山田隆志、足利太可雄

「Cosmetics Europe database を使用した in silico 皮膚感作性予測回帰モデルの開発」
第 33 回日本動物実験代替法学会 学生優秀発表賞受賞 2020 年 11 月 13 日

7 進路および就職状況

学部

令和3年4月1日現在（単位：人）

卒業生	就職希望者 (有職者・自営業含む)	就職決定者 (有職者・自営業含む)	就職地域別										就職 未決定者	進学・その他			
			市内	県内	岐阜	三重	東京	大阪	その他	計							
110 (68)	63 (46)	63 (46)	就職先業種別										0 (0)	進学・その他			
			A 農業・林業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	アルバイト・パート	0 (0)	
			B 漁業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	大学院進学	46 (21)	
			C 鉱業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	大学（他学部）進学	0 (0)	
			D 建設業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	大学（別科）進学	0 (0)	
			E 製 造 業	1 食料品・飲料・たばこ・飼料	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		1 (0)	1 (0)	海外の大学・大学院進学	0 (0)
				2 繊維工業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	専門学校進学	0 (0)
				3 印刷・同関連産業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	国家資格等試験準備	0 (0)
				4 化学工業・石油・石炭製品	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (6)	3 (2)	1 (1)		10 (9)	10 (9)	公務員試験準備	0 (0)
				5 鉄鋼業・非鉄金属・金属製品	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	その他（進路未定を含む）	1 (1)
				6 汎用・生産用業務器具	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	計 47 (22)	
				7 電子部品・デバイス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	※別途、人数を集計してください	
				8 電気・情報通信機械器具	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	既の有職者（現職継続） 0 (0)	
				9 輸送用機械器具	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	自営 0 (0)	
				10 その他の製造業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)		
			F 電気・ガス・熱供給・水道業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			G 情報通信業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)		1 (1)			
			H 運輸業・郵便業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			I-1卸売業	4 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (4)		4 (4)			
			I-2小売業	0 (0)	7 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (5)	0 (0)	0 (0)	14 (9)		14 (9)			
			J-1金融業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			J-2保険業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			K-1不動産取引・賃貸・管理業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			K-2物品賃貸業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			L-1学術・開発研究機関	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			L-2法務	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			L-3その他専門・技術サービス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	2 (2)		2 (2)			
			M 宿泊業・飲食サービス業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			N 生活関連サービス業・娯楽業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			O-1学校教育	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			O-2その他の教育・学習支援業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			P-1医療業・保健衛生	3 (2)	6 (4)	0 (0)	0 (0)	6 (5)	2 (1)	7 (5)	24 (17)	24 (17)		24 (17)			
			P-2社会保険・社会福祉・介護事業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)		1 (1)			
			Q 複合サービス事業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
R-1宗教	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
R-2サービス業（その他）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
S-1国家公務	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	2 (1)	2 (1)							
S-2地方公務	3 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (2)	4 (2)	4 (2)							
上記以外	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
計	11 (7)	13 (8)	1 (1)	0 (0)	24 (20)	5 (3)	9 (7)	63 (46)	63 (46)	63 (46)							
全体の地域別割合	17.5%	20.6%	1.6%	0.0%	38.1%	7.9%	14.3%	100.0%	100.0%	100.0%							
女子の地域別割合	(15.2%)	(17.4%)	(2.2%)	(0.0%)	(43.5%)	(6.5%)	(15.2%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)							

大学院博士前期課程

卒業生	就職希望者 (有職者・自営業含む)	就職決定者 (有職者・自営業含む)	就職地域別								就職未決定者	進学・その他							
			市内	県内	岐阜	三重	東京	大阪	その他	計		アルバイト・パート							
46 (18)	34 (14)	34 (14)	A 農業・林業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	アルバイト・パート	0 (0)					
			B 漁業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	大学院進学	11 (3)				
			C 鉱業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	海外の大学・大学院進学	0 (0)				
			D 建設業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	専門学校進学	0 (0)			
			E 製 造 業	1 食料品・飲料・たばこ・飼料	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		1 (1)	11 (2)	5 (5)	2 (0)	22 (9)	国家資格等試験準備	0 (0)
				2 繊維工業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	公務員試験準備	0 (0)
				3 印刷・関連産業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	その他(進路未定を含む)	1 (1)
				4 化学工業・石油・石炭製品	3 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	11 (2)	5 (5)		2 (0)	22 (9)				計	12 (4)
				5 鉄鋼業・非鉄金属・金属製品	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
				6 汎用・生産用業務器具	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
				7 電子部品・デバイス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
				8 電気・情報通信機械器具	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
				9 輸送用機械器具	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
				10 その他の製造業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
			F 電気・ガス・熱供給・水道業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
			G 情報通信業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
			H 運輸業・郵便業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
			I-1卸売業	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	3 (0)					
			I-2小売業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
			J-1金融業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
			J-2保険業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
			K-1不動産取引・賃貸・管理業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
			K-2物品賃貸業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
			L-1学術・開発研究機関	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
			L-2法務	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
			L-3その他専門・技術サービス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	1 (0)					
			M 宿泊業・飲食サービス業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
			N 生活関連サービス業・娯楽業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
			O-1学校教育	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
			O-2その他の教育・学習支援業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
			P-1医療業・保健衛生	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (2)	2 (2)	0 (0)		5 (4)						
			P-2社会保険・社会福祉・介護事業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
			Q 複合サービス事業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
			R-1宗教	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
R-2サービス業（その他）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)									
S-1国家公務	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
S-2地方公務	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
上記以外	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
計	4 (1)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	19 (4)	7 (7)	2 (0)	34 (14)											
全体の地域別割合	11.8%	0.0%	2.9%	2.9%	55.9%	20.6%	5.9%	100.0%											
女子の地域別割合	(7.1%)	(0.0%)	(7.1%)	(7.1%)	(28.6%)	(50.0%)	(0.0%)	(100.0%)											

※別途、人数を集計してください
 既の有職者（現職継続） 0 (0)
 自営 0 (0)

博士前期課程大学院博士後期課程・博士課程

卒業生	就職希望者 (有職者・自営業含む)	就職決定者 (有職者・自営業含む)	就職地域別 就職先業種別	就職地域別							計	就職 未決定者	進学・その他				
				市内	県内	岐阜	三重	東京	大阪	その他							
8 (3)	8 (3)	8 (3)	A 農業・林業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	(0) (0)	アルバイト・パート	0 (0)		
			B 漁業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	大学院進学	0 (0)	
			C 鉱業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	海外の大学・大学院進学	0 (0)	
			D 建設業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	専門学校進学	0 (0)	
			E 製 造 業	1 食料品・飲料・たばこ・飼料	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	国家資格等試験準備	0 (0)
				2 繊維工業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	公務員試験準備	0 (0)
				3 印刷・関連産業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	その他(進路未定を含む)	0 (0)
				4 化学工業・石油・石炭製品	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (0)	0 (0)		2 (1)	計	0 (0)	
				5 鉄鋼業・非鉄金属・金属製品	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	※別途、人数を集計してください		
				6 汎用・生産用業務器具	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	既に有職者（現職継続）	0 (0)	
				7 電子部品・デバイス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	自営	0 (0)	
				8 電気・情報通信機械器具	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
				9 輸送用機械器具	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
				10 その他の製造業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			F 電気・ガス・熱供給・水道業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
			G 情報通信業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
			H 運輸業・郵便業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
			I-1卸売業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
			I-2小売業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
			J-1金融業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
			J-2保険業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
			K-1不動産取引・賃貸・管理業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
			K-2物品賃貸業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
			L-1学術・開発研究機関	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
			L-2法務	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
			L-3その他専門・技術サービス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
			M 宿泊業・飲食サービス業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
			N 生活関連サービス業・娯楽業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
			0-1学校教育	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	4 (2)					
			0-2その他の教育・学習支援業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
			P-1医療業・保健衛生	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)						
			P-2社会保険・社会福祉・介護事業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
			Q 複合サービス事業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
			R-1宗教	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
R-2サービス業（その他）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
S-1国家公務	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
S-2地方公務	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
上記以外	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
計	0 (0)	4 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (0)	2 (1)	8 (3)									
全体の地域別割合	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	25.0%	100.0%									
女子の地域別割合	(0.0%)	(33.3%)	(0.0%)	(0.0%)	(33.3%)	(0.0%)	(33.3%)	(100.0%)									

8 在籍者名簿

名古屋市立大学院薬学研究科（薬学部）所属教員一覧

(2020年4月現在)

講座	分野	教授	准教授	講師	助教
医薬化学	薬化学	中川 秀彦		川口 充康	家田 直弥
	精密有機反応学	樋口 恒彦	梅澤 直樹	久松 洋介	
	薬品合成化学	中村 精一			山越 博幸
	機能分子構造学		池田 慎一		
生命分子薬学	生体超分子システム解析学	平嶋 尚英	田中 正彦		
	コロイド・高分子物性学	山中 淳平	奥菌 透	豊玉 彰子	
	生命分子構造学	加藤 晃一 (兼任)	佐藤 匡史	矢木 宏和	
	分子生物薬学	白根 道子		中津海 洋一	栗原 裕司
	薬物送達学	尾関 哲也		田上 辰秋	
医療分子機能薬学	生薬学	牧野 利明		寺坂 和祥 石内 勘一郎	
	衛生化学	肥田 重明	伊藤 佐生智		
	遺伝情報学	星野 真一	細田 直		尾上 耕一
	細胞分子薬効解析学	山村 壽男		鈴木 良明	
	病態生化学	服部 光治		築地 仁美 河野 孝夫	
医療薬学	薬物動態制御学	湯浅 博昭		保嶋 智也	山城 貴弘
	病態解析学	青山 峰芳			青木 啓将
	細胞情報学	林 秀敏	井上 靖道		宮嶋 ちはる
	神経薬理学	糸 和彦	大澤 匡弘	富田 淳	
	レギュラトリーサイエンス	頭金 正博			安部 賀央里
	病院薬剤学	木村 和哲 (兼務)	日比 陽子 (兼務)	堀田祐志(兼務) 西出景子(兼務)	(特任助教)野村有紀 (特任助教)竹内まどか
	臨床薬学	松永 民秀 鈴木 匡	岩尾 岳洋	菊池 千草 坂下 真大	(特任助教)堺 陽子
附属研究所 創薬基盤科学研究所					
連携大学院	腫瘍制御学 (がんセンター研究所)	青木 正博客員教授 小根山千歳客員教授	藤下 晃章客員准教授		
	加齢病態制御学 (国立長寿医療センター研究所)	飯島 浩一客員教授	木村 展之客員准教授 関谷 倫子客員准教授		
	医薬品質保証学 (国立医薬品食品衛生研究所)	伊豆津健一客員教授	安田 智客員准教授		
	生命動態制御学 (自然科学研究機構)	青木 一洋客員教授	奥村 久士客員准教授		
	医薬品医療機器審査科学 (医薬品医療機器総合機構)	大澤 智子客員教授			

2020年度大学院生名簿（博士前期・博士後期課程）

2020年4月1日現在

専攻	講座	学年		博士前期課程		博士後期課程		
		分野	1年	2年	1年	2年	3年	
創薬生命科学	医薬化学	薬化学	倉地 彩花 中嶋 雄哉 山口 遥己	ARI MERVE 鈴木 脩平 中村 旭良 古瀬 友梨				
		精密有機反応学	橋本 英典	大谷 紘生 矢野 雄輝 山口 真史				
		薬品合成化学	近藤 直記 高柳 優太	安藤 龍志 小林 誠 山下 智圭 梁 宇源				
		機能分子構造学						
	生命分子薬学	生体超分子システム解析学	近藤 大介	寺本 光 二宮 里帆				
		コロイド・高分子物性学	井岡 未優 石神 瑛圭 山田 望	佐藤 結 藤田 みのり 三木 裕之		青山 柚里奈		
		生命分子構造学	山田 梨乃	梅澤 芙美子 佐々木 雄大	齋藤 泰輝		柚木 康弘 與語 理那	
		分子生物薬学	森田 敬子 和田 万理子	國松 滯奈 林 直希 松本 悠希 山畑 育子		中野 友香		
		薬物送達学	井上 智貴 花木 彩香 山本 菜緒	古閑 健人 近藤 康人 中村 和哉 彭 姝瑗	ALGHURABI HAMID SADEQ KHALEEL 高 名月 小松 美穂 LIU JIN 高橋 朋弘		石川 治雄 善田 直樹	

2020年度大学院生名簿（博士前期・博士後期課程）

2020年4月1日現在

専攻	講座	学年	博士前期課程		博士後期課程		
			1年	2年	1年	2年	3年
医療機能薬学	医療分子機能薬学	生薬学	許 玲玉	奥村 雄一	丁 科文	大野 雄也	
			新谷 円華				
		衛生化学	伊藤 佑真				
		遺伝情報学	田中 幸嗣	菅野 大志			
			中島 朋香	山口 奈都美			
		細胞分子薬効解析学	片山 大樹	栗栖 紘基			
				黒瀬 梨沙			
				出口 朱理			
		病態生化学		重信 奉文	石井 圭介		
				中尾 洋介			
				中島 鼓美			
		薬物動態制御学	細岡 晶	奈良 佳幸		篠田 裕太郎	
	三宅 浩平		間竹 勇				
	病態解析学	櫻木 章	泉 和弥				
		曾山 樹					
	細胞情報学	中本 遥菜	杉田 直央			Baatar Bolormaa	
		梶田 昂毅	柏原 翔陽				
		三浦 真仁	菅野 真由美				
	神経薬理学		水野 佑哉				
		中井 慎也	上田 莉奈	石崎 千晶	高 天翔		
		山崎 久朗	加藤 善章		山口 翔		
	レギュラトリーサイエンス 医薬品安全性評価学	李 佳憶	渡邊 僚介				
		鈴木 政晴	亀位 涼			八木 聡美	
	病院薬剤学		魏 捷			後藤 貴浩	
		柴山 真純	西川 敦士			早川 優子	
	臨床薬学						
		徳島 優樹		小川 勇	邱 施萌	坂本 栄	
		松村 将成			中西 杏菜	齊藤 将之	
		李 亜玲				杉本 章	
						TSEDENBAL NARANTUYA	
	連携 大学院	腫瘍制御学					
		加齢病態制御学			近松 幸枝	山城 梨沙	
医薬品質保証学							
生命動態制御学							

2020年度大学院生名簿（博士課程）

2020年4月1日現在

専攻	講座	学年	博士課程				非正規生
			1年	2年	3年	4年	
創薬生命科学	医薬化学	薬化学	齋藤 大介				
		精密有機反応学					
		薬品合成化学					
		機能分子構造学				坂崎 美香	
	生命分子薬学	生体超分子システム解析学	大倉 宇海				鈴木 瑠理子
		コロイド・高分子物性学					
		生命分子構造学					
		分子生物薬学					
		薬物送達学	諏訪部 晋		後藤 瑛一		
医療機能薬学	医療分子機能薬学	生薬学					楊 黄琪子 王 慶源
		衛生化学		北野 拓真		森川 ありさ	
		遺伝情報学				稲垣 佑都	
		細胞分子薬効解析学	澤井 優輝	稲垣 奏	近藤 るびい	鈴木 貴久	
				川出 有希子			
	病態生化学	石塚 拓巳			近藤 佑多		
	医療薬学	薬物動態制御学		秋野 翔伍			
		病態解析学	白川 菜由	大塚 勇斗	近藤 崇雄		
			安富 栄人	鳥内 皐暉			
		細胞情報学	長坂 真衣	徳川 宗成			
		神経薬理学		稲波 千尋	中川 寛之	宮本 啓補	
				小林 里帆			
		レギュラトリーサイエンス 医薬品安全性評価学				渡邊 崇	
	病院薬剤学	川田 龍哉	森 泰毅	富田 なつみ	前田 琴美		
				長水 正也			
	臨床薬学	白井 晃太郎	山下 美紗季	野田 雅人	榊原 明美		
				成田 敦貴			
連携 大学院	腫瘍制御学			三谷 文美絵			
	加齢病態制御学						
	医薬品質保証学						
	生命動態制御学						

令和2年度 卒業研究実習研究室配属

分野	薬学科			生命薬科学科	
	4年	5年	6年	3年	4年
薬化学	162051 古屋敷 帆乃花 172060 吉野 克利	162017 北村 紗枝	152003 安藤 雄大	182527 舘 実優	172525 鳥居 志深 172534 野中 美香 172548 吉川 侑佳
精密有機反応学	172034 都築 優斗	162034 程 方舟	152009 上松 昌幸	172524 東条 敦	172513 加藤 舞子
薬品合成化学	172001 阿部 玲士	112008 石黒 達也	102046 服部 泰之	182523 鈴木 浩太	172506 伊藤 壮祐 172522 瀧川 皓太郎 172533 野口 公寛
機能分子構造学					
生体超分子システム解析学	172010 大崎 康太 172024 小笹 稜 172026 鷺崎 加奈 172048 山岡 涼介	162025 鈴木 礼奈 162032 棚橋 佑吏 162054 松浦 哉太 162067 吉田 圭佑	132082 中田 康介 152004 井倉 利佳子 152029 篠田 桃 152043 寺口 昌伸 152049 那須 友葉	182529 龍野 華	172543 村井 洸士 172545 山田 真季
コロイド・高分子物性学	172008 内山 遼太郎 172036 土井 眞帆 172039 濱中 麻菜	162021 佐々木 さやか 162022 篠田 弥依 162024 杉浦 一希 162050 藤居 美奈	152001 赤井 志帆 152024 駒沢 穂乃佳 152026 坂本 万由子 152058 南 まどか	182542 森 美洋	172536 平井 綾音 172539 藤澤 貫平 172544 山口 めぐみ
生命分子構造学	172018 金山 大地	112018 太田 知世	142033 シム ジンボ 152069 渡辺 東紀男	182531 戸室 幸太郎	172520 沈 佳娜 172532 西村 誠司 172547 山本 栞
分子生物薬学	172021 北野 ひかり 172046 光成 琴音	162010 大平 巧 162014 加藤 洸 162037 中嶋 弘樹 162062 森 正樹	152012 金高 陸人 152034 高橋 勇人 152038 種子島 智哉 152061 森 千伽子	182504 芦澤 一馬	172546 山本 敬太郎
薬物送達学	172005 井口 海 172009 海野 桃加 172012 大場 万由 172042 廣間 彩花	162006 幾世 真琳 162012 岡村 麻矢 162016 木田 理沙子 162028 辰巳 真里奈	132077 森村 知紗 152010 梶屋 昌史 152015 岸 花笑 152021 桑田 絵里子 152040 玉越 知樹	182520 佐藤 一輝 182534 鍋島 彩羽希 182535 西 彩友美	172505 伊藤 潤 172516 神谷 宝 172523 恒川 勇太
生薬学	172007 内山 京香 172025 島 凜太郎 172059 吉野 蒼生	152041 玉田 彩 162027 田下 優菜 162041 南雲 秋穂 162059 皆見 香里 162064 安田 彩乃	152005 石井 智子 152051 野村 史夏 152052 春田 綾乃	172511 小川 摩子 182506 池島 智弥	172535 日置 真太郎 172541 満仲 安紀 162546 渡邊 瞬
衛生化学	152036 田中 友理 172004 生田 現 172030 竹森 樹梨	162007 石川 怜 162009 占部 彩花 162011 緒方 郁奈 162053 松井 優佳	152008 井上 ひかる 152016 岸田 啓太郎 152027 佐々木 駿吾 152066 山田 理子	182516 河野 紗英	162507 梅田 凌河
遺伝情報学	172033 柘植 泰希 172049 山崎 愛恵 172054 遊佐 紅音	152028 塩倉 翔 162013 隠岐 興一 162033 都島 大知 162035 寺山 七夢 162039 中村 亮太	152045 豊原 有希	182510 井上 匠 182519 小森 太貴 182537 日比野 真也	172504 石川 裕之 172526 中北 侑希 172531 西井 由佳
細胞分子薬効解析学	162058 道上 七帆 172002 安藤 駿佑 172011 太田 実奈 172015 小川 璃子	162060 宮木 理子	142004 石田 昌 152030 柴原 映美菜 152031 島 菜摘 152054 藤原 萌園	182505 天野 泰樹 182518 倉田 朋 182540 松本 和幸	172514 加藤 由納 172517 川田 成紀 172527 中島 七海
病態生化学	162019 五反田 逸孝 172029 竹腰 祐斗 172032 谷口 愛理 172045 松田 拓与	142001 渥美 奈央		182515 川瀬 宗之 182536 原 光輝	172502 安藤 飛悠吾 172509 梅村 悠太 172510 大宅 真太郎
薬物動態解析学	172028 高見 華奈 172031 谷内 夏月 172053 山本 道弘	162003 東 洋輔 162020 小西 拓実 162031 田中 雄大	152013 唐木 祐理恵 152039 種山 侑希 152064 矢嶋 陽菜	182508 石牧 礼子 182517 川本 彩果 182538 廣瀬 舞	172529 難波 知堯 172540 牧平 伊代

病態解析学	172013 大前 幾美 172014 大脇 礼名 172052 山田 恵理	162004 荒木 早和子 162015 苅田 柁人 162029 立松 由衣 162045 野村 知宏	152017 木原 星衣 152019 木村 優花 152044 戸崎 友梨 152056 益川 成美	182539 前原 華乃 182544 渡邊 友佳	172515 加藤 里菜 172538 福田 直哉
細胞情報学	172017 加藤 百恵 172038 中西 優菜 172043 深見 太基	162046 服部 友香 162047 早川 由璃香 162048 平丸 航太郎	152002 油谷 綾夏 152006 市岡 美友紀 152011 金尾 佳美 152055 堀 優華	182524 鈴木 裕陽 182532 中垣 春奈	172501 安達 晴喜 172518 鯨井 千実
神経薬理学	172016 加藤 遥輝 172050 山下 裕子	162056 松村 兼吾	142050 原 純太 152023 小樋 翔太 152032 鈴木 博子 152059 向山 凜 152060 村上 千翔子	182509 磯部 一朗 182543 山本 洵	172519 酒井 皓介 172530 西 風花 172542 三宅 遼
医薬品安全性解析学	172035 土井 更良 172056 吉井 優花	162002 秋田 彩佑 162023 島田 裕脩 162036 東野 竜空 162040 中村 良太	152020 黒田 侑花 152025 坂部 彩 152033 高田 和季 152053 半田 有紀	182501 青木 優佳 182507 池田 侑己 182528 立木 孝幸	172503 家田 維哉 172512 片山 早紀 172528 中森 瑞季
病院薬剂学	172022 久保敷 麗良 172023 熊澤 里歩	162008 伊藤 寛人 162018 熊澤 杏早子 162026 瀬崎 らら 162038 中田 菜美	152048 中島 晃 152062 森 菜々香 152063 森 悠香梨 152068 吉川 麻優 162103 佐野 里沙子	182511 海老原 大希	152540 森 玲花
臨床薬学教育研究センター	172019 兼田 佳果 172020 上村 咲菜 172027 鈴木 祐太 172044 藤井 優里菜 172058 吉永 千裕 172061 吉見 和奏	162005 有田 彩夏 162042 西 萌奈 162043 西野 真衣 162057 水野 由梨 162066 山名 美帆 162070 渡邊 ちひろ	152007 伊藤 匠 152014 神崎 稚菜 152022 小林 華奈 152035 田中 日向子 152037 田中 李奈 152065 山下 みずき	182513 金子 昌平 182521 佐藤 寛之	172507 岩崎 萌実 172537 深谷 壮弥

2020 年度研究員名簿

許可 NO.	配属分野	氏名
1	コロイド・高分子物性学	兵頭 功一郎
2	コロイド・高分子物性学	石川 達也
3	生薬学	山田 亜紀
4	薬化学	本部 竜馬
5	生体超分子システム解析学	井上 悠
6	生体超分子システム解析学	足立 浩章
7	生体超分子システム解析学	宮地 克真
8	生命分子構造学	平松 佳永
9	生命分子構造学	千田 紀代美
10	生命分子構造学	服部 久美子
11	生命分子構造学	矢木 真穂
12	生命分子構造学	谷山 怜子
13	生命分子構造学	谷中 冴子
14	生命分子構造学	鈴木 達哉
15	生命分子構造学	関口 太一朗
16	生命分子構造学	水野 まい子
17	薬物送達学	Shaimma Mohamed Ramadan Elabd Ibrahim
18	薬物送達学	Mariana Miyagi
19	薬物送達学	野田 剛弘
20	薬物送達学	福重 香
21	薬物送達学	Esraa Ibrahim Abdelmaksod Shaaban
22	薬物送達学	Mohammed Mannaa
23	生薬学	太田 美里
24	生薬学	趙 伯陽
25	生薬学	大渡 勝史
26	生薬学	小西 徹
27	生薬学	牧 靖人
28	遺伝情報学	山本 肇
29	細胞分子薬効解析学	北原 文乃
30	薬物動態制御学	石黒 雅江
31	薬物動態制御学	山本 俊輔
32	病態解析学	小泉 恵子
33	病態解析学	後藤 洋
34	病態解析学	垣田 博樹
35	病態解析学	竹下 覚
36	細胞情報学	中田 佳宏
37	細胞情報学	吉田 康子
38	神経薬理学	小笠原 治
39	神経薬理学	歌 大介
40	神経薬理学	乗本 裕明
41	神経薬理学	竹内 雄一
42	臨床薬学	三木 健義
43	臨床薬学	寺島 純一
44	臨床薬学	美馬 伸治
45	病院薬剤学	須藤 遥

46	病院薬剤学	真川 明将
47	病院薬剤学	片岡 智哉
48	病院薬剤学	三村 佳久
49	病院薬剤学	中村 大学
50	病院薬剤学	和知野 千春
51	病院薬剤学	加藤 順子
59	病院薬剤学	近藤 祐樹
52	臨床薬学	RAGHDA MOUSTAFA ABDELFATTAH IBRAHEM SHAHEEN
53	細胞情報学	西川 佐紀子
54	病院薬剤学	長水 正也
55	臨床薬学	北口 隆
56	生薬学	笛木 司
57	細胞情報学	松野 文香
58	薬物送達学	Hemat Mostafa Kamal
59	病院薬剤学	近藤 祐樹
60	生薬学	刘 艳
61	病態生化学	李 旻倩
62	病院薬剤学	竹内 まどか
63	臨床薬学	鄒 庆香

教員採用・昇任・退職

区分	分野	補職名	氏名	辞令年月日	前職・移動先等
採用	病態解析学	助教	青木 啓将	R2. 4. 1	名市大博士修了
採用	薬品合成化学	助教	秋山 敏毅	R2. 10. 1	大阪大学大学院薬学研究科 招聘研究員
採用	病院薬剤学	病院助教	堀田 康弘	R2. 10. 1	名市大病院薬剤部
採用	病院薬剤学	病院助教	真川 明将	R2. 10. 1	名市大病院薬剤部
採用	精密有機反応学	特任助教	Andrii Balia	R2. 11. 1	ミシガン大学薬学部
採用	病院薬剤学	病院助教	堀 英生	R3. 1. 1	笠寺病院薬剤部長
昇任	薬化学	助教	家田 直哉	R3. 1. 1	助教→講師
退職	薬品合成化学	助教	山越 博幸	R2. 7. 14	東北大学医薬開発研究センター助 教採用
退職	遺伝情報学	助教	尾上 耕一	R2. 11. 30	名古屋大学大学院医学系研究科 助教採用
退職	病院薬剤学	特任助教	野村 有紀	R2. 11. 30	R2. 12. 1 薬剤部正規職員採用
退職	病院薬剤学	特任助教	竹内 まどか	R2. 12. 31	R3. 1. 1 薬剤部契約職員採用 (R3. 4. 1～正規採用)
退職	臨床薬学	講師	菊池 千草	R3. 3. 31	昭和薬科大学 教授採用
退職	病院薬剤学	病院助教	堀 英生	R3. 3. 31	講師採用

職 員[2020年4月1日現在]

総合機器分析施設

衛生技師：岩澤 加奈
特定技術職員：加藤 節子

薬学部事務室

事 務 長：木村 充江
学務係長：小島 沙織
主 事：林 香里，佐々木 綾，浅井 希美
事務系職員：諸岩 陽子，田中 美波，鶴岡 文代，小川 万理絵

総合情報センター田辺通分館-薬学部

分 館 長：白根 道子（分子生物薬学分野教授兼務）
司 書：吉根 佐和子
事務系職員：河村 紫乃子，末原 楓

職員の異動

異 動：小川 万理絵（2019年6月1日採用）
佐橋 まゆみ（2019年11月30日退職）
末原 楓（2019年12月1日採用）
飯田 博之（2020年3月31日転出→看護学部事務室学務係へ）
小島 沙織（2020年4月1日転入←医学・病院管理部医事課より）

2020 年度 名古屋市立大学大学院薬学研究科 自己点検・評価報告書
自己評価・点検委員会
担当者: 中川秀彦 (責任者), 河野孝夫, 安部賀央里